

日医総研ワーキングペーパー

第2回 日本の医療に関する意識調査

No.137

平成18年12月

日医総研
江口成美

まえがき

平成 18 年の医療制度改革は医療費適正化を求めるあまり、療養病床の再編成など、国民に大きな不安を与える要因が多く盛り込まれている。患者負担の増加により、今後受けられる医療への格差が拡大することへの危惧も大きい。国民皆保険制度のもと、国際的にみて健康達成度が高く平均寿命の長いわが国の国民が、安心して医療を受け続けるための制度・環境を整備することが重要である。

国民によりよい医療をいかに提供していくかを考えるための資料として、日本医師会総合政策研究機構（日医総研）では、2003 年に「第 1 回医療に関する国民意識調査」ⁱを実施し、受療側と提供側のニーズを把握した。3 年を経た本年、第 2 回調査を実施し、その後の医療に関する意識を調査した。本調査では、さらに地域医療において今後ますます重要となるかかりつけ医機能について、受療者と提供者の両者の意識も把握した。

調査結果は、1. 国民からの評価、2. 国民のニーズ、3. かかりつけ医機能、4. 医療者の課題、という 4 つの視点からまとめた。調査主体が提供者側である日本医師会であることから、医療提供者に都合のよい結果を公表するのではないかという疑念をもたれることもあるが、一般的な社会調査の調査手法と同じであり、調査は中立的な調査会社ⁱⁱの協力を得て実施している。

国民がどのような医療の方向性を求めているか、医療者がよりよい医療を実践するには何をどう整備すればよいのかについて議論するとともに、受療者と提供者の相互理解を進めるための資料のひとつとなれば幸いである。

2006 年 12 月

日医総研

主任研究員 江口成美

協力研究者

研究員 出口真弓

ⁱ 江口成美・物井久美子「第 1 回 医療に関する国民意識調査」日医総研報告書第 50 号 2003

ⁱⁱ 社団法人中央調査社

キーワード

<input type="checkbox"/> 意識調査	<input type="checkbox"/> 患者調査
<input type="checkbox"/> 医師調査	<input type="checkbox"/> 満足度調査

- 日本の医療に対する満足度については、「受けた医療」への満足度（満足：84%）と「日本の医療全体」への満足度(51%)に違いがみられ、医療の満足度の議論においては両者を区別すべきである。
- かかりつけ医がいる人は受けた医療に対する満足度が高いことは第1回調査と同様である。受けた医療への満足度は、第1回調査よりわずかに上昇している。
- 国民の考える重要課題は、救急医療体制、長期入院施設、医療提供者の資質であった。医療安全については、国民の約5割が医療機関は安全と考えており、前回調査より微増している。医師患者関係については、提供側と受療側に意識の差がみられる。格差社会と言われるなか、国民の7割は所得に関係なく同じレベルの医療を望んでいる。
- 国民の「かかりつけ医」へのかかり方は極めて多様である。かかりつけ医を持つ国民のうち3分の2は診療所の医師をかかりつけ医とし、残りの3分の1は病院医師をかかりつけ医としている。地域差はややみられるものの、年齢による違いは少ない。国民のかかりつけ医へのニーズに応え、選択の自由を担保することが必要であろう。
- かかりつけ医への要望は、必要時の専門医の紹介(89%)と、どんな病気でもまずは受療できること(83%)が大きい。一方、医師は、今後のかかりつけ医機能の強化に必要な対応として、「逆紹介」、「情報提供」、「国民への啓発活動」を挙げている。かかりつけ医の資質向上と機能強化をまず検討すべきである。
- 現場では、75%の医師が「よい医療を提供しても評価されない」と考えており、64%の医師は、患者に行った説明に不安を感じている。診療報酬面、業務の多忙さなどの課題を抱える一方、国民・患者との信頼関係に不安を抱く医師が多いことを理解する必要がある。

目次

I 調査の概要.....	4
II. 主要な結果.....	6
1. 国民・患者からの評価.....	6
2. 国民(患者)のニーズ	13
3. かかりつけ医	21
4. 現場の声・医療者が抱える課題.....	33
5. まとめ.....	37
III. 回答者の属性.....	39
IV.その他の結果.....	49
V.質問表	1
添付 クロス分析表(別冊)	1

I 調査の概要

1. 調査の目的

医療に関するニーズについて広くデータを収集・分析し、医療政策立案に資するデータ蓄積を行なう。調査対象は一般国民・患者・医師の三者とし、満足度、医師患者関係、医療安全、重要課題、かかりつけ医機能、医師が抱える課題など、受療者と提供者の両方の課題や問題意識を把握する。さらに、地域医療におけるかかりつけ医機能に関して現状を把握し、課題を整理する。

2. 調査設計

(1) 国民

1) 調査設計

調査地域：全国

調査対象：満 20 歳以上の男女個人

標本数：2,000 人

抽出方法：層化 2 段無作為抽出法

地点数：市部 129 地点 郡部（町村）29 地点 合計 158 地点

抽出台帳：住民基本台帳（一部、選挙人名簿）

調査方法：個別面接聴取法

調査時期：2006 年 3 月 14 日～27 日

2) 回収結果

有効回収数（率） 1,364（68.2%）

(2) 患者

1) 調査設計

調査地域：全国（50 医療機関）

調査対象：医療機関を訪れた満 20 歳以上の男女個人（※1）

完了数：979 人（40 医療機関）

調査方法：調査員による聞き取り法（一部、記入依頼法、郵送法併用）

調査時期：2006 年 3 月 1 日～20 日

2) 回収結果

有効回収数 979

(3) 医師

1) 調査設計

調査地域：全国

調査対象：医師

標本数：3,000人

抽出方法：層化抽出法（※2）

抽出台帳：日本医師会会員名簿

調査方法：郵送法（官製はがきによる督促1回）

調査時期：2006年3月1日～15日

2) 回収結果

有効回収数（率） 1,288（42.9%）

（うち病院勤務（684） 診療所勤務（575） その他・無回答（29））

(※1) 患者調査の抽出と調査の手順

- ① 全国50の医療機関（病院25、診療所25）を選定し、調査日にその医療機関を訪れた患者を対象とした。病院の抽出は2002年度協力した48医療機関に再依頼し、不足の2医療機関及び拒否、廃院された場合は同一市町村から「日本医師会名簿」より無作為抽出とした。
- ② 協力が得られなかった医療機関が発生した場合は、同一市町村の中から再抽出した。最終的に協力が得られた医療機関は40であった。
- ③ 完了目標数は1医療機関当たり25名程度で、合計1,000名とした。
- ④ 原則、調査員による聞き取り法としたが、患者の都合に合わせ、記入依頼法、郵送法を併用した。

(※2) 医師調査の抽出における層化基準は、①業態（病院従事者、診療所の従事者）及び②年代を用いた。抽出台帳は、日本医師会会員名簿を使用し、母集団数は厚生労働省の「平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査」に基づく。

II. 主要な結果

1. 国民・患者からの評価

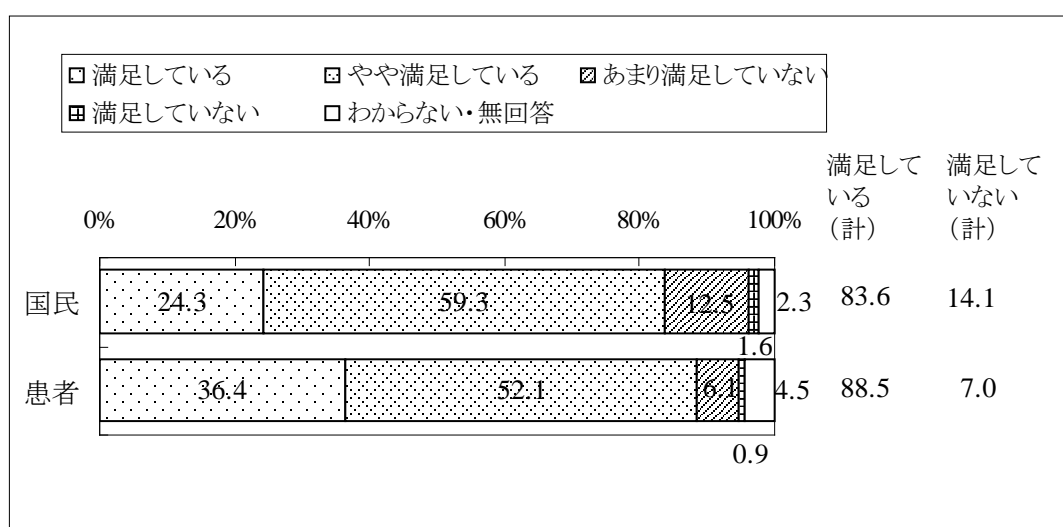
(1) 受けた医療について

受けた医療に対して総合的に満足している国民は全体の8割。満足していない人は、待ち時間、治療費、医師の説明に不満を持っている

国民の83.6%、患者の88.5%が受けた医療に対して総合的に満足していると回答した。3年前の前回調査と比べ、受けた医療に対する国民の総合満足度はやや上昇傾向がみられた。第1回調査では、それぞれ72.0%と88.0%であった。3年前の医療に関する満足度が今回やや上昇していることについては、他の調査においても示されている。例えば、受療行動調査ⁱⁱⁱでも、受けている医療に対する満足度が3年前から微増している。

受けた医療に満足している人と満足していない人が、それぞれ何に満足し、何に不満であるかは以下のとおりである。まず、満足している国民は、医療者の態度・言葉遣い、医師の知識や技術、医師の質問への対応に特に満足度が高い傾向がみられ、それぞれ、96.2%、94.3%、93.2%が満足と回答している。次に、不満な国民は、待ち時間、治療費、医師からの説明について特に不満が高い傾向がみられ、それぞれ83.3%、80.6%、61.1%が不満と回答した。患者についても同様な傾向がみられた。

図1 受けた医療を総合的にみた場合の満足度



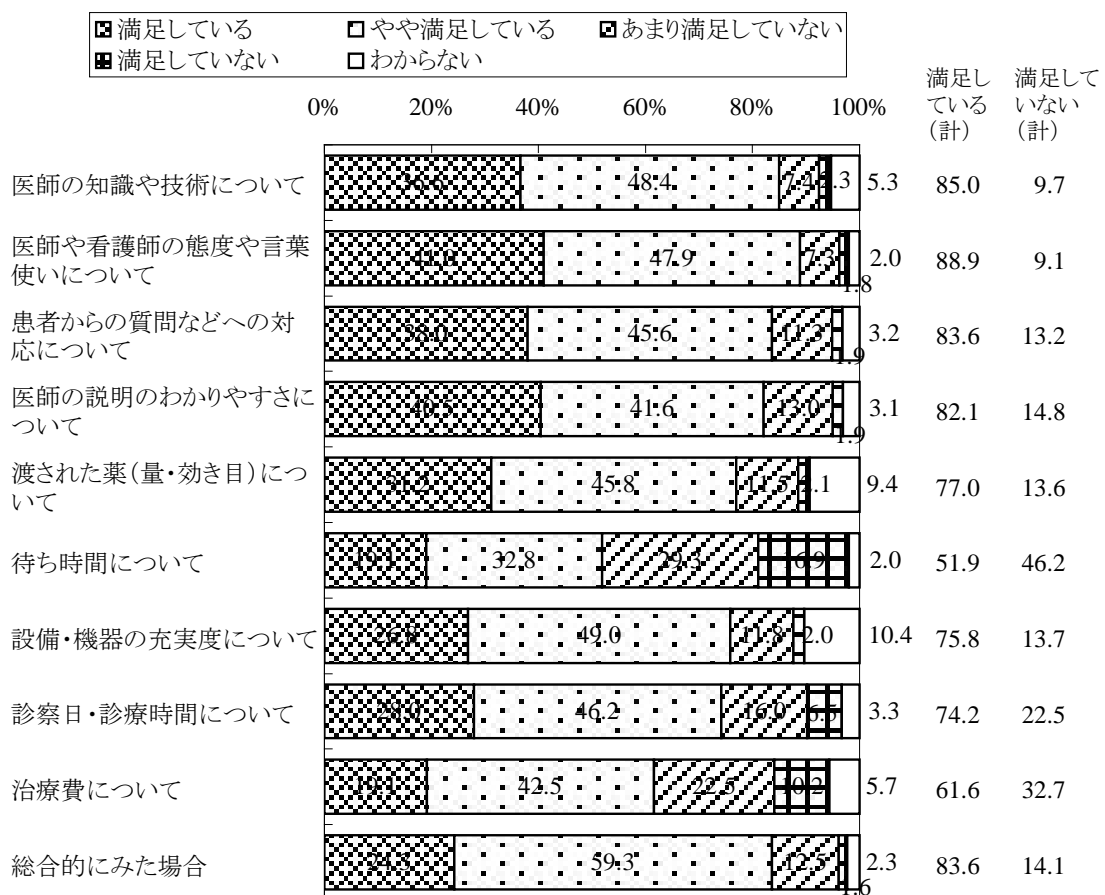
ⁱⁱⁱ 受療行動調査、厚生労働省、2002,2005。入院患者は55.5%から61.7%に、外来患者は49.7%から50.1%に上昇。ちなみに1999年から2002年にかけては両者とも低下している。

受けた医療への満足度について項目別にみると、不満が高い項目は待ち時間と治療費(32.7%)で、それぞれ 46.2%、32.7%が不満と回答している。また、日本の医療への満足度は、医療安全に対する不安と強い関連がみられた

受けた医療への満足度に影響する要因を項目別にみると、待ち時間、治療費への不満が高いことがわかる。総合満足度に与える各項目の影響度の強さを重回帰分析で調べると、上位3項目は治療費(.229)、医師の知識や技術(.171)、医師の説明(.122)であった（カッコ内は係数）。

医療への満足度は回答者の主観的判断ではあるが、医療の質を評価するうえでのひとつの指標であることは間違いない。医療提供者の活動や努力が受療者に適切に評価されることは医療提供者の仕事を向上させる糧となるであろう。医療そのものの向上につながるという観点から、今後も満足度を検証していく必要があると思われる。

図2 受けた医療に対する満足度（項目別）



(2) 「受けた医療」と「日本の医療」と「生活満足度」

「受けた医療」に対する満足度と「日本の医療全体」に対する満足度の間には差がみられた。「受けた医療」は「生活満足度」に近い水準であった。満足度と受療時期との関係を見ると、受療が過去に遡るほど受けた医療への満足度が低下する傾向がみられた。

一般に、「受けた医療」に対する既存の満足度調査の結果は、「日本の医療(制度)全体」に関する満足度調査の結果に比べて高い満足度を示している。「どちらともいえない」、「ふつう」等の中間回答を除いた調査では、およそ7~8割の国民が受けた医療に満足と回答している^{iv}。一方、日本の医療全般の満足度を尋ねた調査^vでは、満足度が5割未満と低い傾向を示している。そもそも満足度は、個人の生活環境や物事への期待の持ち方などと関連していることが推測される。そこで、本調査では、「受けた医療」への満足度、「日本の医療」への満足度に加えて、「自身の生活満足度」を追加し、それぞれの満足度の関係を調べた。

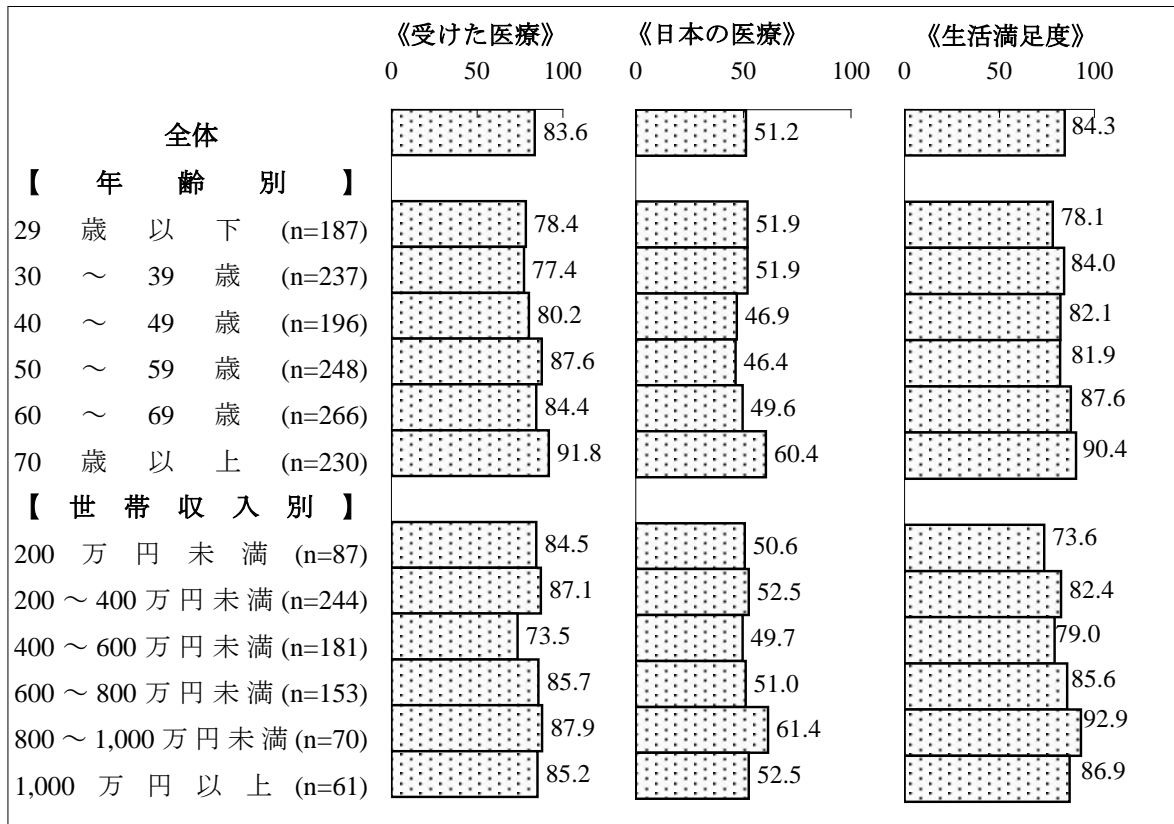
結果は、満足度の水準では、「受けた医療」への満足度は83.6%、「日本の医療」に対する満足度は51.2%で大きな格差がみられた。受けた医療への満足度と自身の「生活満足度」が類似していて、後者は84.3%であった。ただし、相関はいずれも低く、「受けた医療」と「日本の医療」のそれぞれの満足度の相関は0.304、「受けた医療」への満足度と「生活満足度」の相関は0.219であった。一方、「日本の医療」への満足度は医療安全に対する不安(後述)と強い関連を示したが、「受けた医療」と医療安全に対する不安との間には関連がみられなかった。従って、「受けた医療」と「日本の医療」へのそれぞれの満足度は、異なる基準に基づいていることが推測できる。日本の国民は欧米諸国の国民に比べて自国の医療制度への満足度が低い傾向があり^{vi}、今後、分析する必要があると考える。

^{iv}例えば、日医総研の調査では、受けている医療全般について68.5%が満足、NTTデータの調査では85.9%が満足と回答している。医薬産業政策研究所の調査では、78.5%が医師の診察に満足していると回答している。日本経済新聞の調査では、一番最近に受けた医師については82.4%、一番最近受診した医療機関については80.6%が「満足」と答えている。日医総研「医療に関する意識の国際比較」(2004)、NTTデータ「患者の主体性と医療への満足度についての調査」(2004)、医薬産業政策研究所「医療消費者と医師とのコミュニケーション-意識調査からみた患者満足度に関する分析」(2005)、日本経済新聞社「医療再生市民アンケート」(2002)

^v日医総研の調査では、医療制度全般について満足が27.1%、読売新聞の調査では48.6%、日本医療政策機構の調査では40%であった。日医総研「医療に関する意識の国際比較」(2004)、読売新聞世論調査(2006)、日本医療政策機構「医療政策に関する世論調査」(2006)

^{vi}江口成美、沼田直子、「医療に関する意識の国際比較」日医総研 WP No.105 (2004)

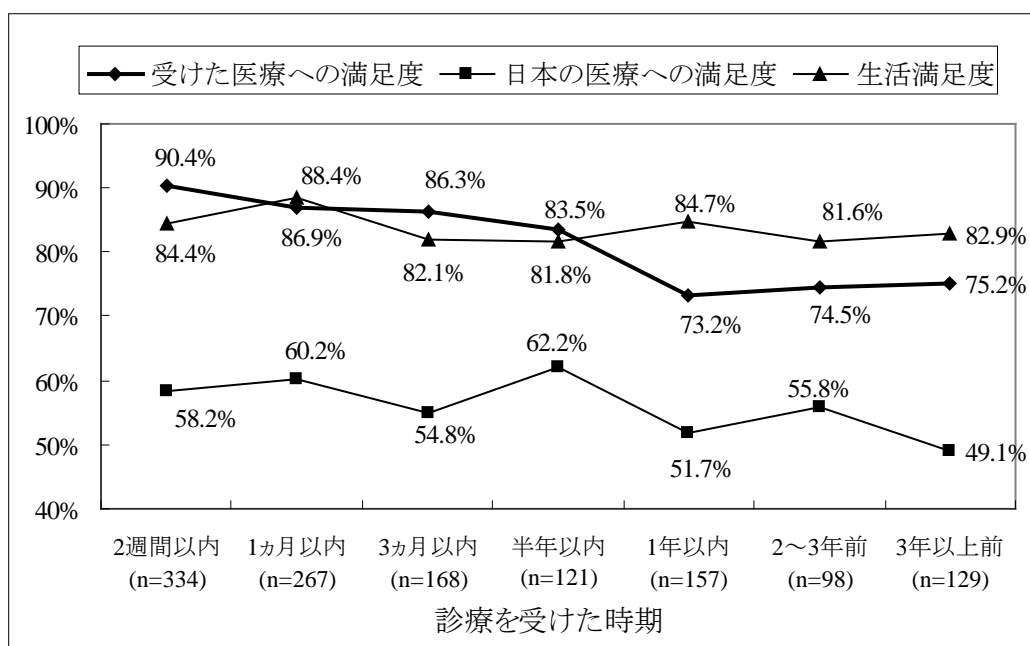
図3 満足度 — 受けた医療、日本の医療、生活満足 (国民)



受けた医療への満足度はその人が受療した時期とどのように関係しているであろうか。結果は、受療した時期が過去に遡るほど受けた医療への満足度が低下している。例えば、2週間以内に受診した国民は90.4%が受けた医療に満足していると回答している。ところが、受診時期が過去に遡ると低下し、受診時期が半年以上前になると73.2%まで低下している。一般に、高齢になるほど受療頻度が多くかつ満足度が高くなる傾向がある。そのため、年齢階層別にも満足度を確認したが同様の傾向がみられた。

一方、受療時期が3ヶ月以内の場合は、現在受療中である「患者」の満足度(88.5%)とほぼ同水準を示していた。つまり、本調査の結果からは、受療時期が3ヶ月以上前になると、「患者」の評価とは異なる満足度を持っていることになる^{vii}。

図4 満足度と受療時期－国民



vii 一般に行なわれている「患者満足度」調査のなかには、過去数年の間に受療経験のある国民を「患者」として対象としているものがあるが、受療時期が大きく過去に遡ると、たとえ受療経験があっても患者の視点とは異なる可能性があることを認識しておくべきであろう。

(3) かかりつけ医と「受けた医療」への満足度

かかりつけ医がいる人は、受けた医療に対する満足度が高くなる

かかりつけ医がいる人の医療への満足度が有意に高いことは、第1回調査においても既述した。今回の調査でも、かかりつけ医がいる人の「受けた医療」への満足度は92.5%と高いが、かかりつけ医がいない人の満足度は70.7%であった。年齢階層別にみても前回と同様の傾向がみられた。

図5 受けた医療に対する満足度 - かかりつけ医の有無別 -

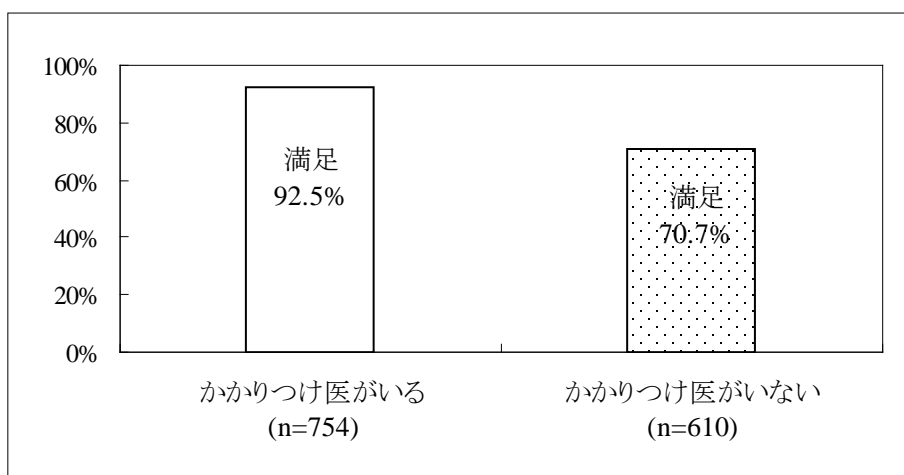
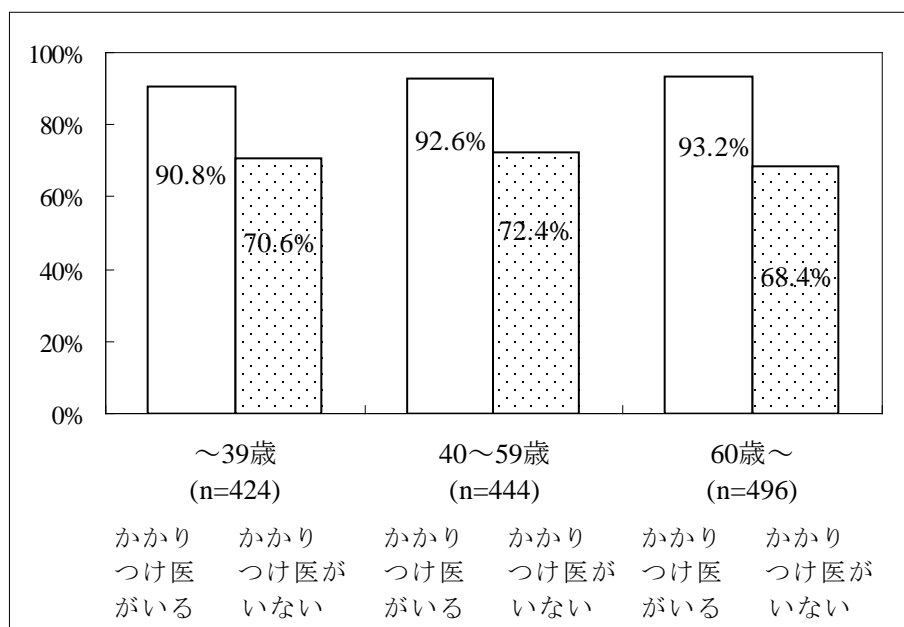
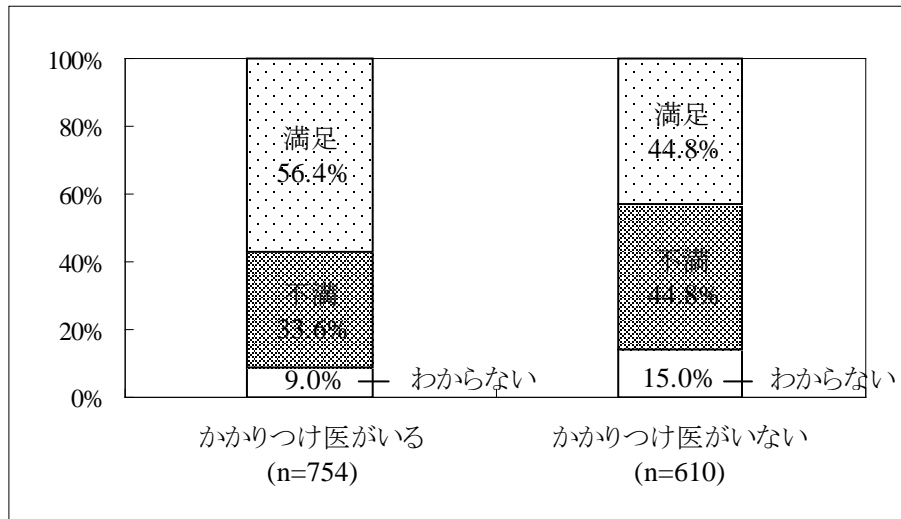


図6 受けた医療に対する満足度 - かかりつけ医の有無別・年齢別 -



かかりつけ医の有無と「日本の医療」に対する満足度をみると、かかりつけ医のいる人が56.4%であるのに対して、いない人が44.8%で、「受けた医療」ほどに大きな差がみられなかった。

図7 かかりつけ医の有無と日本の医療に対する満足度



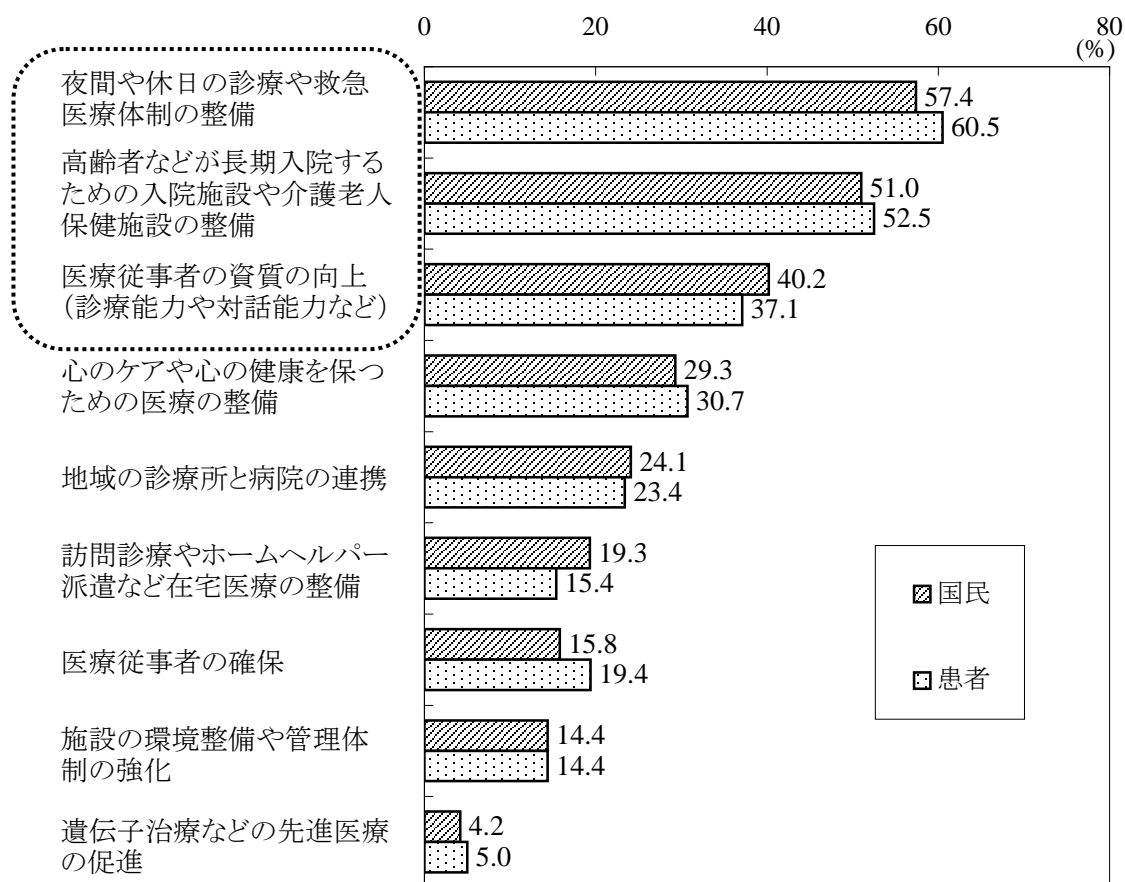
2. 国民(患者)のニーズ

(1) 重要課題

国民と患者が考える重要課題の上位は、救急医療体制と長期入院・介護施設の整備、続いて、医療従事者の資質の向上であった

国民と患者の両者に共通したニーズとして最も高いのが夜間・休日の診療や救急医療体制の整備であった（国民 57.4%、患者 60.5%）。次いで、高齢者などが長期入院するための入院施設や介護老人保健施設の整備（国民 51.0%、患者 52.5%）、さらに、医療従事者の資質の向上（国民 40.2%、患者 37.1%）であった。第1回調査では、上位2項目は同じであったが、第3位は「心のケアや心の健康のための医療」で、「医療従事者の資質の向上」がそれに続いていた。

図8 医療における重要課題（複数回答）



(2) 医療安全

医療機関の安全性について、国民の5割が「安全」と考えており、逆に、4割強が「安全とは思わない」と考えている。受療時期が過去になるほど、安全と思う割合が低くなる傾向がある。

国民のうち、医療機関が安全だと思う（安全だと思う+まあ安全だと思う）人の割合は50.1%であるが、安全とは思わない（あまり安全とは思わない+安全とは思わない）人の割合は43.1%であった。患者は国民よりも高い割合で安全と考えており、医師はさらに高い割合で安全と考えている。男女差がみられ、男性は安全だと思う人の割合のほうが思わない人の割合より高いのに対し、女性は安全でないと思う人のほうが高い傾向を示している。第1回調査の結果と比べると、三者とも「安全と思う」人の割合が微増している。

図9 医療機関の安全性についてどう思うかー 国民、患者、医師

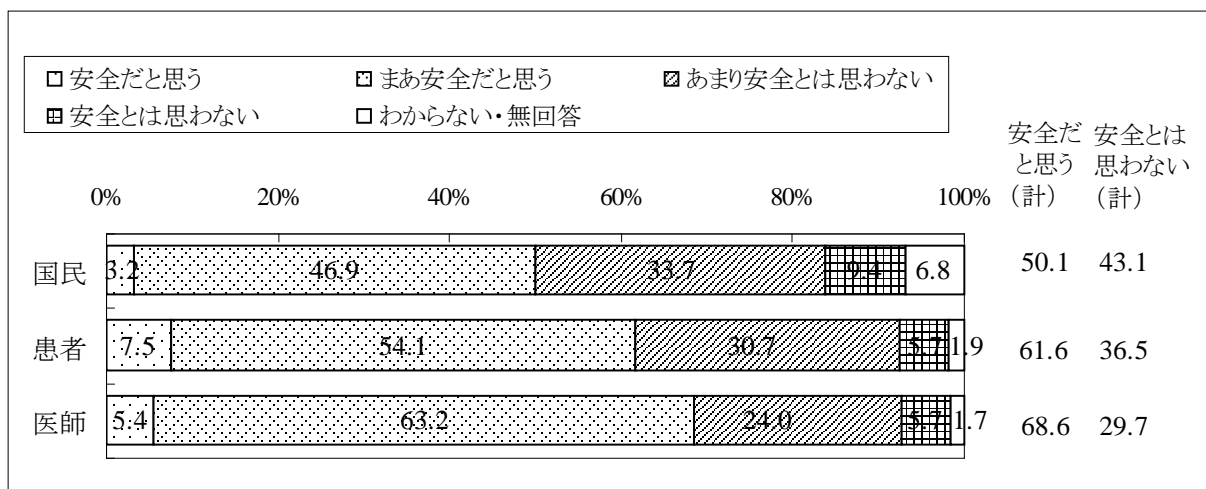


図10 医療機関の安全性についてどう思うか(第1回調査結果)ー国民、患者、医師

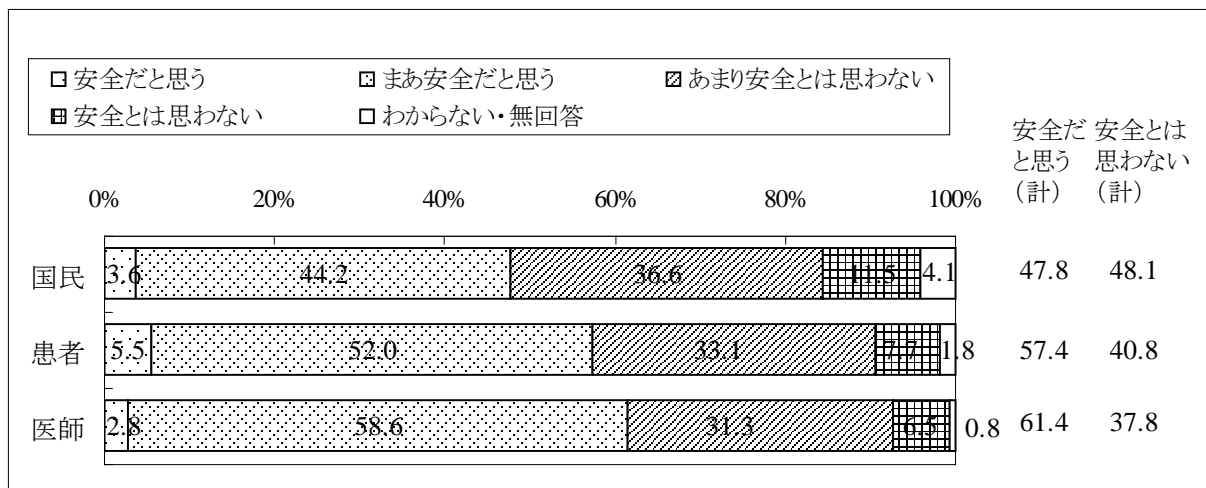
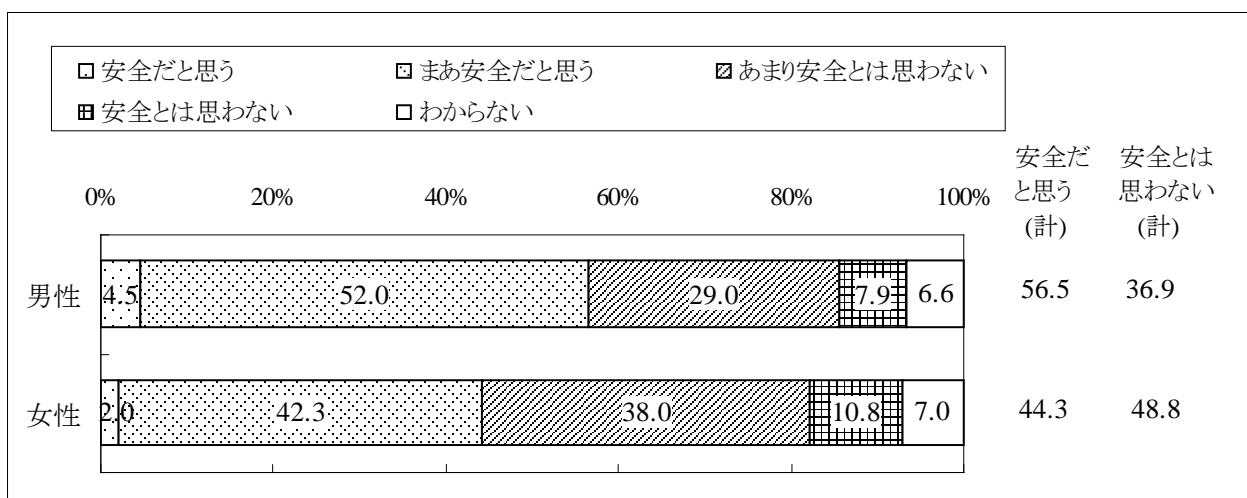
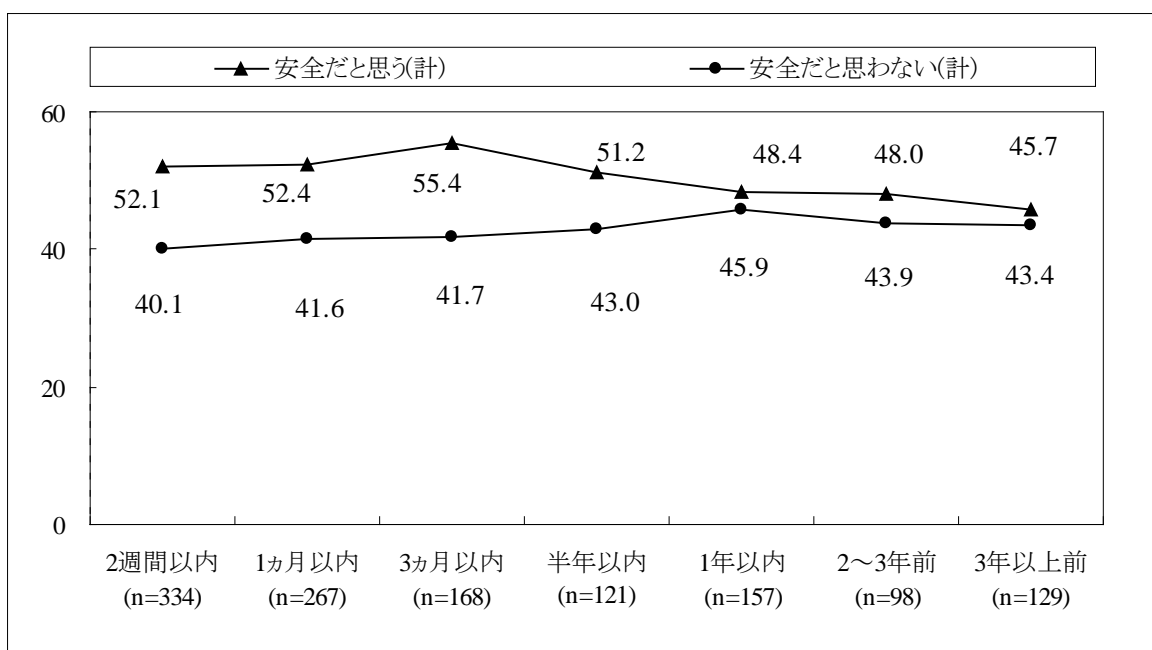


図 11 医療機関の安全性についてどう思うか－国民・男女別



医療機関の安全性に対する意識は、性別や年齢以外に個別状況に応じた医療が行われていると思う人ほど「安全と思う」割合が高い。さらに、受療した時期によっても違いがみられた。受療してから月日を経ると「安全である」と思う割合がやや低くなる傾向がみられた。医療機関で受療したときの印象が、環境を含むさまざまな要因で月日とともに変化することが考えられる。一方、前述した「日本の医療」に対する満足度と「医療機関の安全性に対する意識」は相関係数が 0.425 で比較的高い傾向を示した。「受けた医療」に対する満足度との相関は 0.194 で、安全性に対する意識が日本の医療に対する満足度に影響を与えている可能性がある。

図 12 医療機関の安全性への意識（国民）－受療の時期別



(3) 医師と患者の意識

医師患者関係については受療側と提供側の間に意識の差がみられる。ただし、第1回調査よりも差が縮まる傾向がみられた

患者一人ひとりの性格や立場、本人の希望といった個別状況に応じた医療が行われていると思うか尋ねたところ、「行われている」と回答した人の割合は、国民では過半数の54.8%、患者では7割強の72.9%を占めた。このような個別状況に応じた医療を受けていると感じる人は、医療に対する満足度が高い傾向がみられる。個別医療を受けていると回答した国民の94.5%は、受けた医療に総合的に満足している。第1回調査と比べ、国民、患者ともに「行われている」と回答した人の割合が微増している。一方、医師については、個別状況に応じた医療を「行っている」と回答した人の割合が92.7%と9割を超えた。第1回調査に比べて差がやや縮まる傾向がみられるものの、依然、受療側と提供側の意識に大きな違いがみられる。

図13 個別状況に応じた医療

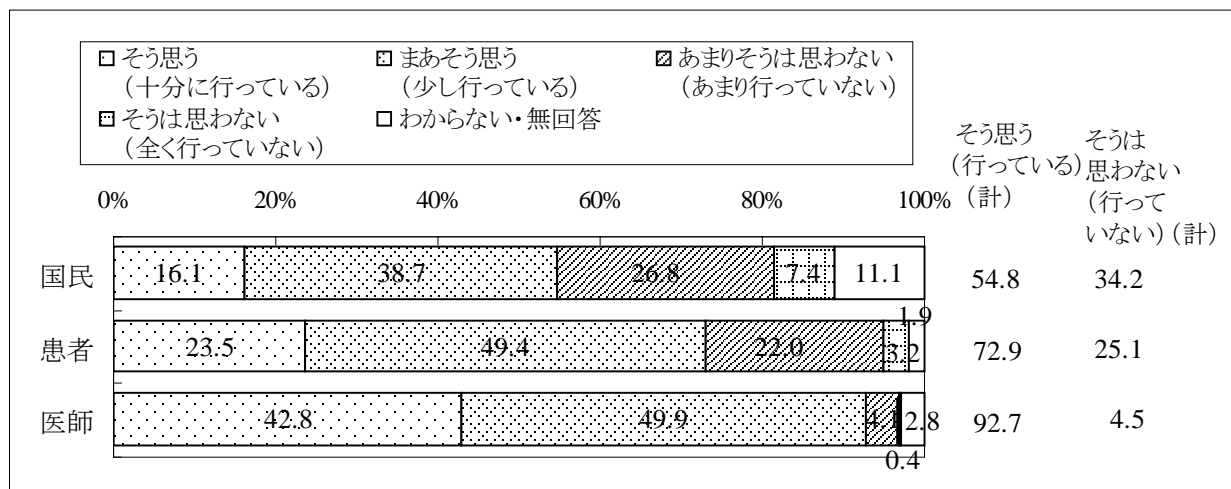
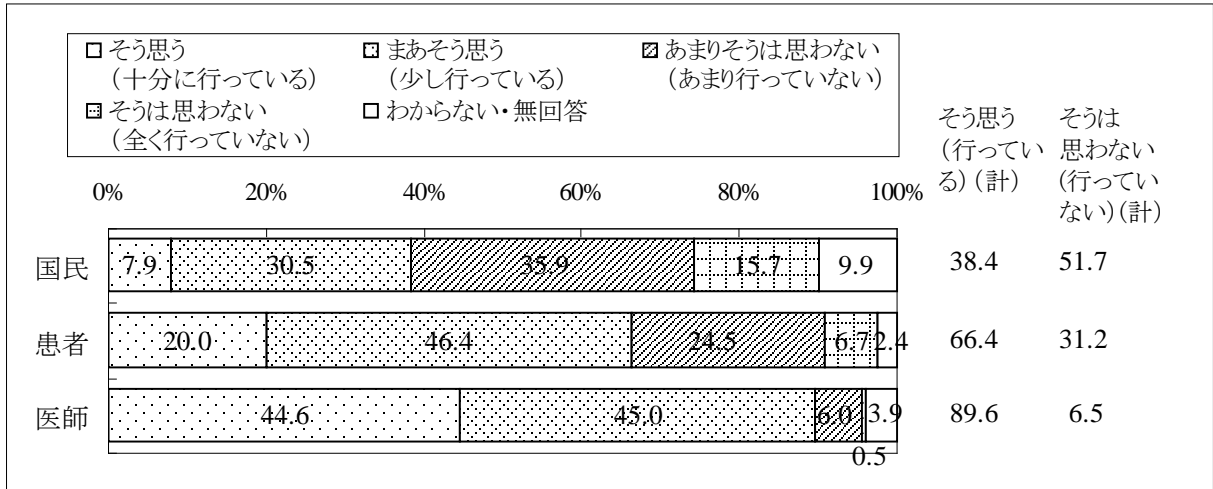


図 14 個別状況に応じた医療(第 1 回調査結果)



(4) 終末期医療について

末期がんなどにかかって、回復の見込みがない患者に対する終末期医療について望ましい医療提供の場を、「自分自身の場合」と「家族の場合」に分けて尋ねた。自分自身の場合では、自宅を選んだ人が 33.8%、ホスピスなどの緩和ケア施設と回答した人が 30.5%であった。ただし、患者については、ホスピスなどの緩和ケアが 33.3%で、自宅は 25.8%であった。また、年齢別にみると、年齢階層が高くなると、自宅を好む割合がやや低下する傾向がみられる(次ページ)。

自分自身ではなく家族の場合も傾向は同様であるが、近所の医療機関、高度医療を持つ医療機関を持つ医療機関の割合が自分自身の場合よりやや高いという傾向を示している。

図 15 終末期医療を受ける場所

「末期がんなどにかかって終末期医療を受けるとすればどのような場所が理想だと思いますか」

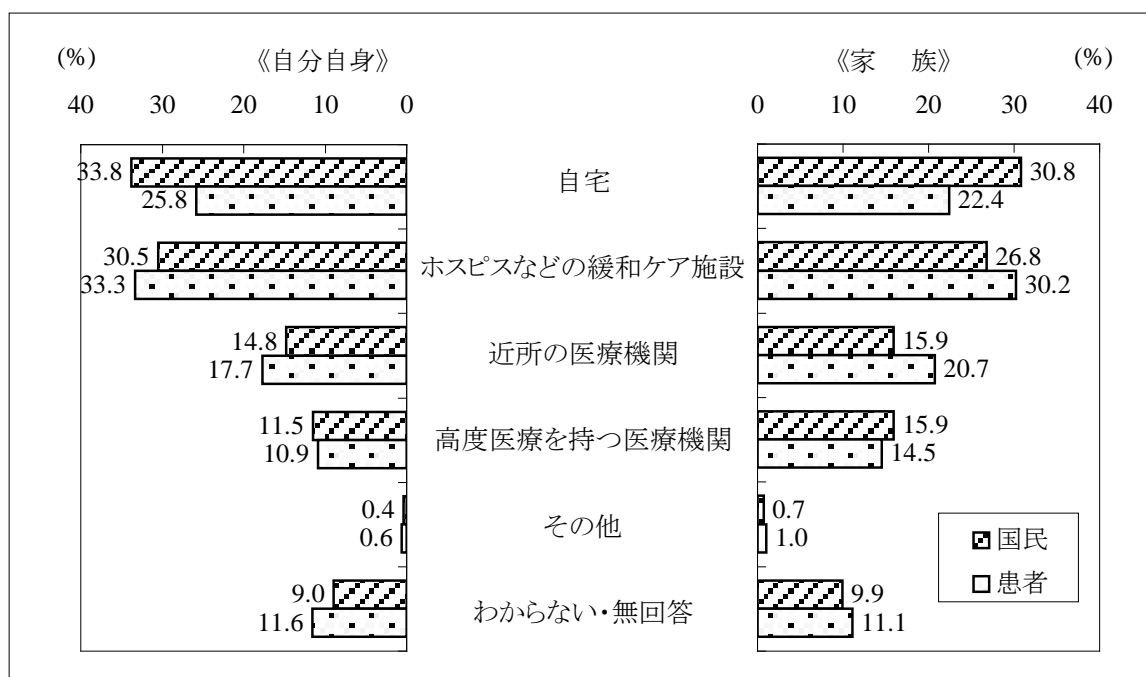
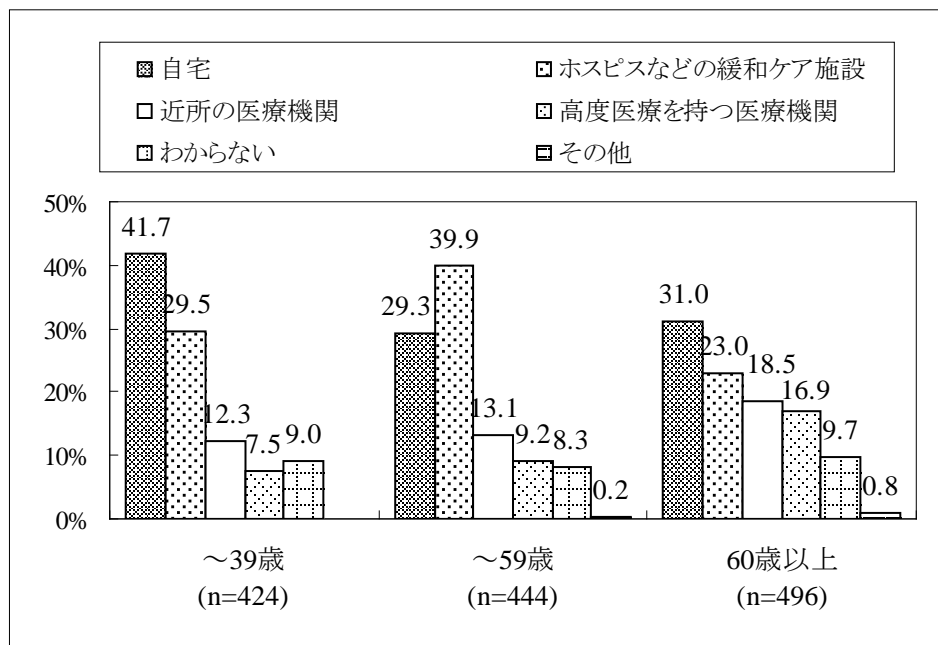


図 16 終末期医療を受ける場所（自分自身）一年齢別



厚生労働省の終末期医療に関する調査^{viii}では、終末期における療養の場所として、なるべく早く緩和ケア病棟に入院したいと思う人の割合は 22.9%であった。自宅療養をした後で必要になった場合は緩和ケア病棟に入院するが 26.7%、自宅療養をした後で必要になった場合は医療機関に入院するが 21.6%で、両者で全体の 48.3%をしめている。自宅で最後まで療養したいという人の割合は 9.6%に過ぎない。これらの結果からは、自身は終末期医療として高度医療を望まないという傾向と、自宅を医療提供の場として望むが家族へ負担をかけることへの心配があることが予想できる。

現実には、自宅が死亡場所となっている人は日本人の 12.4%にしか過ぎず、1951年の 82.5%から割合は減少し続けている^{ix}。終末期医療の提供の場はあくまで医療の中身に付随するものであるが、人生の最期をどこで過ごすかという重要な決断のために、地域におけるインフラ整備と人材確保が早急に必要である。

viii 厚生労働省「終末期医療に関する調査」終末期医療に関する調査等検討委員会(2003)

ix 厚生労働省「人口動態調査」2004年

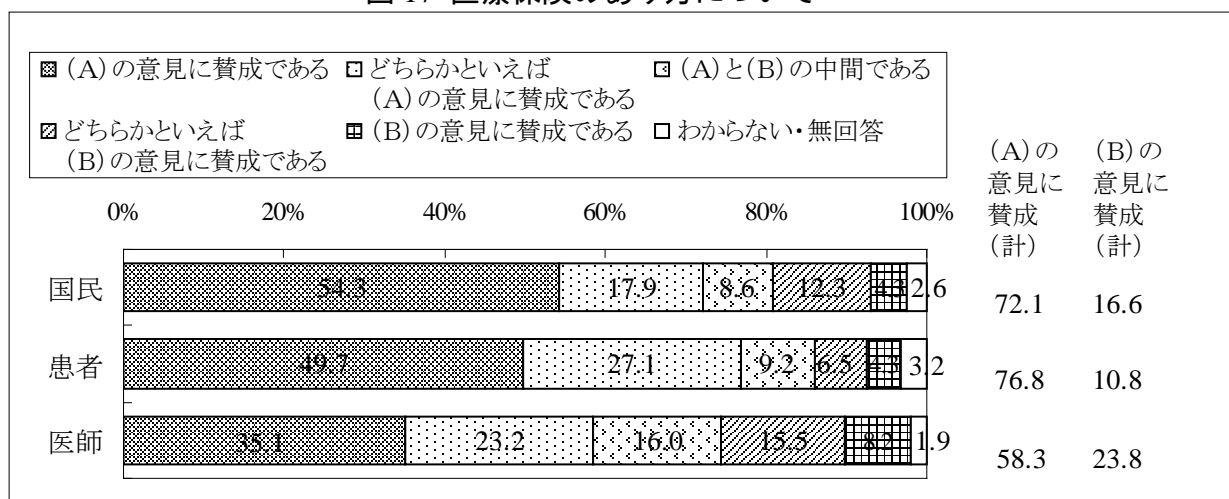
(5) 医療保険

医療保険のあり方について、国民・患者の7割が所得に関係なく同じレベルの医療を受けることに賛成している。これは3年前と同様の傾向である

格差社会といわれる中、医療保険について、国民の72.1%、患者の76.8%が「(A) 所得に関係なく同じレベルの医療を受けられる仕組み」を支持した。一方、「(B) 所得の高い人は保険で給付される以上の医療を受けられる仕組み」を支持する人は、国民が16.6%、患者は10.8%であった。同じレベルの医療を求める割合は第1回調査とほぼ同様であった。医師はAが58.3%、Bが23.8%であった。

- (A) 現在のように所得の高い低いに関係なく、国民みんなが同じレベルの医療やサービスを受けられる仕組みがよい
 (B) お金を払える所得の高い人は追加料金を払えば、保険で給付される以上の医療やサービスを受けられるのがよい

図 17 医療保険のあり方について



上記のAに賛成と回答した国民を世帯収入別にみると、400万円未満が77.3%、400万円以上800万円未満が71.6%、800万円以上が67.9%であった。高所得になるとAを望む割合がやや低下し、医療内容に差がつくことに賛成する傾向がややみられる。

3. かかりつけ医

かかりつけ医認定やかかりつけ医への支払い制度など、かかりつけ医にかかわる議論が進むなか、住民が何を求めており、今後のかかりつけ医機能の強化には何が必要なかをまず十分に理解しておく必要がある。

(1) 「かかりつけ医」の有無と診療科、医療機関種類

国民の55%がかかりつけ医がいると回答している。かかりつけ医が診療所にいると回答した人が3分の2、病院にいると回答した人が3分の1であった。国民は多様な形でかかりつけ医にかかっている。

かかりつけ医^xがいると回答した国民は全体の55.3%で、第1回調査(56.7%)とほぼ同じ割合であった。かかりつけ医の有無は、年齢階層によって違いがみられる。診療科別にみると、内科が82.5%、次いで、整形4.6%、外科2.5%であった。

図18 かかりつけ医のいる人の割合－国民、患者

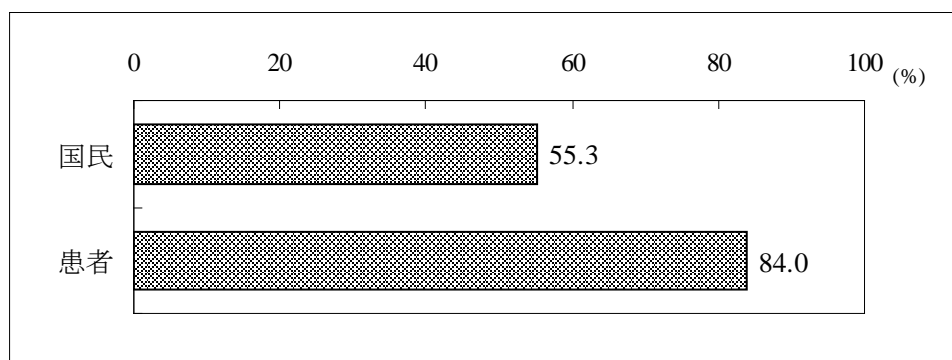
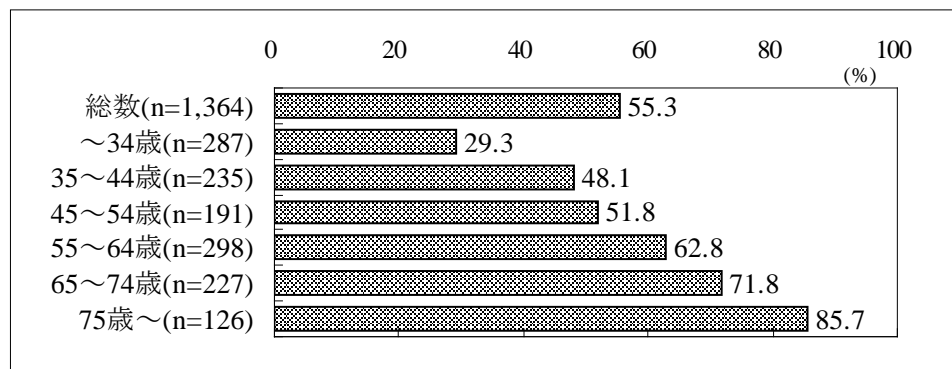
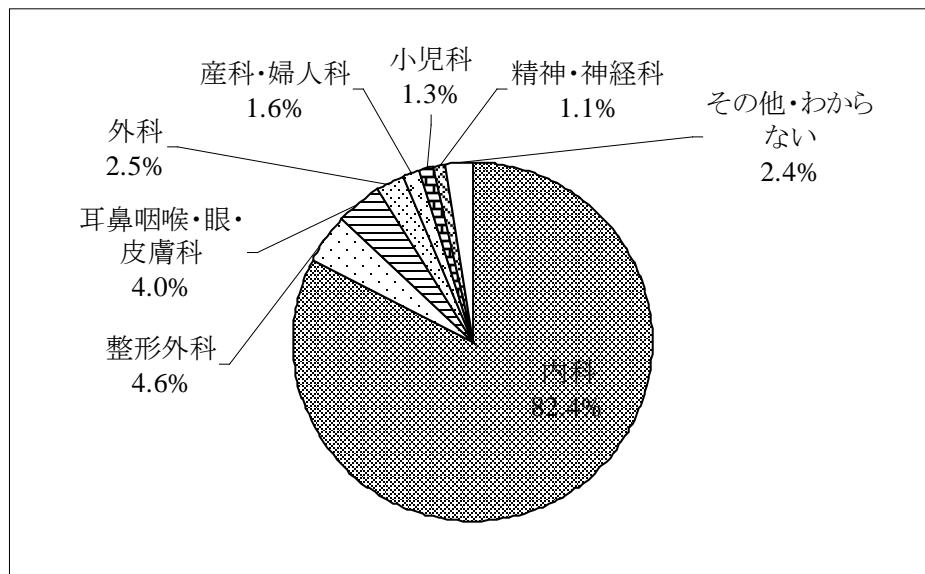


図19 かかりつけ医がいる人の割合－年齢別（国民）



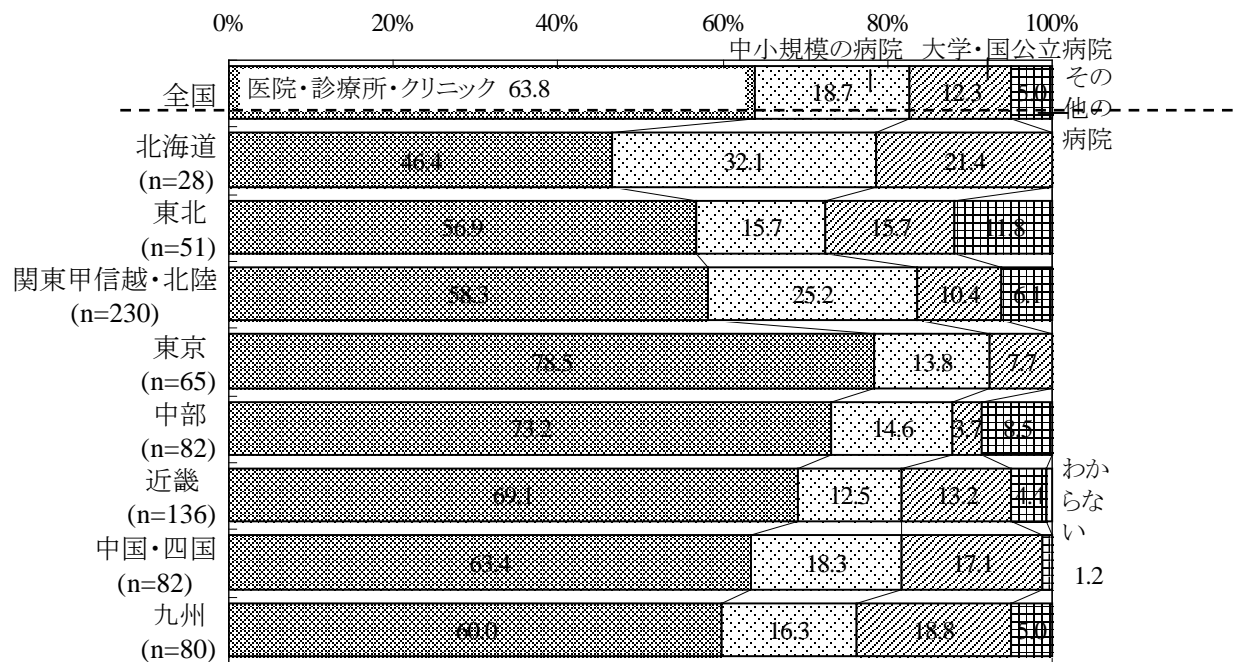
^x 一般に「かかりつけ医」とは自分の健康問題について相談できる身近な医師を指すが、本調査において回答者に特に定義を示していない

図 20 かかりつけ医の診療科 - 国民



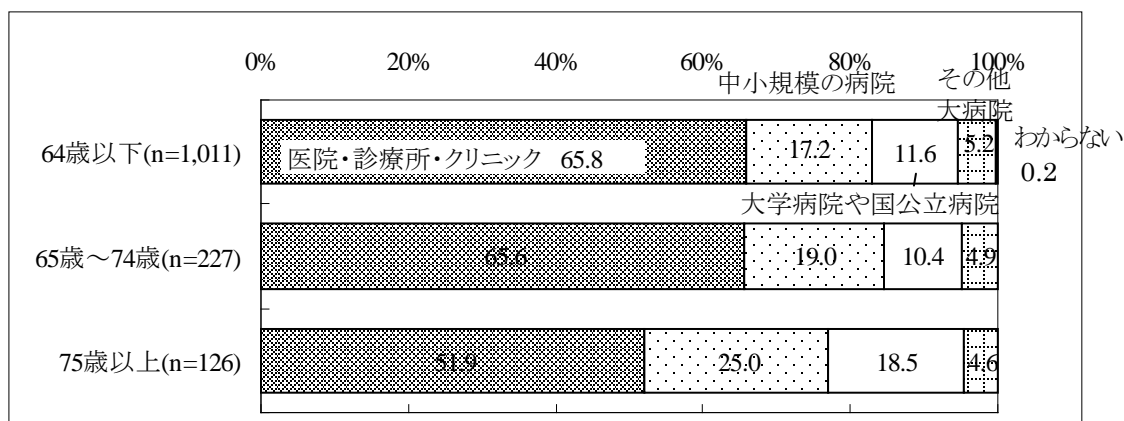
医療施設別では、診療所にかかりつけ医がいる人が 63.8%、病院が 36.0%を占めた。地域差があり、東京では診療所にかかりつけ医がいる人の割合が 78.5%と高かった。逆に、北海道では、特殊な地域性から、病院にかかりつけ医を持つ人の割合が 53.5%と高かった。

図 21 かかりつけ医がいる医療機関 - 国民



かかりつけ医のいる医療機関について、高齢者か否かで区別して調べると、75歳以上の後期高齢者のあいだで、病院医師をかかりつけ医とする人が48.1%となっており、年齢に関らず多様な形でかかりつけ医にかかっている状況である。

図 22 かかりつけ医がいる医療機関 - 年齢別



(2) かかりつけ医の医療機関までの時間、交通手段、選択の理由

国民がかかりつけ医と考えている医師への通院は、全体の77.2%が20分未満である。交通手段については、徒歩や自転車などが42.3%を占め、バス・電車などの公共交通機関は1割未満の9.2%にすぎない。診療所にかかりつけ医がいる人と病院にかかりつけ医がいる人との間にやや違いはみられるが、極めて身近な場所にかかりつけ医を持っていることを示している。

図 23 かかりつけ医までの通院時間 — 病院かかりつけ医、診療所かかりつけ医 別

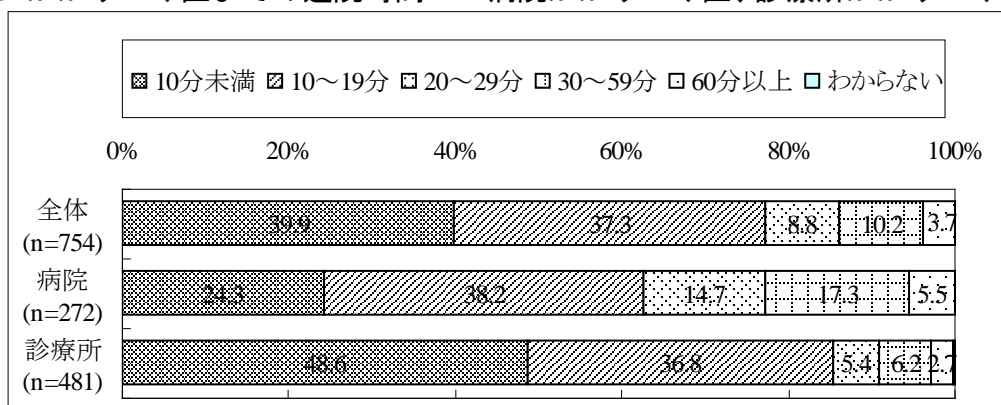
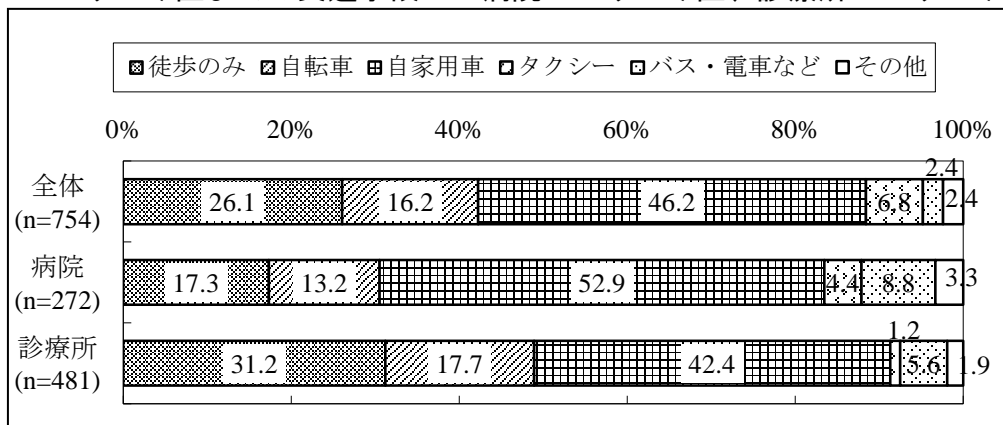
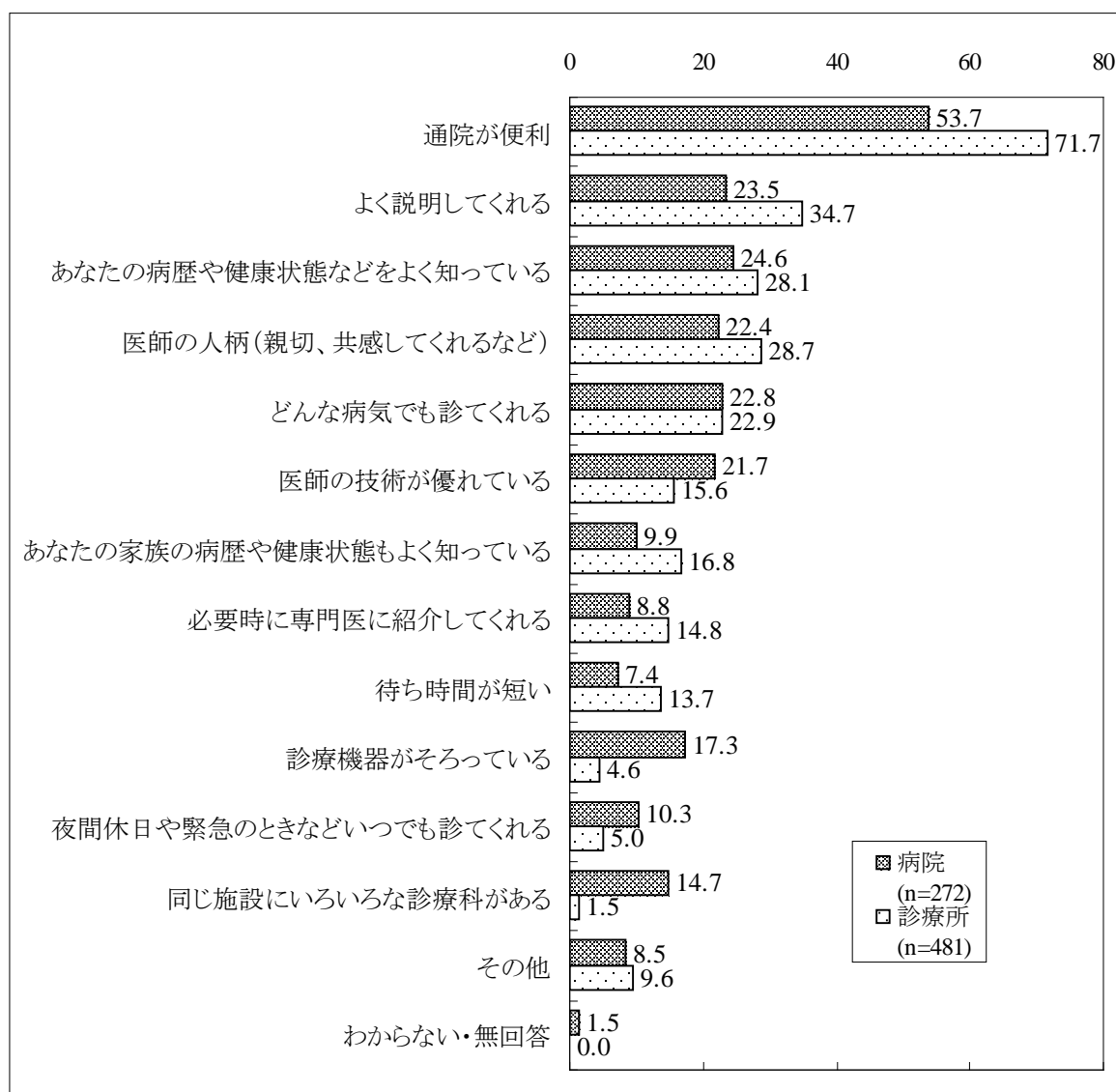


図 24 かかりつけ医までの交通手段 — 病院かかりつけ医、診療所かかりつけ医 別



かかりつけ医を選んだ理由としては、前述の近接性が最も大きな理由であるが、診療所かかりつけ医を持つ人と病院かかりつけ医を持つ人の間では選択の理由がやや異なる。診療所は医師の説明や人柄が病院より高い割合であるのに対し、病院は技術や診療機器、診療科の多さについて、診療所より高い割合を示している。今後、かかりつけ医機能を考えるにあたっては、これらの国民の選択理由を踏まえることが必要であろう。

図 25 当該かかりつけ医を選んだ理由－病院かかりつけ医、診療所かかりつけ医 別

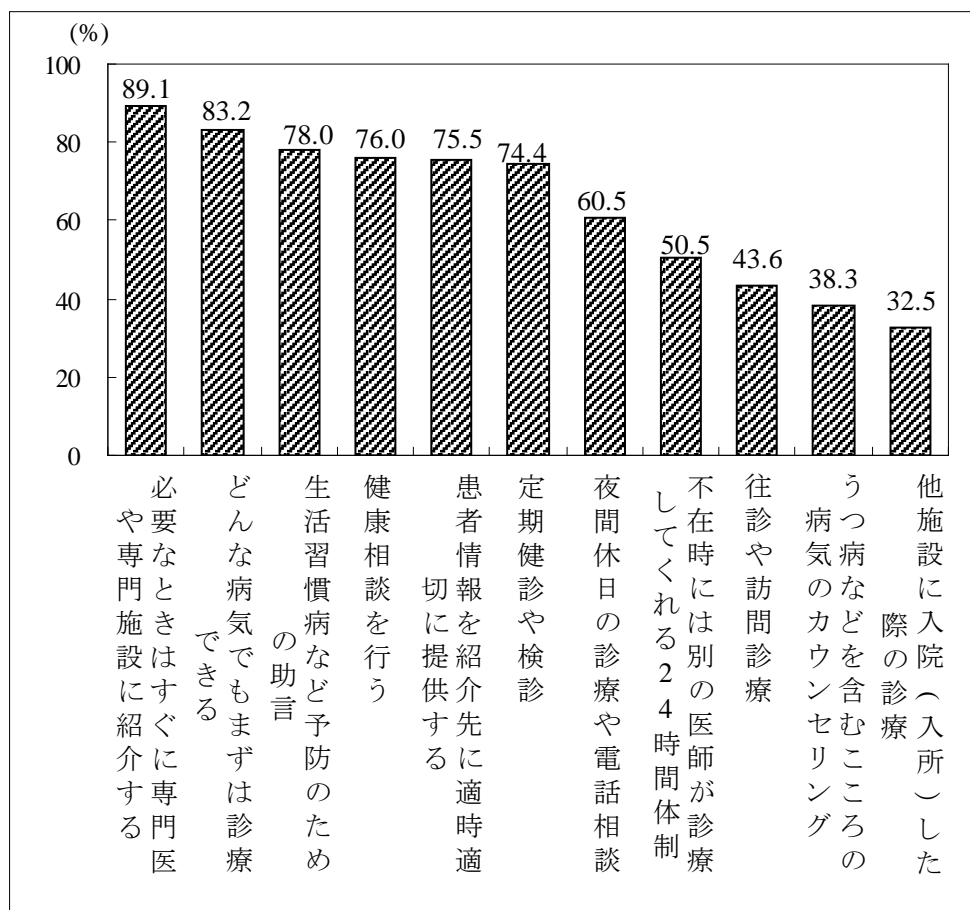


(3) かかりつけ医への要望

かかりつけ医に望むことの上位3項目は、必要時の専門医の紹介、どのような病気でもまずは受療できること、生活習慣病などに対する予防であった

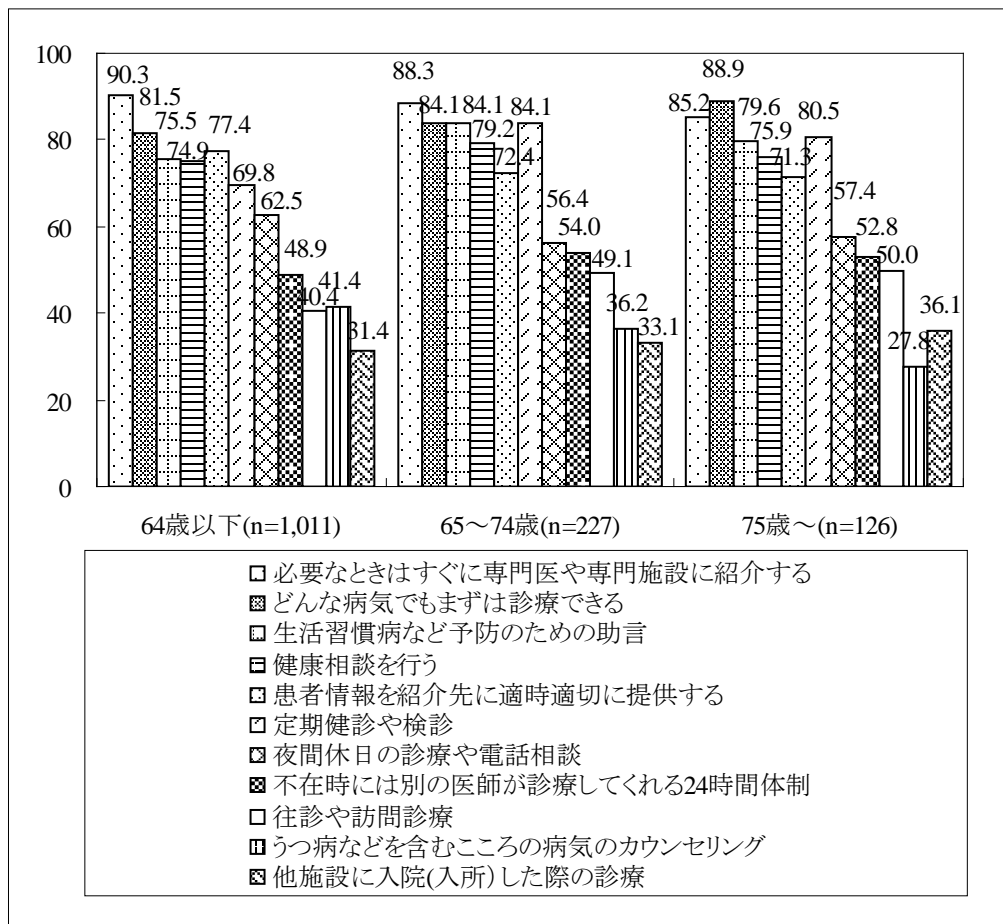
かかりつけ医に対して、国民の9割が「必要時に適切な紹介をしてくれる」ことを要望している。また、「どんな病気でもまず診療してくれる」ことを望む人が83.2%、「生活習慣病などの予防のための助言」を求める人が78.0%であった。専門的な医療が必要な場合は、すぐに紹介を受けることに対する要望が強い。

図 26 かかりつけ医に望む医療体制 - 国民 (複数回答)



年齢別にみると、75歳以上の後期高齢者の9割が、どんな病気でもまずは診察できることを望んでいた。65歳以上では「定期健診や検診」、「生活習慣病など予防のための助言」を望む人が約8割を占め、かかりつけ医を自身の健康状態を把握し相談出来る身近な存在としての要望が高いことがわかる。

図 27 かかりつけ医に望む医療体制 - 国民 年齢別（複数回答）



(4) かかりつけ医のいない人

現在、かかりつけ医はいないが「欲しい」と思う人は、国民の3割、患者の7割であった。

かかりつけ医は現在いないが「欲しい」と思っている人は、国民の間では全体の33.1%であるが、患者の間では73.2%にのぼる。また、診療を受けている患者は、かかりつけ医をより強く必要とする傾向がみられる。さらに、かかりつけ医が見つからない理由として、4割の国民が「医師や医療機関の情報不足」を、5割の患者が「どこで探せばよいかわからない」を挙げており、情報の普及にに関わる課題が理解できる。

図 28 「かかりつけ医を欲しいと思いますか」 — 国民、患者

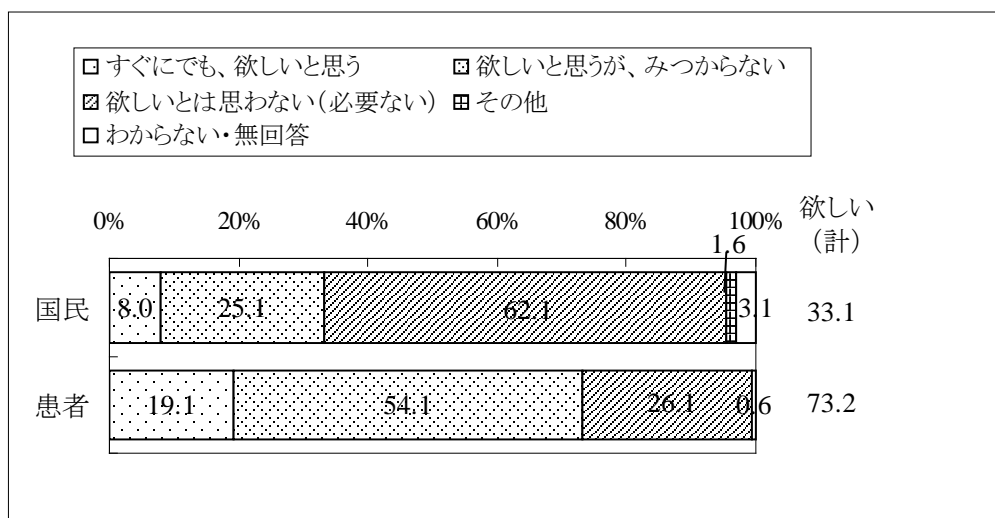
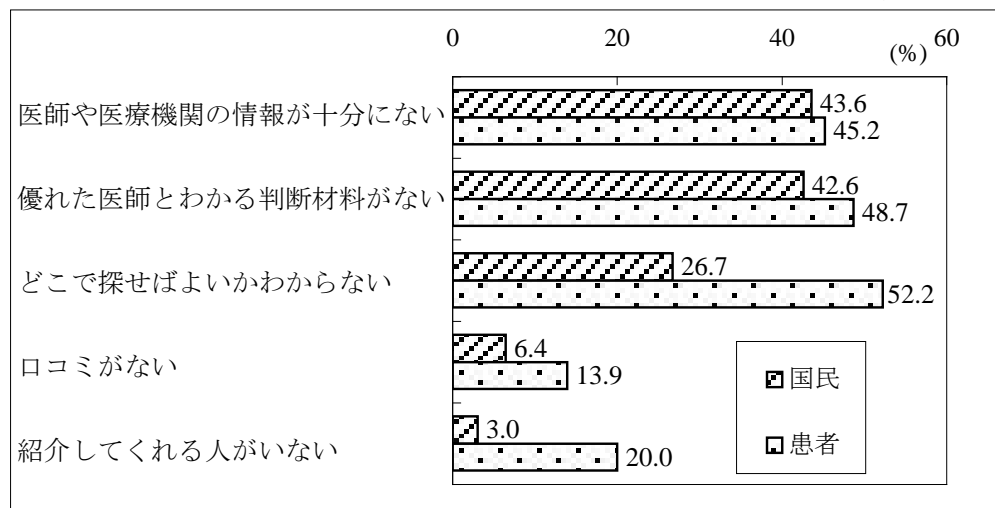


図 29 かかりつけ医が見つからない理由 — 国民、患者 (複数回答)

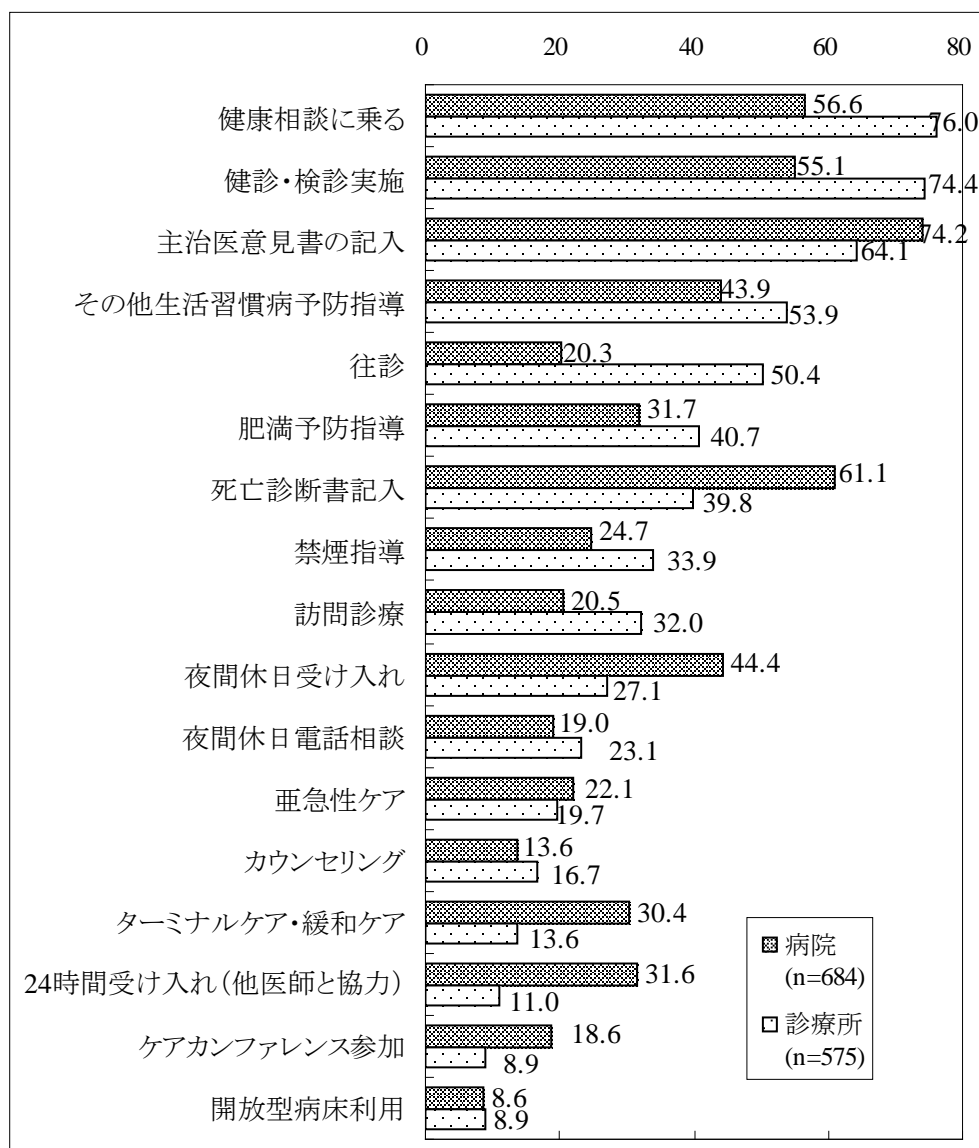


(5) 医師が提供するかかりつけ医機能

かかりつけ医機能として診療所医師が提供している医療・サービスは、健康相談にのる、健診・検診の実施、主治医意見書の記入、が上位3項目であった。

現場ではどのようなかかりつけ医機能が提供されているのであろうか。診療所医師で「生活習慣病予防指導」や「往診」を行う医師の割合はそれぞれ5割であった。また、夜間休日の診療は、病院医師が44.4%であったが、診療所医師は27.1%であった。

図 30 医師が提供するかかりつけ医機能 —病院、診療所別



(6) かかりつけ医機能の強化のための優先策

かかりつけ医機能強化のための優先策は、逆紹介の充実、地域医療連携室の充実、医師や医療機関に関する情報提供であった

図 31 地域連携を充実させるための優先策 (病院医師対象 n=684)

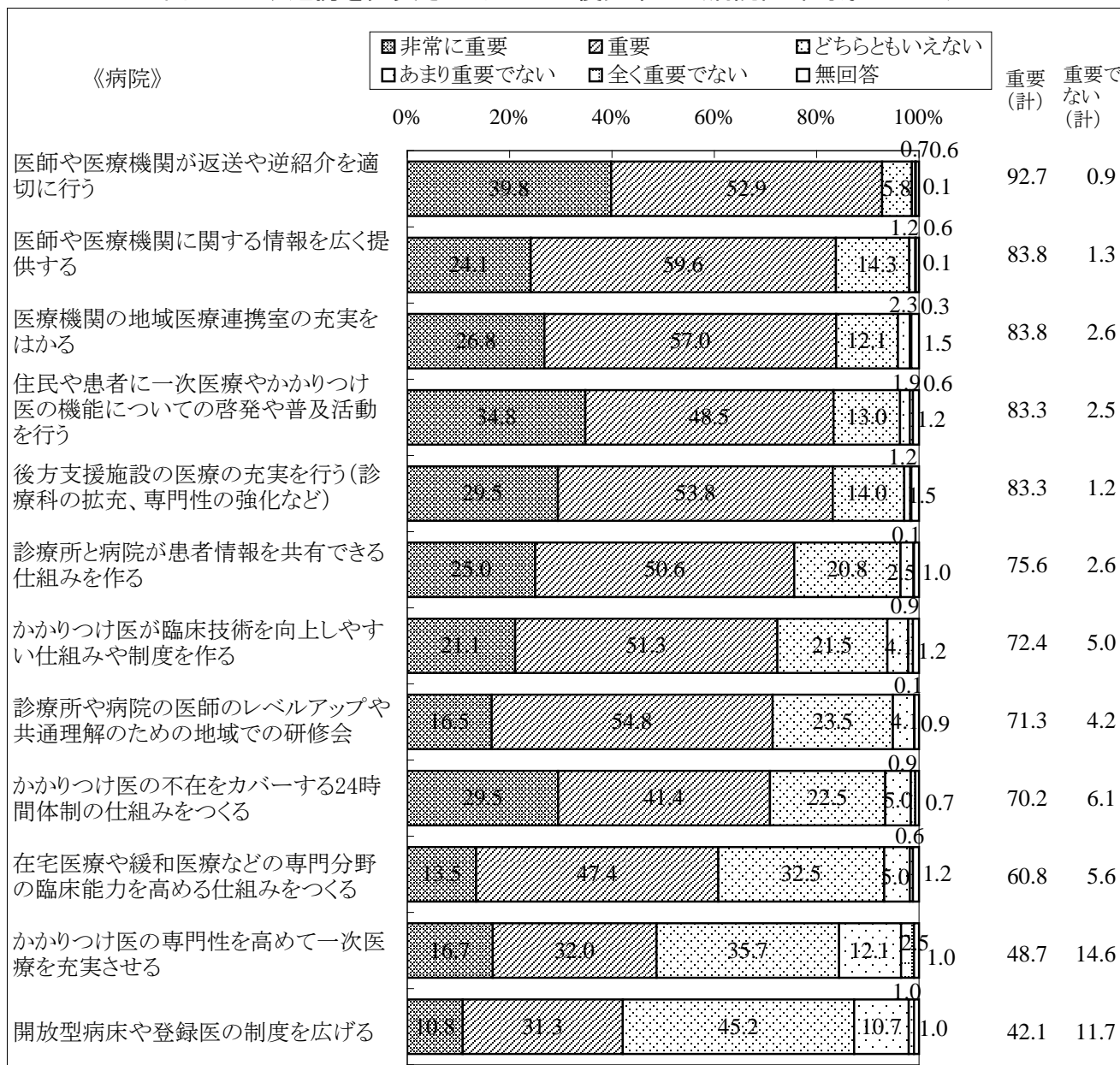
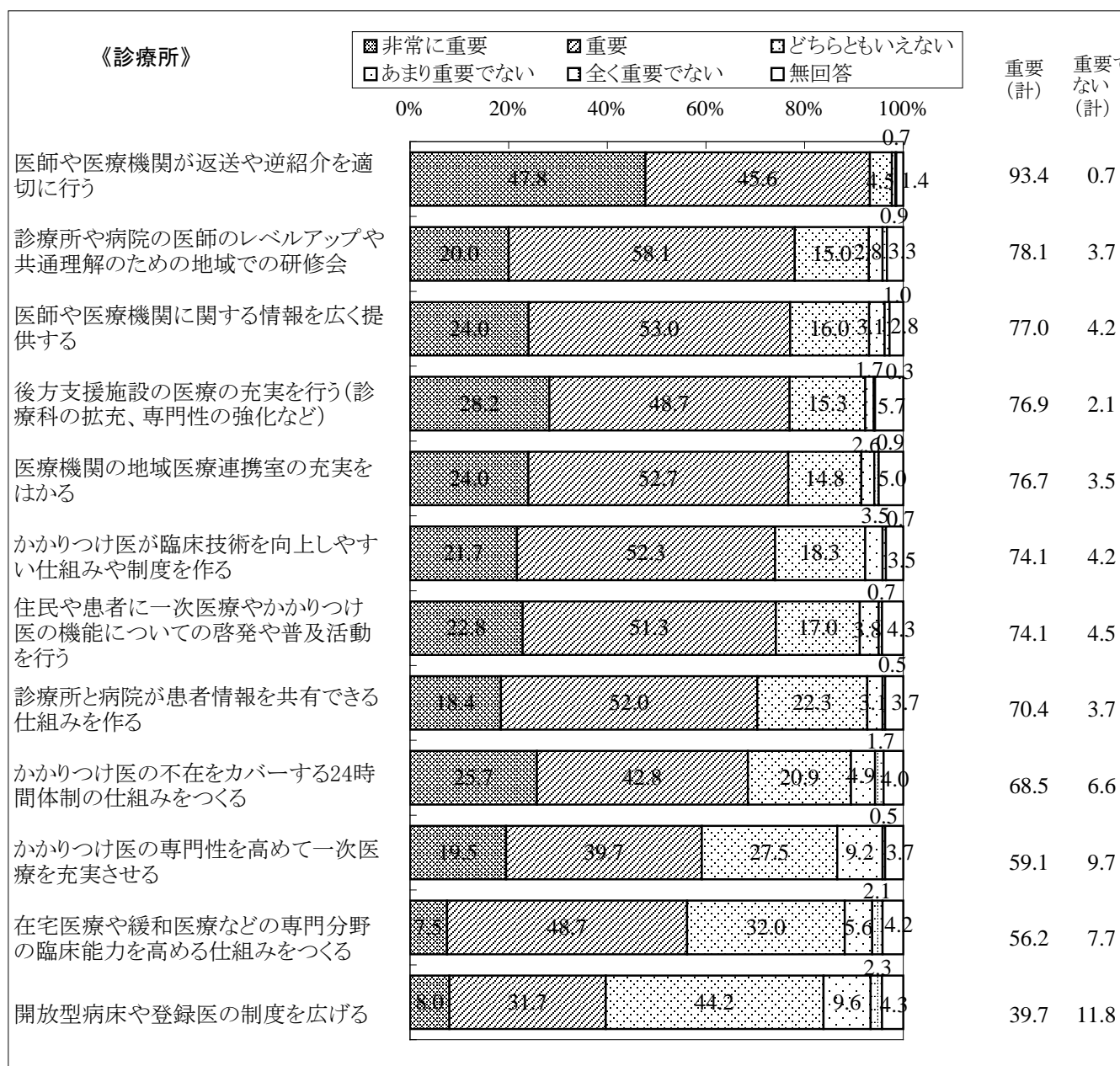


図 32 地域連携を充実させるための優先策 (診療所医師対象 n=575)



今後、かかりつけ医を中心とした地域連携を強化するために優先的に行なうべきこととして、逆紹介の充実、地域医療連携室の充実、情報提供が上位3項目であったが、これらの順位は病院医師と診療所医師の間で変わらなかった。両者の認識は一致しており、地域での対応を早期に進めることが必要であろう。

(7) かかりつけ医機能強化の阻害要因

かかりつけ医機能が機能していないと考える医師はその阻害要因として、住民の認識不足を第一としてあげ、次に医師自身の認識不足をあげている

地域でかかりつけ医機能が「機能していない」（機能していない+あまり機能していない）と回答した医師は19%で約2割、「どちらともいえない」は32.3%で約3割であった。地域でかかりつけ医機能が機能していない理由として、「住民や患者の大病院志向やかかりつけ医機能への理解不足」をあげた医師が7割を越えた。2番目の理由は「医師自身の認識不足」であった。

図 33 自身の地域で「かかりつけ医機能」は機能しているか

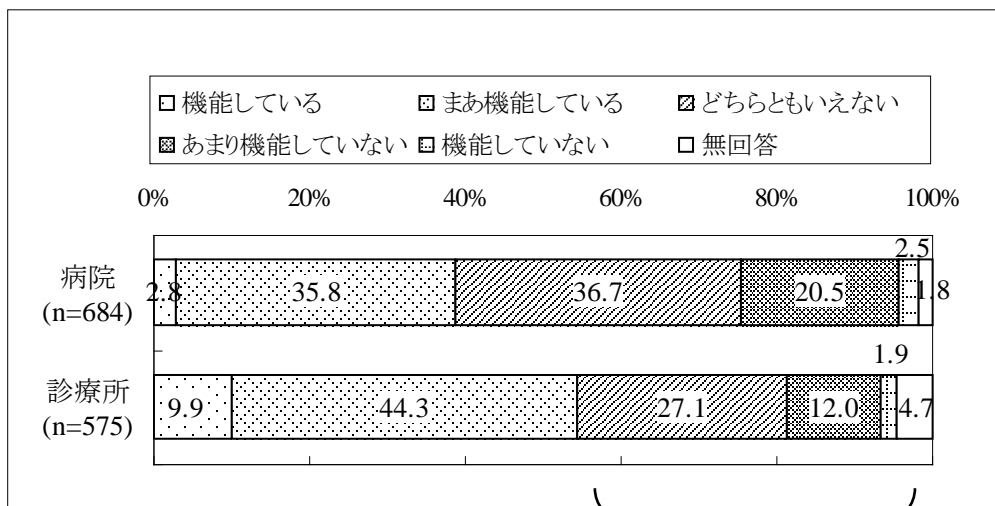
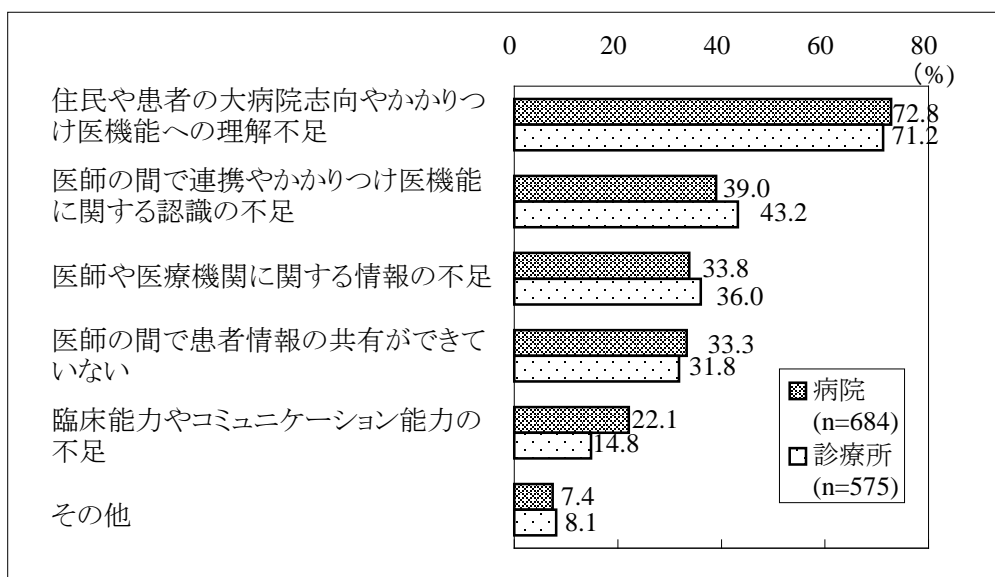


図 34 かかりつけ医機能が地域で機能していない理由（医師対象 複数回答）



4. 現場の声・医療者が抱える課題

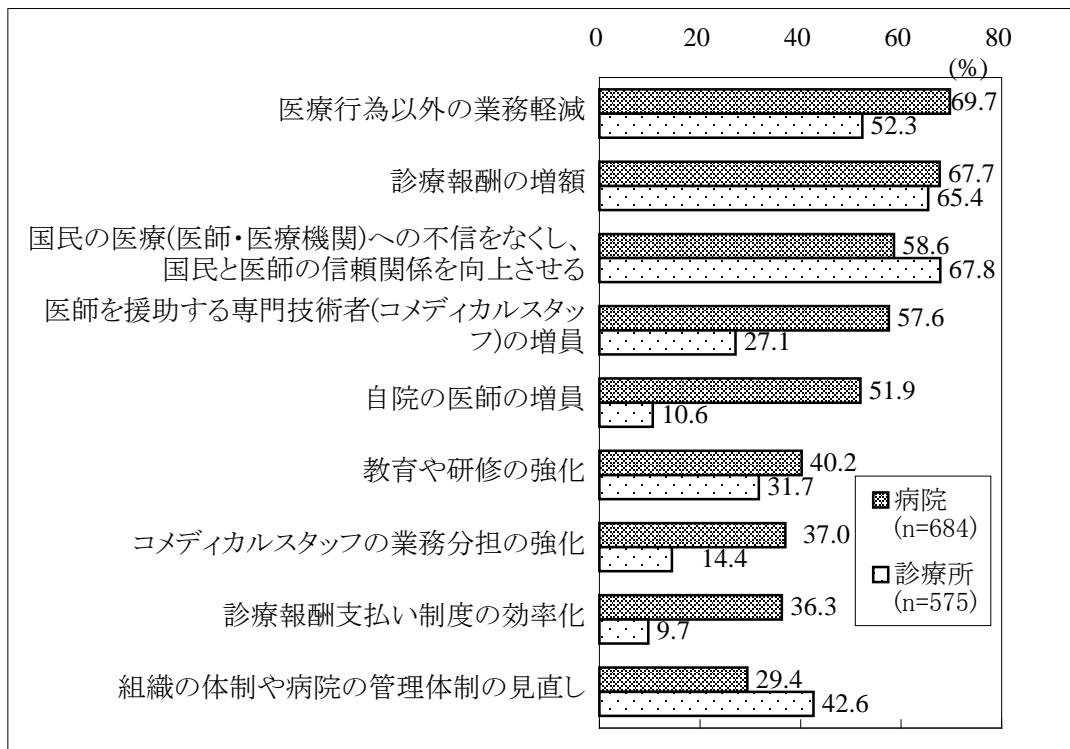
以下は、現場の医療提供者の意識を中心に述べる。

(1) 必要な改革

「よりよい医療に必要な改革」として医療者が考える上位3つは、診療報酬の増額、国民との信頼関係の向上、医療行為以外の業務の軽減であった

よりよい医療に必要な改革・環境整備として病院医師と診療所医師のそれぞれをみると、病院医師は上位から、「医療行為以外の業務軽減」、「診療報酬増額」、「国民との信頼関係向上」であった。一方、診療所医師は「国民との信頼関係向上」、「診療報酬増額」、「医療行為以外の業務軽減」であった。いずれも経済的安定、業務の軽減、患者との信頼関係が課題である。医師は患者との信頼関係に高い不安を持っている状況は注目すべき点であろう。

図 35 よりよい医療を実践するための改革や環境整備－病院医師、診療所医師別

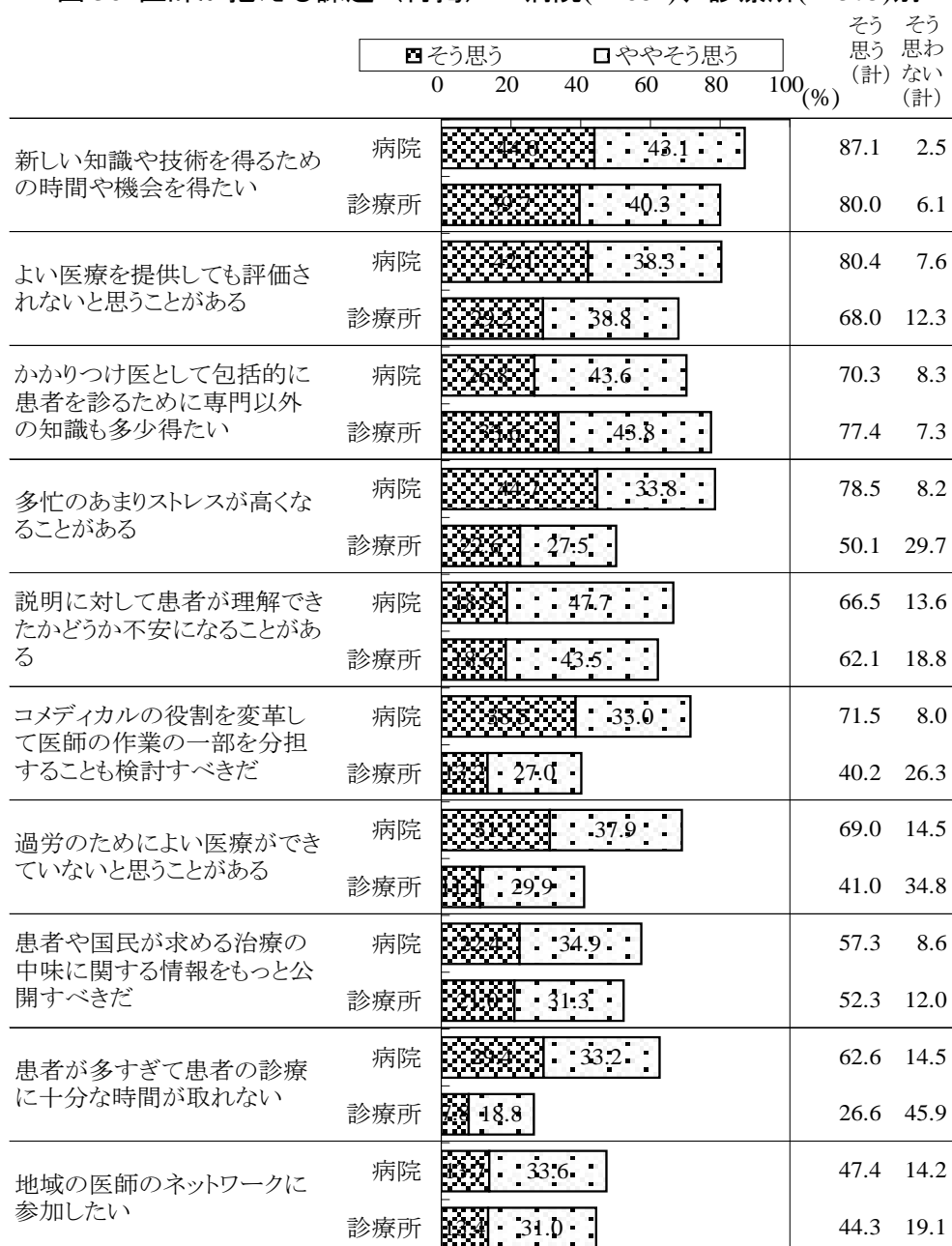


(2) 医師の抱える課題

よい医療を提供しても評価されないと思う医師は 74.8%、患者への説明に不安を感じている医師は 64.4%であった。

病院医師と診療所医師の間では課題や問題意識についての差が明確である。例えば、「患者が多すぎて診療時間が十分でない」と思う病院医師は 62.6%であるのに対し、診療所医師は 26.6%であった。両者のニーズに今後どのように対応していくべきかが課題である。

図 36 医師が抱える課題（再掲）－病院(n=684)、診療所(n=575)別

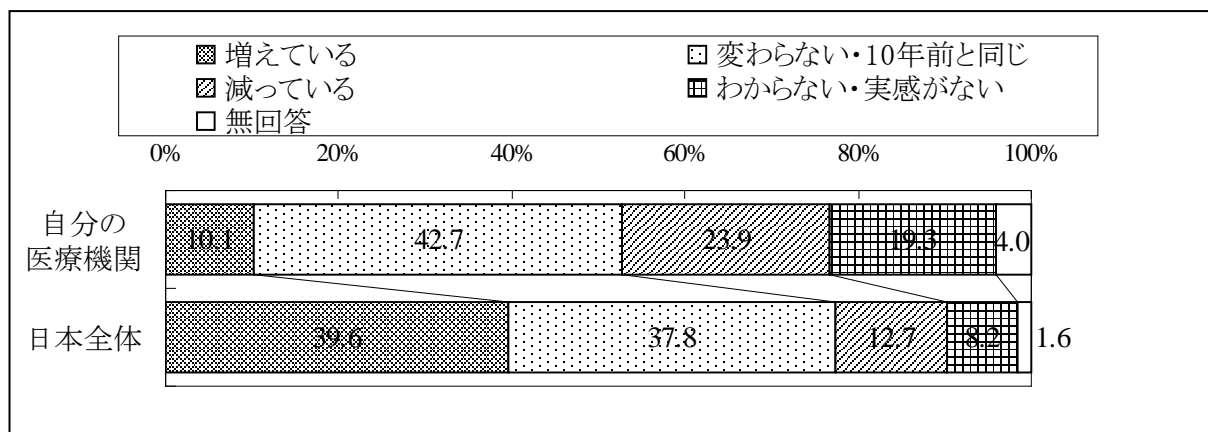


(3) 10年前との医療事故比較

医師に対して、10年前と比べた医療事故の増減に対する意識を尋ねた。自分の医療機関の医療事故の数は「変わらない」と回答した人の割合が42.7%と最も多く、「減っている」と回答した人の割合が23.9%、逆に「増えている」と回答した人の割合は10.1%であった。一方、「日本全体」では、医療事故が「増えている」と回答した人の割合が39.6%と最も多く、次いで「変わらない」(37.8%)、「減っている」(12.7%)であった。

自身の医療機関では「減っている」と思う人の割合のほうが「増えている」と思う人の割合よりも高いが、日本全体ではその逆の割合となっている点は、身近な経験からの意識とさまざまな情報から生じる意識との違いともいえる。

図 37 医療事故が増えているか減っているか 10年前と比較

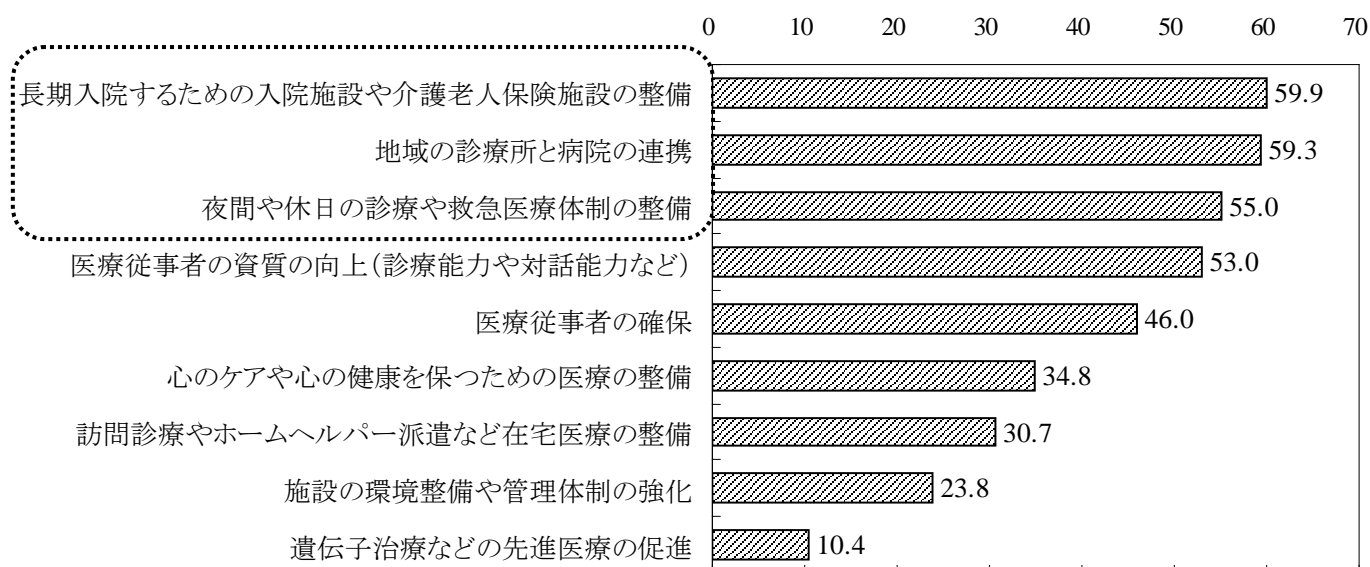


(4) 重点課題

医師が考える医療提供体制における重点課題は、「高齢者などが長期入院するための入院施設や介護老人保険施設の整備」と「地域の診療所と病院の連携」がそれぞれ 59.9%と 59.3%で最も高く、続いて、「夜間や休日の診療や救急医療体制の整備」が 55.0%であった。「医療従事者の資質の向上」が 53.0%、「医療従事者の確保」が 46.0%で続いている。

長期入院施設については、国民と患者においても第1位であった。また、医師の調査では、前回調査に比べて「医療従事者の確保」の割合が上昇して 46.0%に増加しており、現状の課題を如実に示している。

図 38 医療における重要課題 - 医師



5. まとめ

本調査は、国民・患者の医療に対する評価、ニーズ、地域におけるかかりつけ医のあり方をとらえた。また、第1回調査と同様、現場の医療者側の課題も把握した。

第一に、国民の医療に対する評価という観点では、受けた医療と日本の医療(制度)に対する満足度に差がみられ、医療の満足度の議論においてはそれらを明確に区別すべきである。実際、両者の相関は必ずしも高くなく、満足度が異なる要因で決定されていることが推測される。受けた医療への満足度は、治療費に最も影響され、かかりつけ医の有無との関連が強い。個別性のある医療を受けているかどうかとの関連も強い。それに対して、日本の医療に対する満足度は医療安全に対する意識との関連が強いことが判明した。

第二に、国民のニーズについては、個別性のある医療提供などの医師患者関係で、受療側と提供側で意識の乖離が前回調査よりやや差が狭まっていた。その理由として、人々の医療に対するさまざまな期待度が変化した、医療への理解が変容した、あるいは、医師の提供する医療そのものに変化がもたらされた、などの理由が考えられるが、明確な判断はできない。しかし、依然として乖離は大きく、今後も患者との関係の向上が必要である。

国民・患者の間では長期入院医療施設を求めるニーズが救急医療の整備の次に高い。さらに、終末期医療において、高度医療を望む人は少数である。長期入院医療や緩和ケア施設の整備を進めると同時に、自宅を含む生活の場での医療が可能になるべく、地域での環境整備が早急に必要である。最後に、医療機関が安全であると考える人は全体の約5割であり、前回調査に比べて微増しているが、4割強の人々は医療機関が安全でないと考えている。

第三に、本調査では、かかりつけ医機能についての意識を受療側と提供側の両者に尋ね、現状を詳細に把握した。重要な点は、国民が医療機関の種別や診療科を問わず、多様な形でかかりつけ医にかかっていることである。かかりつけ医を中心とした地域連携強化の仕組みを検討するにあたっては、フリーアクセスという個人の選択の自由を確保することが必要であろう。そのうえで、ニーズに応える医療を実践すべく提供側の体制と資質の向上を図ることが重要である。

かかりつけ医に対する住民のニーズのひとつは、包括的な医療と専門機関への紹介である。病院の医師をかかりつけ医に持つ人の選択理由のひとつが、「多数の診療科を持つこと」であることから、診療所のネットワーク化などによる患者利便性の向上も検討すべきであろう。一方、医療を受けている患者はかかりつけ医を持つ要望が高いが、一般国民はかかりつけ医を持つことの意義を感じない人が多い。かかりつけ医機能の強化には、国民への普及活動や医師に関する情報提供などの対応も進めるべきである。

第四に、現場の医師の状況についてであるが、世間一般では、医療界への不信感が根強い。また、医師は国民から十分な評価を得ていないという不安や不満を持っている。現場の医療者が数々の課題を抱えていることは、一部マスコミでも報道されているが、国民・患者に対してより正確に状況を説明し、理解されることが必要であろう。今回の調査からも、医師は疲弊し、患者への説明にも大きな不安を持っていることなど、ストレスの高い医師像が浮かび上がっている。このような現状を、国民に理解してもらうことが必要である。

本調査は「意識調査」であるため総論的な面が強い。医療が高度専門化するなか、特定の医療分野に限ったニーズや課題の把握が必要であるが、本調査は継続的に意識の変化をとらえることを目標としている。国民からの評価のひとつともいえる医療に対する満足度も、患者や国民がより大きい満足を得ることこそが医療提供者のインセンティブを高め、よりよい医療を提供する意欲につながると考える。問題となる要因を浮かび上がらせるツールをとらえ、継続的に把握していくべきであろう。

調査の各項目は、個別に詳細に分析すべきであり、今後の研究課題と考えている。本稿の中で浮かび上がったさまざまな課題－患者の満足要因、かかりつけ医の普及と強化、医療安全の確保－など、いずれもさらなる議論が必要と捉えている。

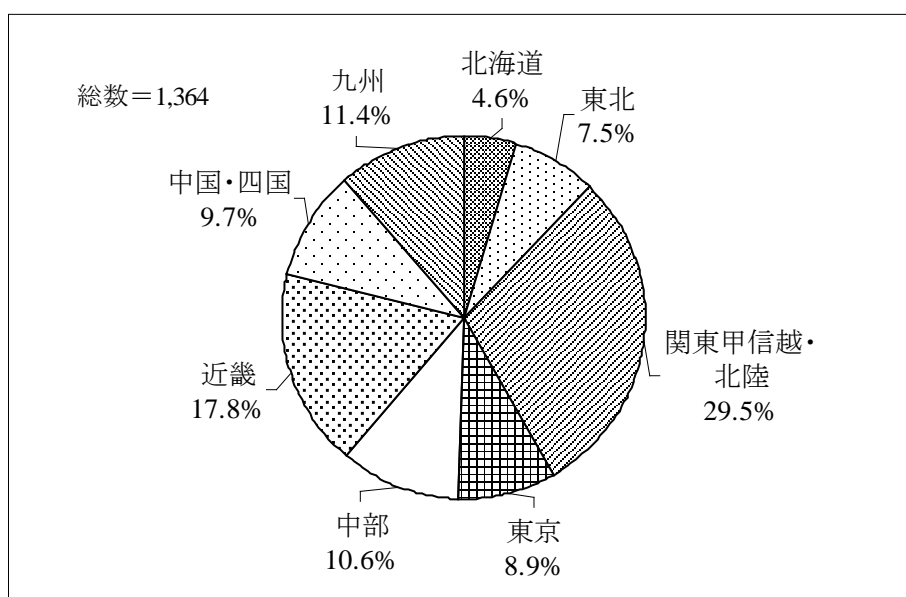
III. 回答者の属性

(1) 国民

1) 地域

全国 8 地域に分類するとそれぞれの比率は、北海道 4.6%、東北 7.5%、関東甲信越・北陸 29.5%、東京 8.9%、中部 10.6%、近畿 17.8%、中国・四国 9.7%、九州 11.4%であった。

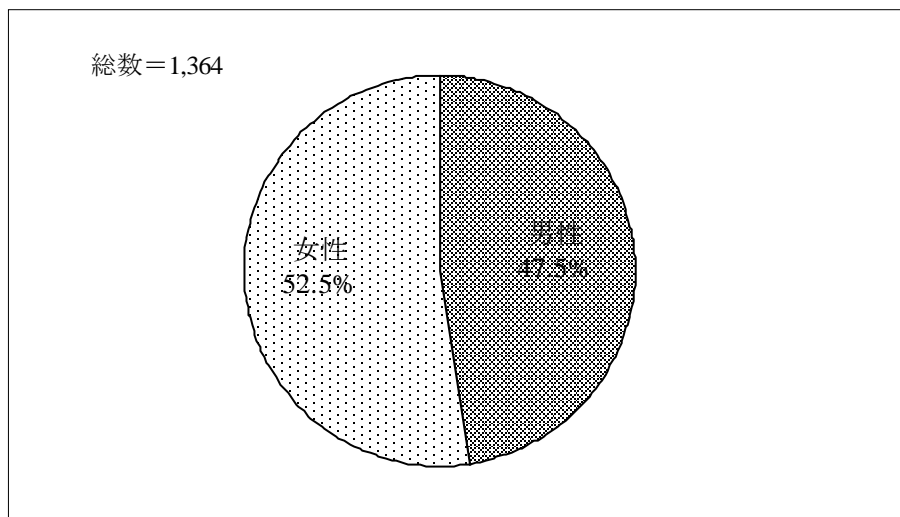
図 39 地域別構成比—国民



2) 性別

男女比は、男性 47.5%、女性 52.5%であった。

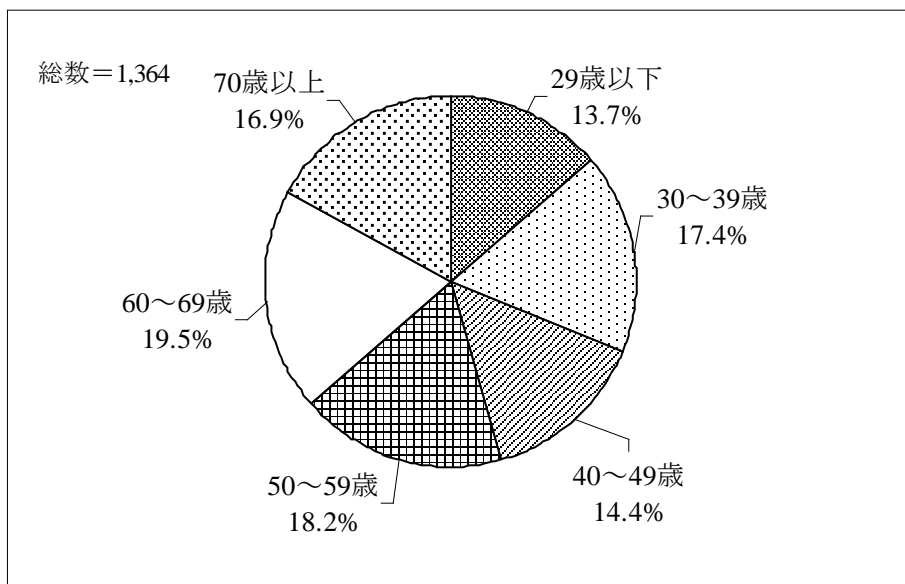
図 40 性別構成比 - 国民



3) 年齢

年齢構成は各年代 15%前後となった。

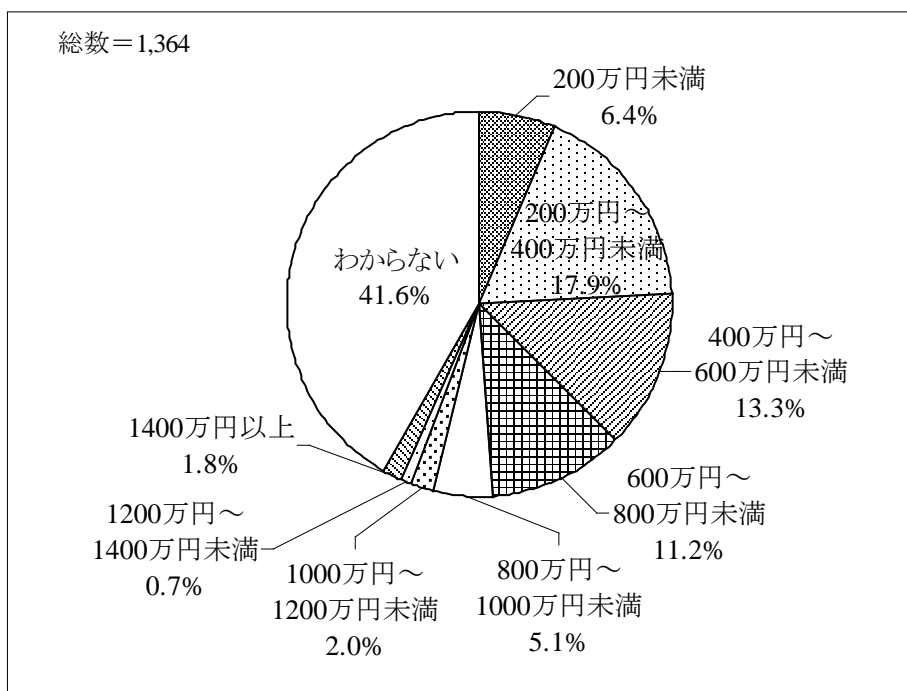
図 41 年齢別構成比 - 国民



4) 世帯収入

200万円～400万円未満の世帯が 17.9%で最も多かったが、「わからない」と回答を保留した割合が 41.6%を占めた。

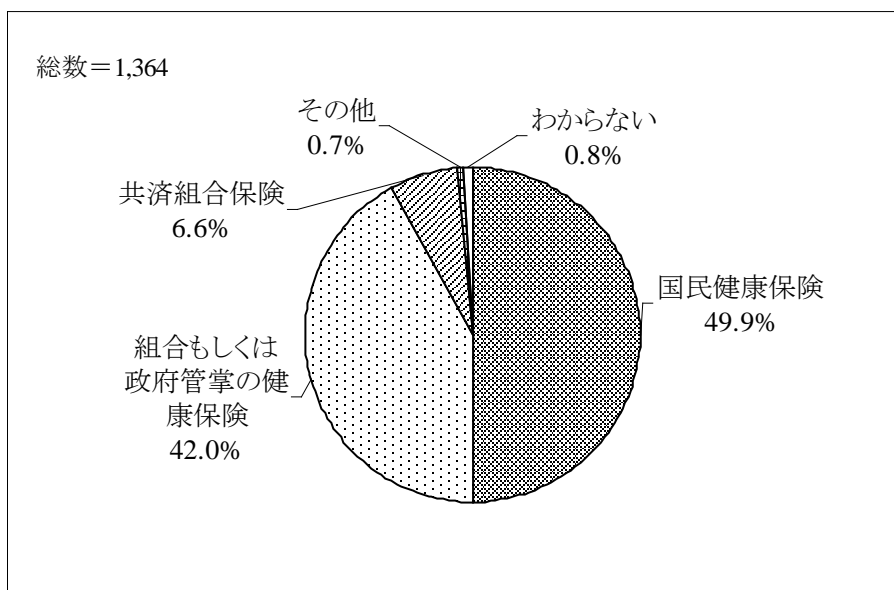
図 42 世帯収入別構成比 - 国民



5) 健康保険の種類

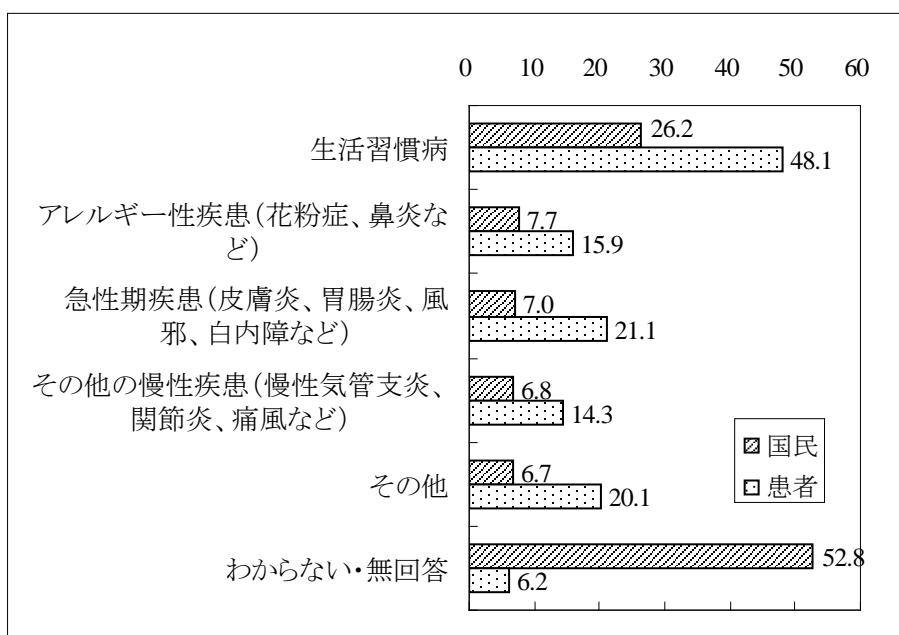
国民健康保険が49.9%、組合もしくは政府管掌の健康保険が42.0%の割合であった。

図43 健康保険の種類別構成比 - 国民



6) 現在治療中の疾患

図44 現在治療中の疾患 - 国民、患者

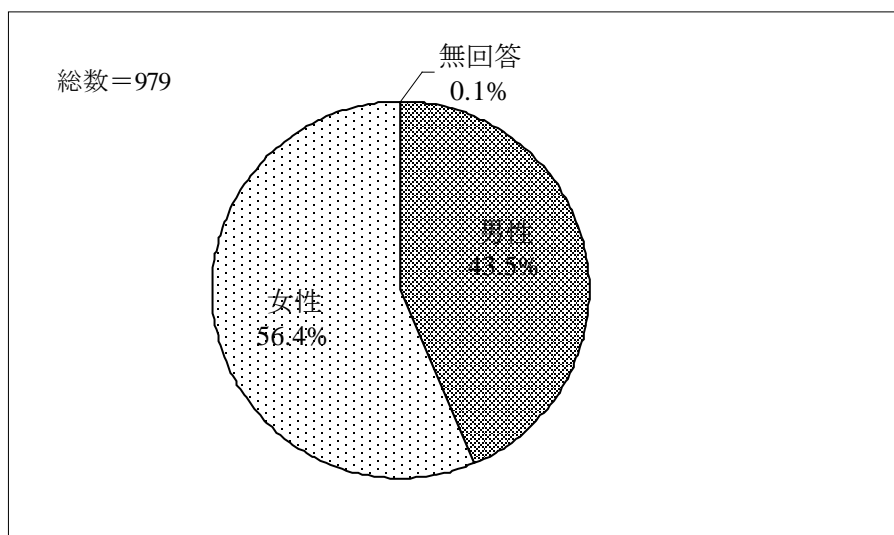


(2) 患者

1) 性別

男女比は、男性 43.5%、女性 56.4%であった。

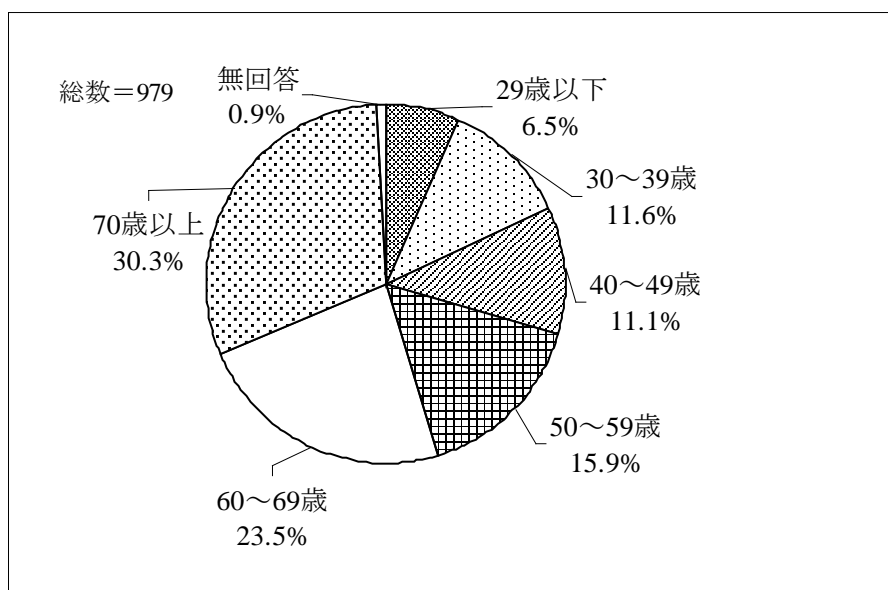
図 45 性別構成比 - 患者



2) 年齢

70歳以上が30.4%、60～69歳が23.5%で、半数以上を占めた。

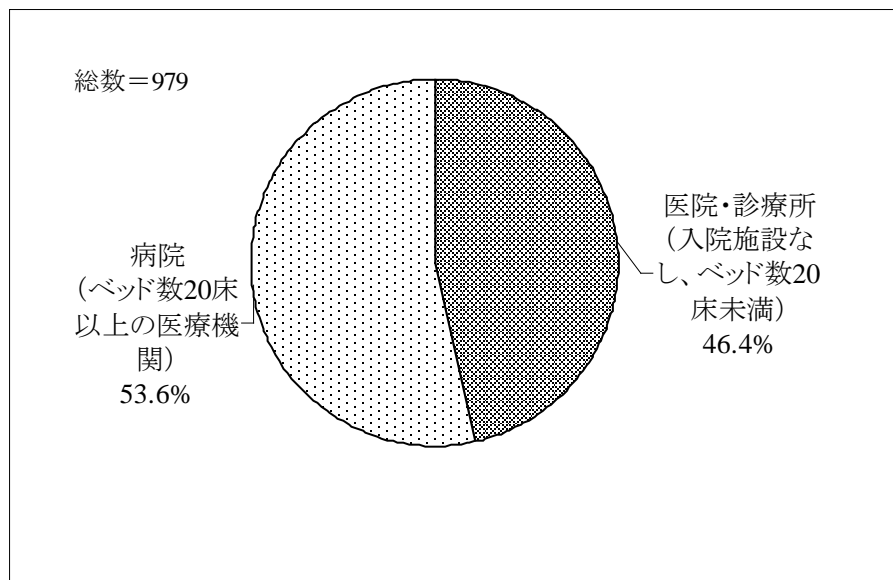
図 46 年齢別構成比 - 患者



3) 通院した医療機関

医院・診療所が 46.4%、病院が 53.6%であった。

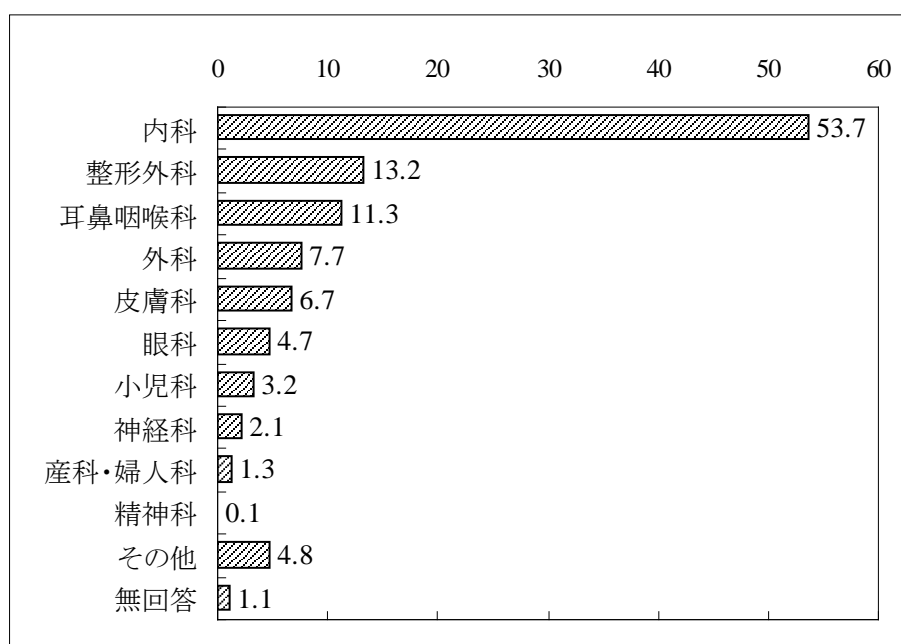
図 47 通院した医療機関 - 患者



4) 通院した診療科

内科の割合が 53.7%で最も多く、整形外科 13.2%、耳鼻咽喉科 11.3%が 1 割強となった。

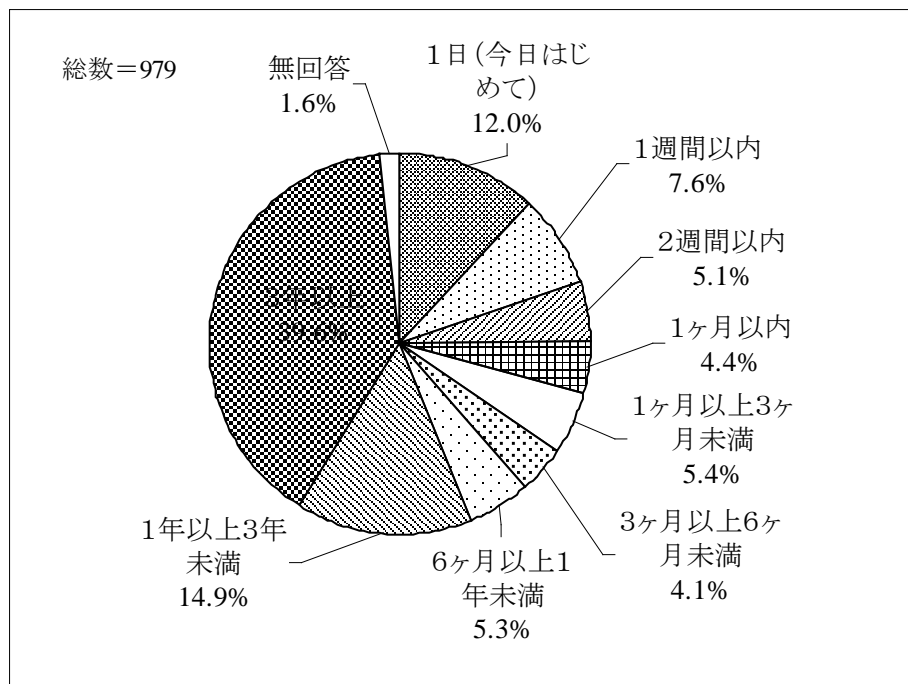
図 48 通院した診療科 - 患者



5) 通院期間

3年以上が39.6%、1年以上3年未満が14.9%と1年以上にわたる患者の割合が半数を超えた。今日始めてという患者は12.0%であった。

図 49 通院期間 - 患者

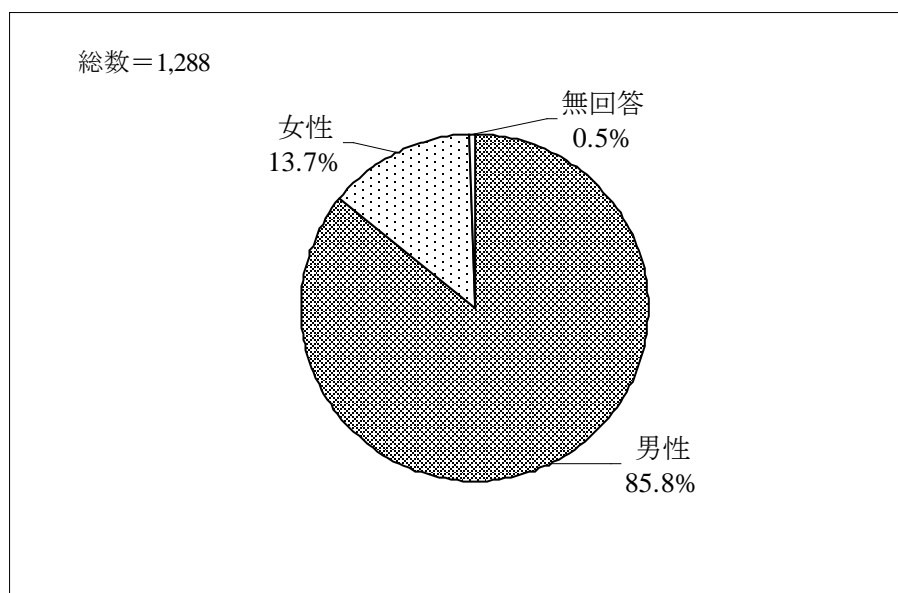


(3) 医師

1) 性別

男女比は、男性 85.8%、女性 13.7%であった。

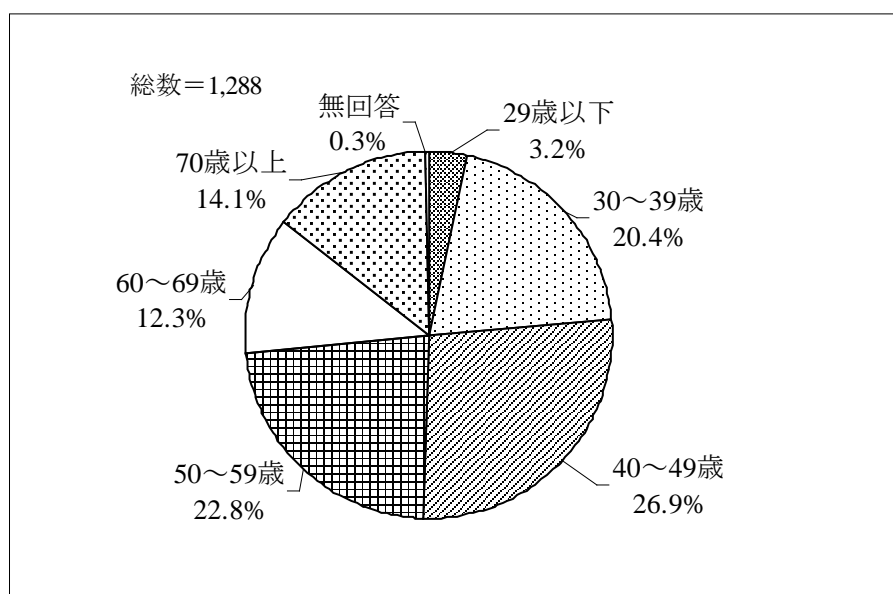
図 50 性別構成比 - 医師



2) 年齢

40～49歳の割合が26.9%で最も高く、50～59歳が22.8%、30～39歳が20.4%と約2割となった。平均年齢は51.4歳であった。

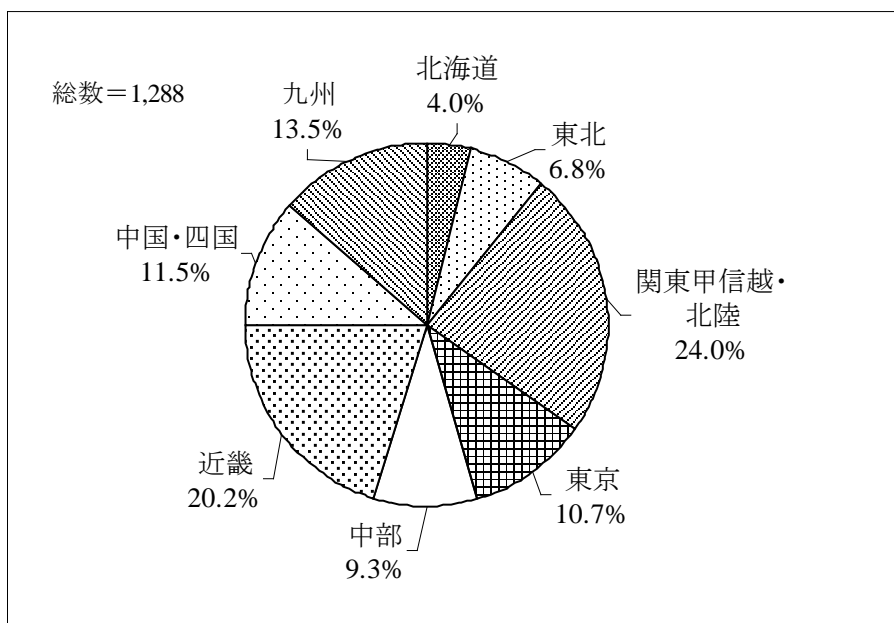
図 51 年齢別構成比 - 医師



3) 医療機関所在地（地域別）

北海道 4.0%、東北 6.8%、関東甲信越・北陸 24.0%、東京 10.7%、中部 9.3%、近畿 20.2%、中国・四国 11.5%、九州 13.5%であった。

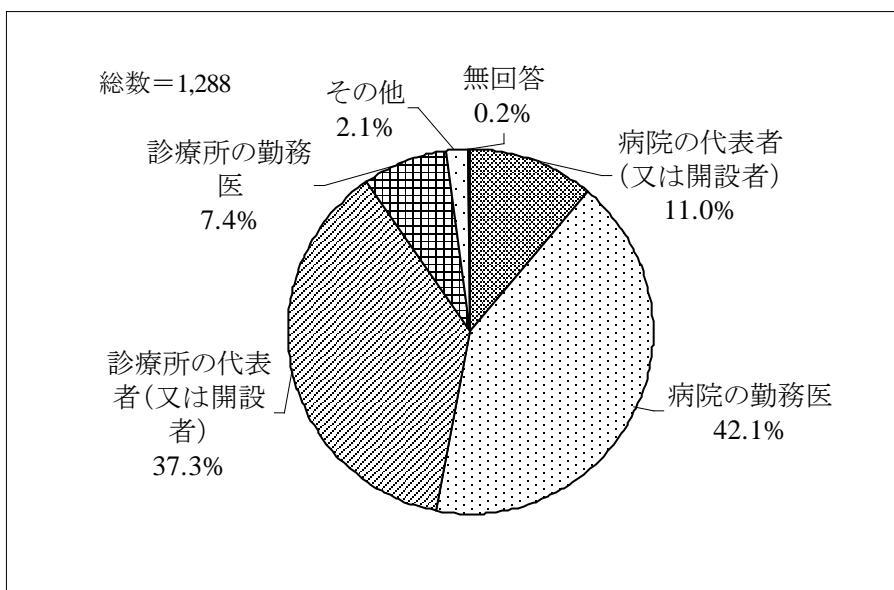
図 52 医療機関所在地（地域別） - 医師



(4) 現在の業務

病院の勤務医が 42.1%、診療所の代表者が 37.3%を占めた。

図 53 現在の業務 - 医師



(5) 病院と診療所別

図 54 年齢 - 医師

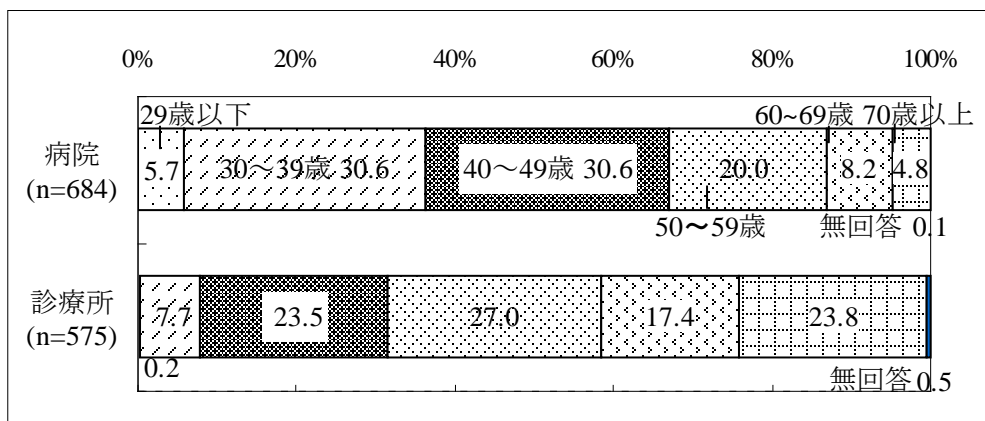


図 55 性別 - 医師

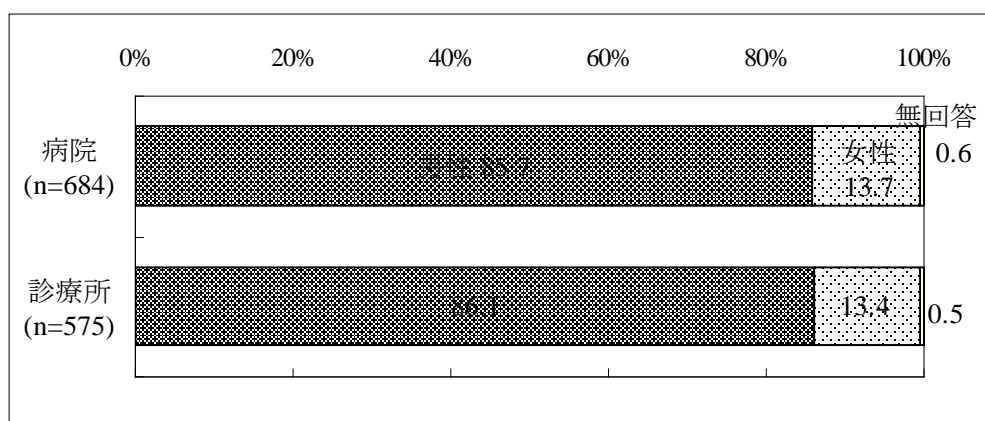
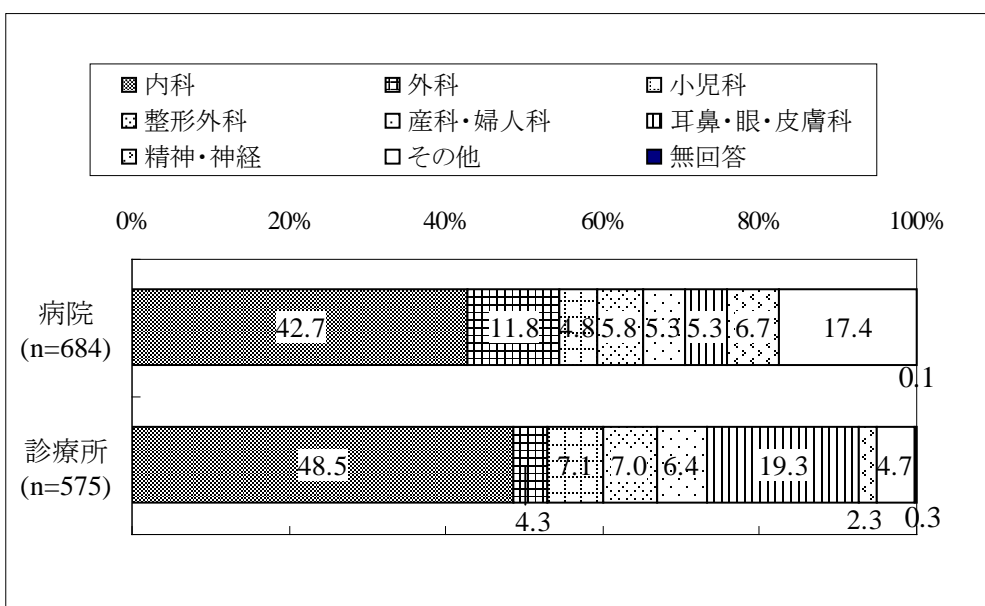
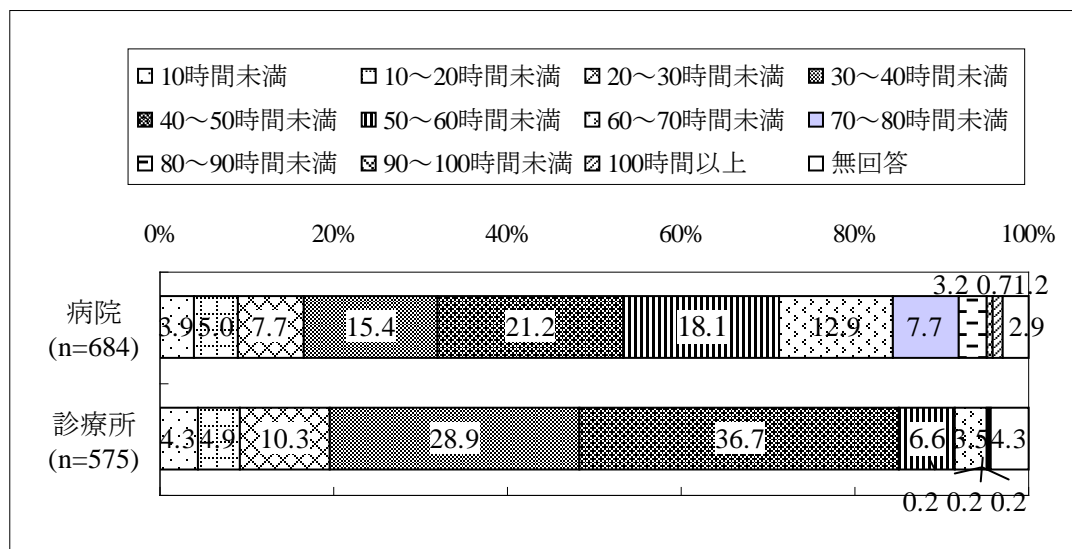


図 56 診療科 - 医師



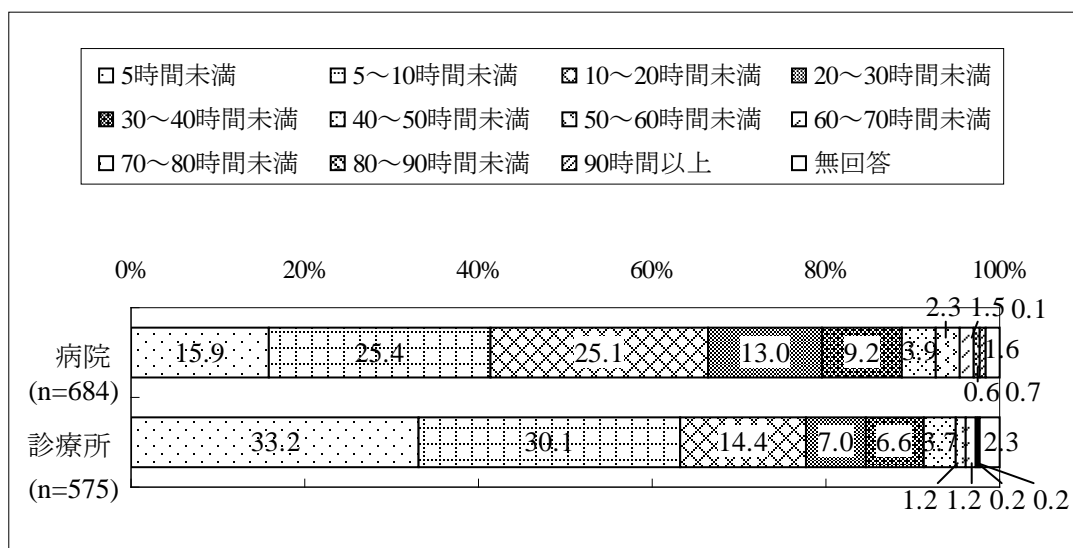
1週間の平均診療時間は、病院では60時間以上が25.7%と約4分の1を占めた。診療所では40～50時間が36.7%であった。

図 57 1週間の診療時間(週平均) - 医師



1週間の事務作業時間は、病院では30時間以上が32%を占め、診療所では20.1%を占めた。

図 58 1週間の事務作業時間(週平均) - 医師



IV.その他の結果

1. 国民と患者

自身の健康度について

国民のうち、健康について不安に感じている人の割合が 57.1%と過半数を占めた。一方、不安に感じない人の割合は 42.4%であった。第 1 回調査に比べて、不安に感じる人の割合が微減している。

図 59 健康への不安

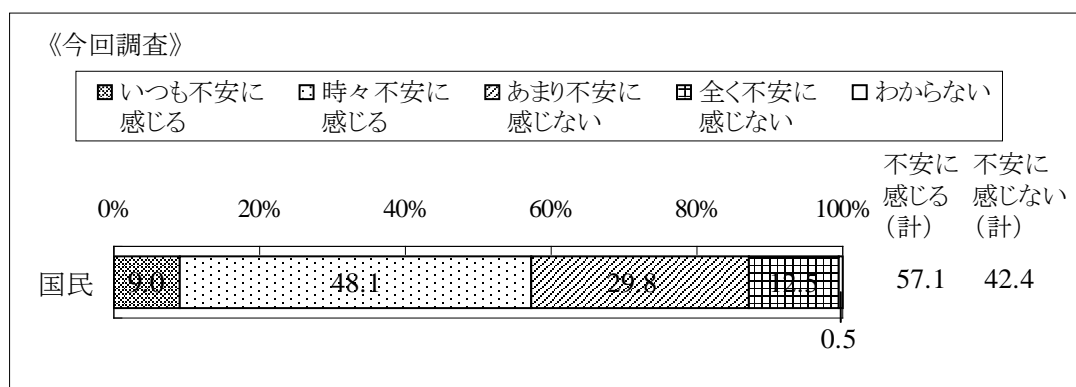
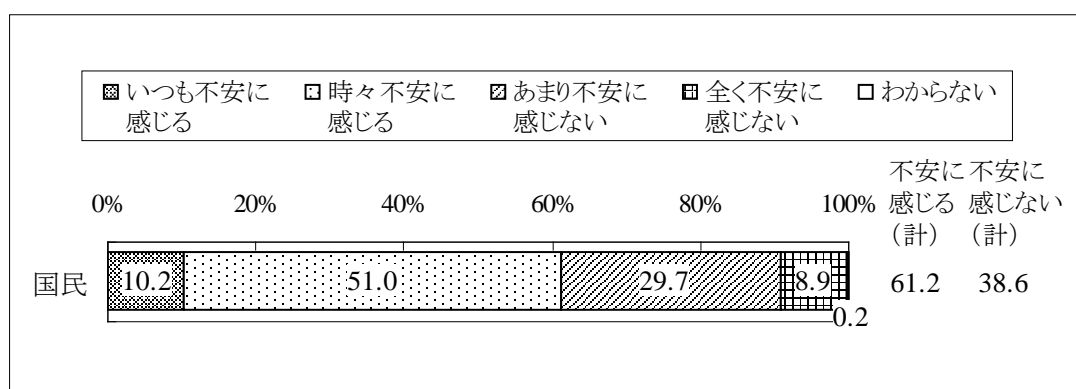


図 60 健康への不安(第 1 回調査結果)



患者と医師の対話

患者と医師は十分な対話ができていると思うか尋ねたところ、できていると思う人の割合は患者では90.3%、医師では92.9%と9割を超えた。国民は75.3%で患者、医師に比べるとやや低いものの4人に3人はできていると回答した。前回調査と比べ、患者でできていると回答した人の割合が増加している。

図 61 医師との十分な対話－国民、患者、医師

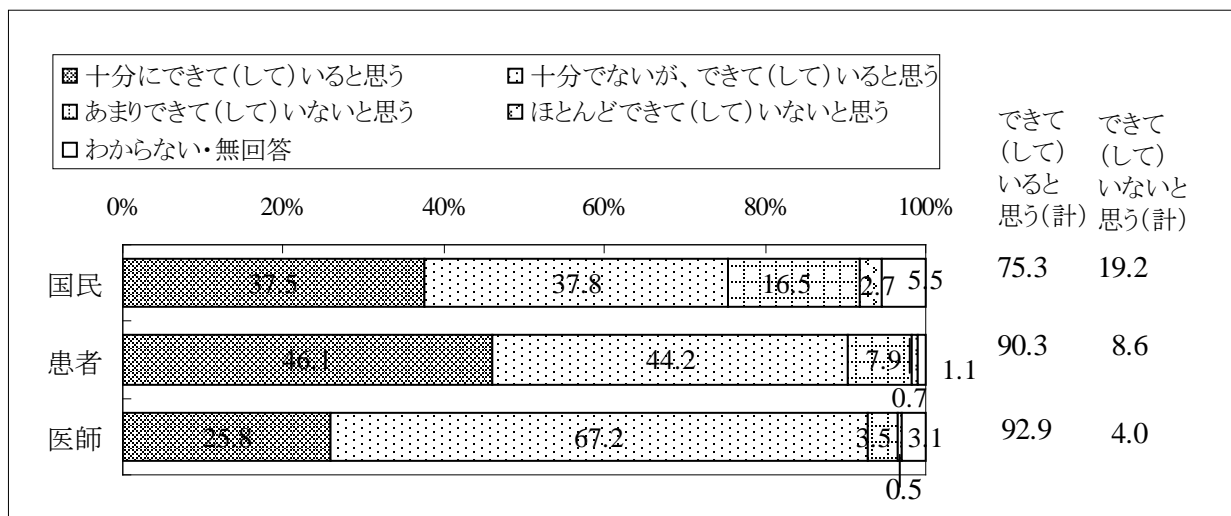
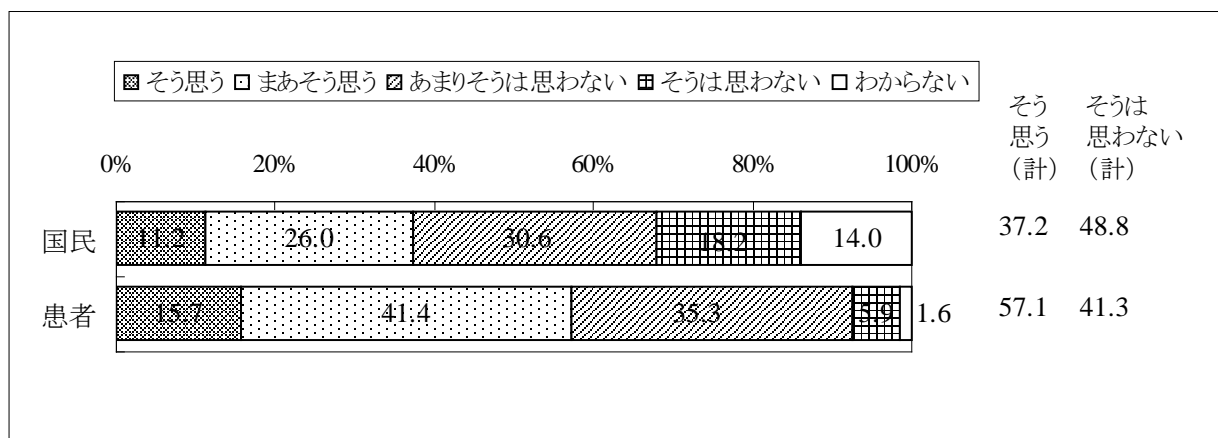


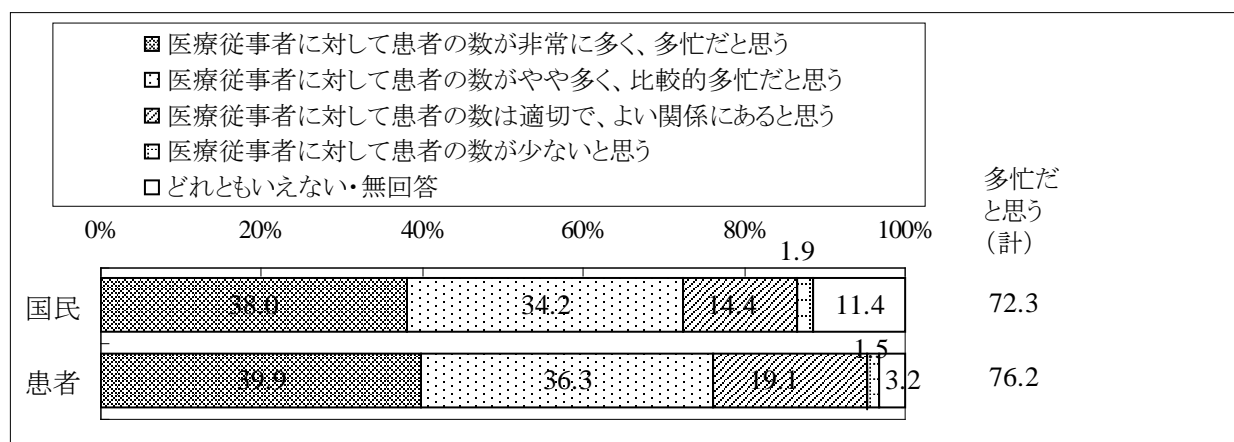
図 62 心のケア - 国民、患者



医療従事者の状況

医療機関で受療するとき、患者は医療従事者の状況をどのように捉えているであろうか。国民、患者に医療従事者の業務状況について感じたことを尋ねたところ、国民の72.3%、患者の76.2%が多忙だと思うと回答した。適切でよい関係と回答した人の割合は国民が14.4%、患者が19.1%と1割台であった。

図 63 医療従事者の業務状況－国民、患者

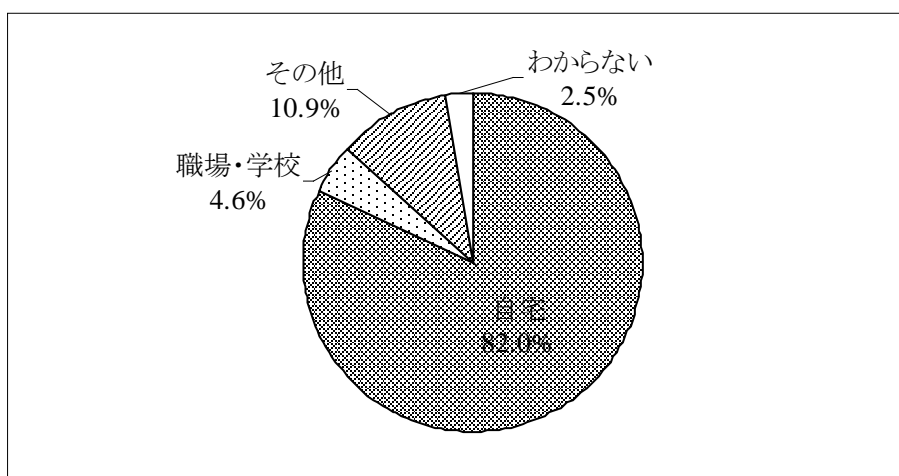


2. 地域医療の現状 ーかかりつけ医

かかりつけ医に近い場所

自宅の近くにかかりつけ医があると回答した人が 82.0%を占めた。職場・学校の近くにあると回答した人の割合は 4.6%であった。

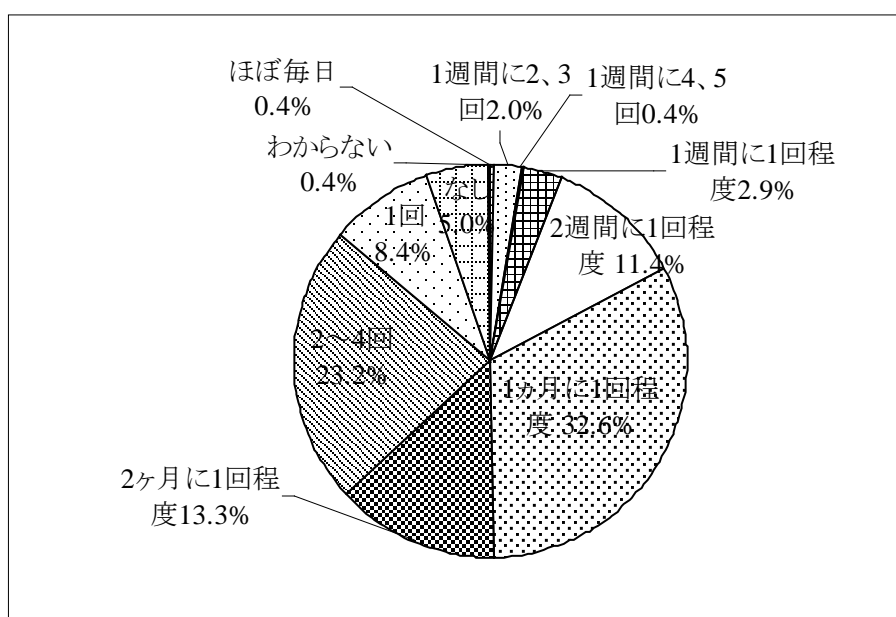
図 64 かかりつけ医に近い場所ー国民



かかりつけ医への受療の頻度

1ヶ月に1回程度と回答した人が 32.6%と約3人に1人の割合となった。次いで1年に2~4回と回答した人の割合が 23.2%となった。

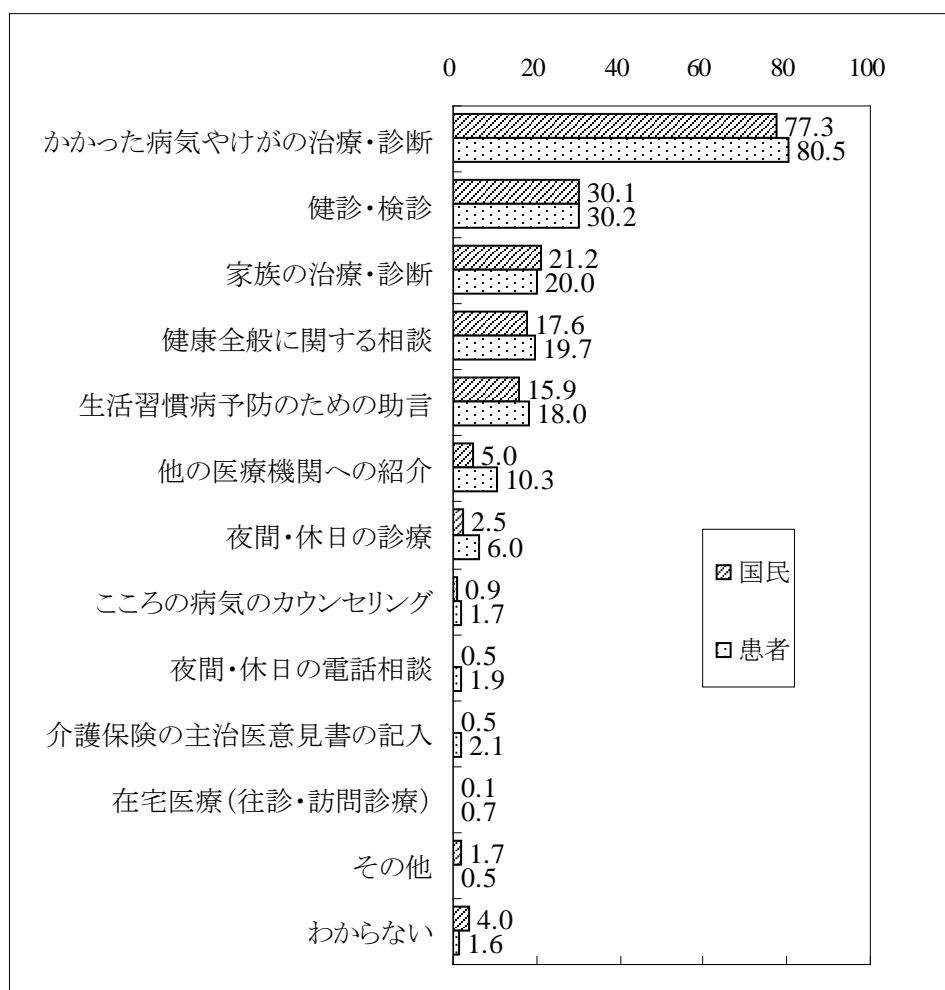
図 65 1年間で、かかりつけ医にかかった頻度ー国民



かかりつけ医から受けた医療サービス

かかりつけ医から受けた医療サービスは、「かかった病気やけがの治療・診断」が国民で 77.3%、患者で 80.5%と突出している。以下、「健診・検診（国民 30.1%、患者 30.2%）」、「家族の治療・診断（国民 21.2%、患者 20.0%）」、「健康全般に関する相談（国民 17.6%、患者 19.7%）」、「生活習慣病予防のための助言（国民 15.9%、患者 18.0%）」などが主なものとしてあげられた。

図 66 かかりつけ医から受けた医療サービス - 国民、患者

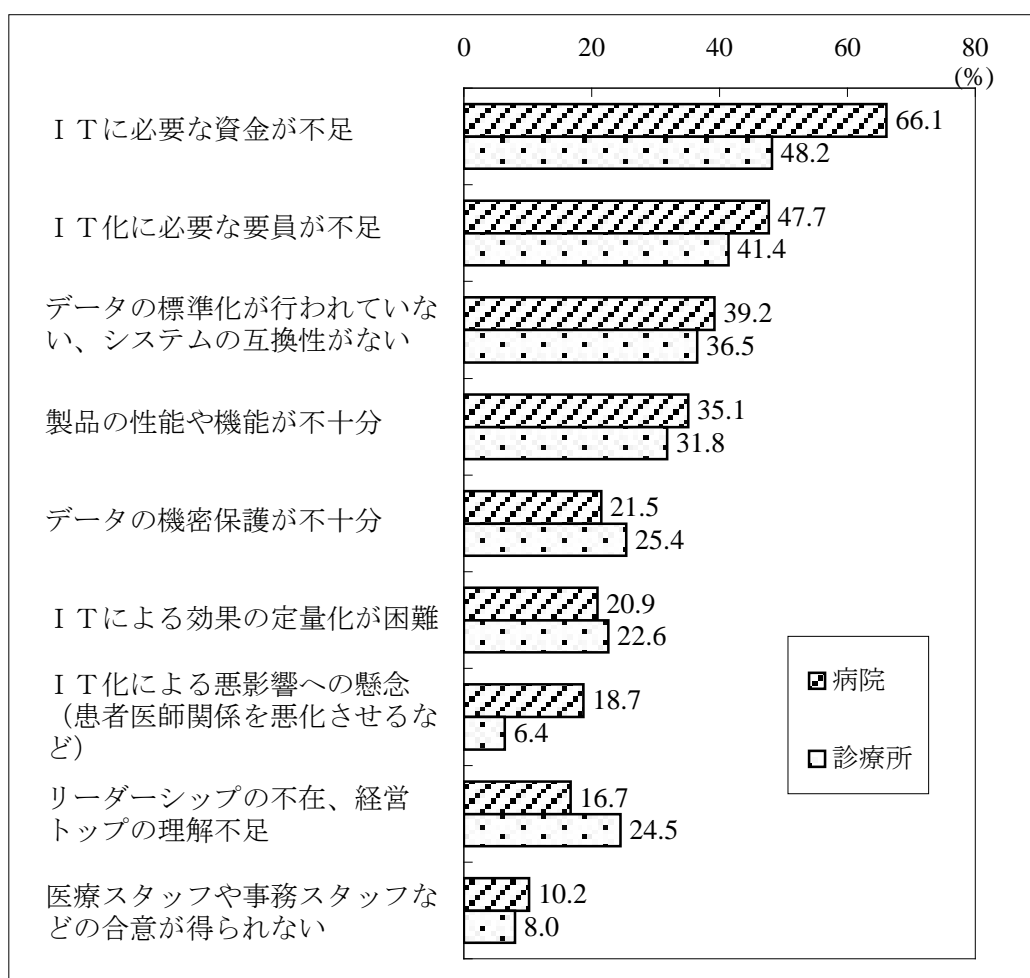


3. 医療提供者

医療 IT の促進を妨げる要因

医療 IT 促進の妨げになっていることを尋ねたところ、医療 IT の促進にあたっての課題は資金不足、人員不足、データの標準化であった。資金や人員、データ標準化への要望が高い。病院、診療所ともに資金不足をあげた人の割合が最も高いが、診療所（48.2%）よりも病院（66.1%）で 18 ポイント高くなっている。以下、②要員不足、③データの標準化、システムの互換性の欠如、④製品性能不足が上位にあげられた。また、病院と診療所で差がみられるのは、「IT 化による悪影響への懸念（医師患者関係の悪化）」（病院 18.7%、診療所 6.4%）であった。

図 67 医療 IT 促進の妨げ理由－病院、診療所



自身の医療施設における課題

医療施設における課題として、資金や体制などの7項目について尋ねた。病院、診療所ともに「診療報酬の減額が問題」とする人の割合が最も高く、病院で86.0%、診療所で81.4%と8割を超えた。次いで、病院では「医師の確保」が80.3%、「看護師の確保」が77.5%と8割前後となった。一方、診療所では「外来患者の減少」が62.8%、「看護師の確保」が44.3%であった。

図 68 自分の医療施設における課題－病院

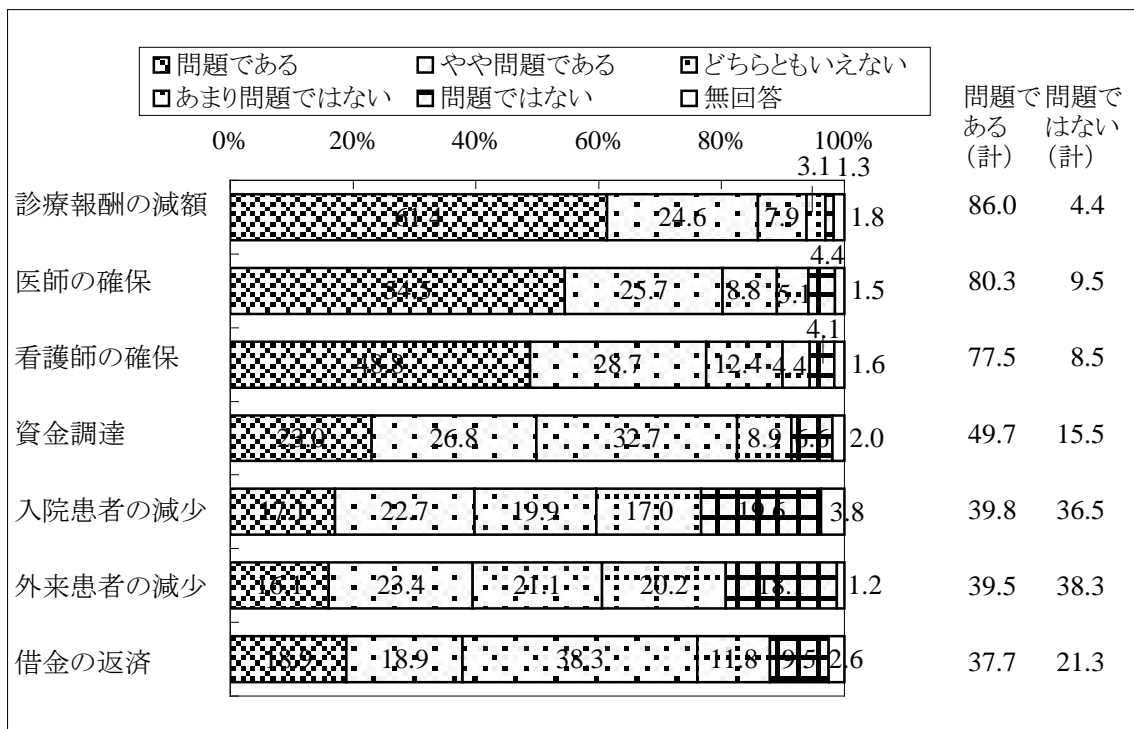
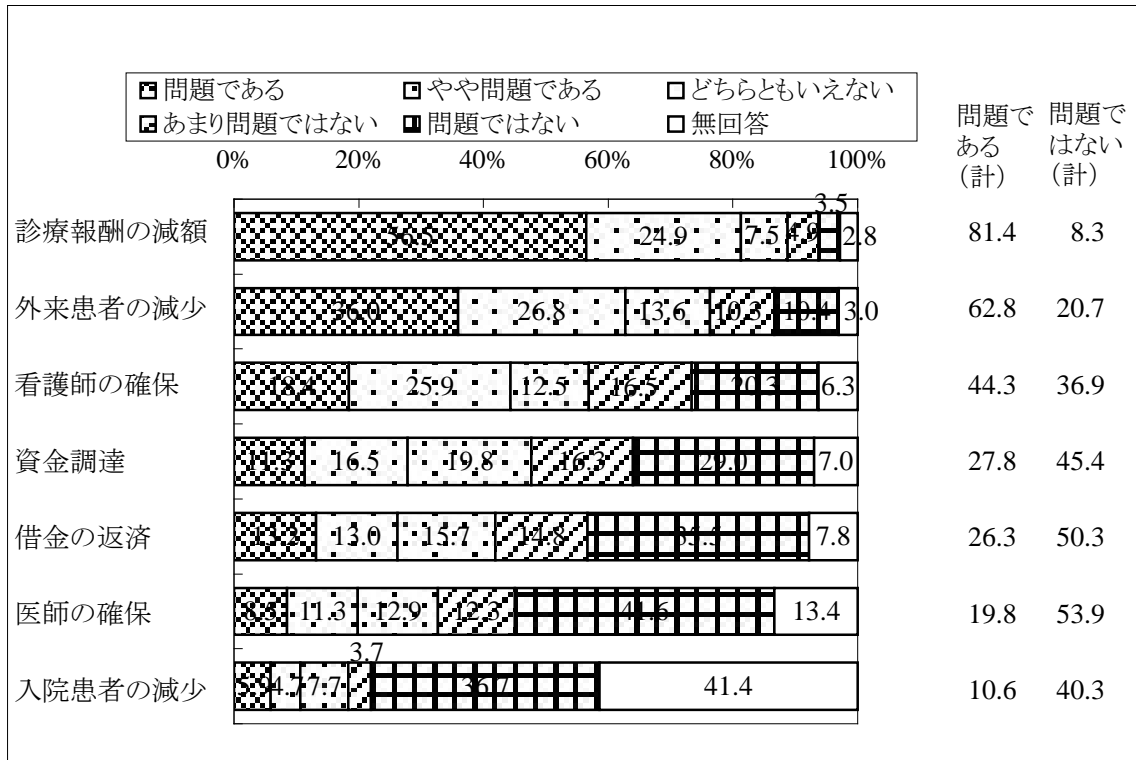


図 69 自分の医療施設における課題－診療所



V. 質問票

平成18年3月実施

第2回 医療に関する意識調査（国民）

「かかりつけ医」などについておうかがいします。

Q 1. あなたには、かかりつけ医がいますか。歯科医は除いてください。

55.3
いる
↓

44.7
いない
└─ (3ページSQ11へ)

S Q 1. 【回答票1】あなたのかかりつけ医についてお聞きします。かかりつけ医が2人以上いる場合は最もよく診てもらった「かかりつけ医」についてお答えください。かかりつけ医のいる医療機関はこの中のどれですか。

(n=754)

63.8 (ア) 医院・診療所・クリニック（入院施設がないか20床未満の病床をもつ医療機関）	5.0 (エ) 上記以外の大病院
18.7 (イ) 中小規模の病院	0.1 その他（ ）
12.3 (ウ) 大学病院や国公立病院	0.1 わからない

S Q 2. 【回答票2】かかりつけ医はこの中のどの科の医師ですか。

(n=754)

82.5 (ア) 内科	4.6 (オ) 整形外科	0.4 (ケ) 精神科
2.5 (イ) 外科	1.7 (カ) 耳鼻咽喉科	0.7 (コ) 神経科
1.3 (ウ) 小児科	0.8 (キ) 眼科	2.0 (サ) その他（ ）
1.6 (エ) 産科・婦人科	1.5 (ク) 皮膚科	0.4 わからない

S Q 3. 【回答票3】この1年の間で、かかりつけ医に行ったり、相談したりした回数・頻度はどのくらいありましたか。直接、医療機関に行かず、電話で相談した回数も含めます。

(n=754)

8.4 (ア) 1回	2.0 (キ) 1週間に2、3回
23.2 (イ) 2～4回	0.4 (ク) 1週間に4、5回
13.3 (ウ) 2ヵ月に1回程度	0.4 (ケ) ほぼ毎日
32.6 (エ) 1ヵ月に1回程度	5.0 (コ) なし
11.4 (オ) 2週間に1回程度	0.4 わからない
2.9 (カ) 1週間に1回程度	

S Q 4. そのかかりつけ医は自宅の近くですか、それとも職場、学校の近くですか。

(n=754)

82.0 自宅	4.6 職場・学校	10.9 その他（ ）	2.5 わからない
---------	-----------	-------------	-----------

S Q 5. 【回答票 4】 かかりつけ医までの通院方法はこの中のどれですか。

(n=754)

26.1 (ア) 徒歩のみ	2.4 (エ) タクシー	- わからない
16.2 (イ) 自転車	6.8 (オ) バス・電車など	
46.2 (ウ) 自家用車	2.4 その他 ()	

S Q 6. かかりつけ医まで行くまで、およそどれくらいかかりますか。

(n=754)

39.9 10分未満	8.8 20～29分	3.7 60分以上
37.3 10～19分	10.2 30～59分	0.1 わからない

S Q 7. 【回答票 5】 あなたはあなたのかかりつけ医から受ける医療に満足していますか。

(n=754)

44.0 (ア) 満足している	45.0 (イ) まあ満足している	8.5 (ウ) どちらともいえない	1.7 (エ) やや不満	0.7 (オ) 不満	0.1 わからない
-----------------	-------------------	-------------------	--------------	------------	-----------

S Q 8. 【回答票 6】 この1年の間にかかりつけ医からどのような医療サービスを受けましたか。この中からいくつでもあげてください。(M.A.)

(n=754)

77.3 (ア) かかった病気やけがの治療・診断	0.5 (ク) 夜間・休日の電話相談
21.2 (イ) 家族の治療・診断	0.1 (ケ) 在宅医療(往診・訪問診療)
17.6 (ウ) 健康全般に関する相談	0.5 (コ) 介護保険の主治医意見書の記入
30.1 (エ) 健診・検診	0.9 (サ) こころの病気のカウンセリング
15.9 (オ) 生活習慣病予防のための助言	1.7 (シ) その他 ()
5.0 (カ) 他の医療機関への紹介	4.0 わからない
2.5 (キ) 夜間・休日の診療	

S Q 9. 【回答票 7】 あなたがその医師を「かかりつけ医」に選んだ理由をこの中からいくつでもあげてください。(M.A.)

(n=754)

22.8 (ア) どんな病気でも診てくれる	26.8 (ケ) あなたの病歴や健康状態などをよく知っている
65.3 (イ) 通院が便利	14.3 (コ) あなたの家族の病歴や健康状態もよく知っている
30.6 (ウ) よく説明してくれる	9.2 (サ) 診療機器がそろっている
17.8 (エ) 医師の技術が優れている	6.2 (シ) 同じ施設にいろいろな診療科がある
12.6 (オ) 必要時に専門医に紹介してくれる	9.2 その他 ()
26.4 (カ) 医師の人柄(親切、共感してくれるなど)	0.5 わからない
11.4 (キ) 待ち時間が短い	
6.9 (ク) 夜間休日や緊急のときなどいつでも診てくれる	

S Q10. 【回答票8】あなたはかかりつけ医にどのような医療や体制を望んでいますか。次の(1)~(11)について、それぞれお気持ちに近いものを(ア)から(オ)の中から選んでください。

(n=754)	(ア) そう思う	(イ) やや そう思う	(ウ) どちらとも いえない	(エ) あまり そう思わない	(オ) そう 思わない	わから ない
(1) どんな病気でもまずは診療できる	58.1	25.1	8.4	5.0	2.4	1.1
(2) 必要なときはすぐに専門医や 専門施設に紹介する	68.0	21.1	5.8	1.6	0.7	2.8
(3) 患者情報を紹介先に 適時適切に提供する	52.3	23.2	13.3	2.7	1.5	7.2
(4) 夜間休日の診療や電話相談	40.1	20.4	15.4	8.2	7.6	8.4
(5) 定期健診や検診	52.8	21.6	13.9	4.8	3.7	3.2
(6) 生活習慣病など 予防のための助言	51.1	26.9	12.3	4.4	2.0	3.3
(7) うつ病などを含むこころの 病気のカウンセリング	22.9	15.4	27.9	11.1	9.5	13.1
(8) 不在時には別の医師が 診療してくれる 24 時間体制	32.8	17.8	15.8	11.4	15.3	7.0
(9) 往診や訪問診療	26.1	17.5	19.8	11.3	17.4	8.0
(10) 他施設に入院 (入所) した 際の診療	19.1	13.4	24.9	11.8	17.5	13.3
(11) 健康相談を行う	49.1	26.9	13.7	3.1	3.1	4.2

(ここまで聞けば次はB2へ)

【S Q11~S Q13は、Q1でかかりつけ医が「いない」と答えた方に】

S Q11. 【回答票9】あなたは、かかりつけ医を欲しいと思いますか。

(n=610)

8.0	25.1	62.1	1.6	3.1
(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
すぐにでも、 欲しいと思う	欲しいと思うが、 みつからない	欲しいとは思わない (必要ない)	その他 ()	わからない
↓			→ (S Q13へ)	

S Q12. 【回答票10】あなたが欲しいと思いつつながら、かかりつけ医がいないのはどうしてですか。この中からいくつでもあげてください。(M.A.)

(n=202)

6.4 (ア) 口コミがない	3.0 (オ) 紹介してくれる人がいない
26.7 (イ) どこで探せばよいかわからない	19.8 その他 ()
43.6 (ウ) 医師や医療機関の情報が十分でない	0.5 わからない
42.6 (エ) 優れた医師とわかる判断材料がない	

S Q 13. [回答票 11] 将来、かかりつけ医がみつかったり、健康や予防に対する関心が高まったとき、あなたはご自身の「かかりつけ医」にどのような医療を望みますか。(M.A.)

(n=610)

37.2 (ア) どんな病気でも診てくれる	30.7 (ケ) あなたの病歴や健康状態などをよく知っている
50.7 (イ) 通院が便利	18.9 (コ) あなたの家族の病歴や健康状態もよく知っている
58.0 (ウ) よく説明してくれる	27.5 (サ) 診療機器がそろっている
48.9 (エ) 医師の技術が優れている	18.2 (シ) 同じ施設いろいろな診療科がある
34.8 (オ) 必要時に専門医に紹介してくれる	0.3 その他 ()
39.5 (カ) 医師の人柄 (親切、共感してくれるなど)	2.3 わからない
34.6 (キ) 待ち時間が短い	
46.1 (ク) 夜間休日や緊急のときなどいつでも診てくれる	

【全員に】

Q 2. [回答票 12] あなたが一番最近、医療機関で受診されたのは、いつごろですか。けが、出産、健診を含みますが、歯科は除いてお答えください。

24.5 (ア) 2週間以内	8.9 (エ) 半年以内	9.5 (キ) 3年以上前	} (Q 4へ)
19.6 (イ) 1ヵ月以内	11.5 (オ) 1年以内	5.4 (ク) 一度も受診したことがない	
12.3 (ウ) 3ヵ月以内	7.2 (カ) 2～3年前	1.2 わからない	

S Q 1. [回答票 13] それは入院でしたか。外来でしたか。

(n=1,274)

1.8 (ア) 入院(15日以上)	3.2 (イ) 入院(15日未満)	18.9 (ウ) 通院(3ヵ月以上)	75.4 (エ) 通院(3ヵ月未満)	0.6
-------------------	-------------------	--------------------	--------------------	-----

S Q 2. [回答票 14] どのような医療機関でしたか。

(n=1,274)

62.7 (ア) 医院・診療所	9.1 (エ) 上記以外の総合病院や大病院
17.3 (イ) 中小病院	0.6 わからない
10.3 (ウ) 大学病院・国公立病院	

S Q 3. [回答票 15] あなたが医療機関に入院したり、外来受診を受けたとき、医師の紹介状を持参したことがありますか。

(n=1,274)

18.5 (ア) かかりつけ医からの紹介状を持参した	72.9 (ウ) 持参したことはない
7.2 (イ) かかりつけ医以外の医師からの紹介状を持参した	1.3 わからない

【Q2で「1～7（医療機関で受診したことがある）」と答えた方に】

Q3. 【回答票16】あなたは、医院・診療所や病院について、ここにあげる(1)から(10)のそれぞれの事柄にどの程度満足していますか。(ア)から(エ)の中からお答えください。一番最近受診された医療機関についてお答えください。なお、歯科は除いてください。

(n=1,274)	(ア) 満足 している	(イ) やや満足 している	(ウ) あまり 満足して いない	(エ) 満足して いない	わから ない
(1) 医師の知識や技術について	36.6	48.4	7.4	2.3	5.3
(2) 医師や看護師の態度や言葉使いについて	41.0	47.9	7.3	1.8	2.0
(3) 患者からの質問などへの対応について	38.0	45.6	11.3	1.9	3.2
(4) 医師の説明のわかりやすさについて	40.5	41.6	13.0	1.9	3.1
(5) 渡された薬（量・効き目）について	31.2	45.8	11.5	2.1	9.4
(6) 待ち時間について	19.1	32.8	29.3	16.9	2.0
(7) 設備・機器の充実度について	26.8	49.0	11.8	2.0	10.4
(8) 診察日・診療時間について	28.0	46.2	16.0	6.5	3.3
(9) 治療費について	19.1	42.5	22.5	10.2	5.7
(10) それでは、総合的にみた場合	24.3	59.3	12.5	1.6	2.3

【全員に】

Q4. 【回答票17】あなたは日本の医療全般について満足しておられますか。

7.8 (ア) 満足している	43.3 (イ) まあ満足している	30.4 (ウ) やや不満である	8.8 (エ) 不満である	9.7 わから ない
----------------------	-------------------------	------------------------	---------------------	------------------

Q5. 【回答票18】あなたは、自分の健康に不安を感じることがありますか。この中から1つ選んでください。

9.0 (ア) いつも不安に 感じる	48.1 (イ) 時々不安に 感じる	29.8 (ウ) あまり不安に 感じない	12.5 (エ) 全く不安に 感じない	0.5 わから ない
-----------------------------	-----------------------------	-------------------------------	------------------------------	------------------

Q6. 【回答票19】現在、治療を受けておられる疾患などがあれば、この中からあげてください。(M A.)

26.2	(ア) 生活習慣病（糖尿病、心臓病、脳卒中、高血圧、高脂血症、がんなど）
6.8	(イ) その他の慢性疾患（慢性気管支炎、関節炎、痛風など）
7.0	(ウ) 急性期疾患（皮膚炎、胃腸炎、風邪、白内障など）
7.7	(エ) アレルギー性疾患（花粉症、鼻炎など）
6.7	その他（ ）
52.8	わからない

病院・診療所で診療を受けられたときのことについておうかがいします。

Q7. 【回答票20】あなたと医師は十分な対話ができていると思いますか。

37.5 (ア) 十分にできて いると思う	37.8 (イ) 十分でないが、 できていると思う	16.5 (ウ) あまりできて いないと思う	2.7 (エ) ほとんどできて いないと思う	5.5 わから ない
--------------------------------	------------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	------------------

Q 8. [回答票 21] あなたは、患者一人ひとりの性格や立場、本人の希望といった個別状況に応じた医療が行われていると思いますか。

16.1 (ア) そう思う	38.7 (イ) まあそう思う	26.8 (ウ) あまりそうは 思わない	7.4 (エ) そうは思わない	11.1 わからない
----------------------------	------------------------------	--------------------------------------	------------------------------	----------------------

Q 9. [回答票 21] あなたは、医師は患者の症状を治すだけでなく、心のケアまで行っていると思いますか。

11.2 (ア) そう思う	26.0 (イ) まあそう思う	30.6 (ウ) あまりそうは 思わない	18.2 (エ) そうは思わない	14.0 わからない
----------------------------	------------------------------	--------------------------------------	-------------------------------	----------------------

Q10. [回答票 22] あなたは診療を受けたり、医師や看護師の診療現場を見たりして、これら医療従事者の業務の状況についてどのように感じられましたか。

- 38.0** (ア) 医療従事者に対して患者の数が非常に多く、多忙だと思う
- 34.2** (イ) 医療従事者に対して患者の数がやや多く、比較的多忙だと思う
- 14.4** (ウ) 医療従事者に対して患者の数は適切で、よい関係にあると思う
- 1.9** (エ) 医療従事者に対して患者の数が少ないと思う
- 11.4** (オ) どれともいえない

Q11. [回答票 23] 医療事故が、最近いろいろと取りざたされていますが、あなたは日本の医療機関の安全性をどう思いますか。

3.2 (ア) 安全だと思 う	46.9 (イ) まあ安全だと思 う	33.7 (ウ) あまり安全とは 思わない	9.4 (エ) 安全とは 思わない	6.8 わからない
---------------------------------	------------------------------------	---------------------------------------	-----------------------------------	---------------------

Q12. [回答票 24] あなたは、今後の医療提供体制において重点を置くべき点はどのようなことだと思いますか。次の中から**3つまで**お選びください。(M.A.)

- | | |
|---|---|
| 57.4 (ア) 夜間や休日の診療や救急医療体制の整備 | 19.3 (カ) 訪問診療やホームヘルパー派遣など
在宅医療の整備 |
| 51.0 (イ) 高齢者などが長期入院するための入院施設
や介護老人保健施設の整備 | 4.2 (キ) 遺伝子治療などの先進医療の促進 |
| 40.2 (ウ) 医療従事者の資質の向上(診療能力や
対話能力など) | 15.8 (ク) 医療従事者の確保 |
| 29.3 (エ) 心のケアや心の健康を保つための医療の整備 | 14.4 (ケ) 施設的环境整備や管理体制の強化 |
| 24.1 (オ) 地域の診療所と病院の連携 | 2.0 (コ) その他(具体的に) |
| | 3.4 わからない |

Q13. [回答票 25] あなたは、医療保険のあり方について、次の(A)、(B)の2つの意見のうち、どちらに賛成しますか。

- | | |
|---|--|
| (A) 現在のように所得の高い低いに関係なく、国民みんなが同じレベルの医療を受けられる仕組みがよい | (B) お金を払える所得の高い人は追加料金を払えば、保険で給付される以上の医療やサービスを受けられる仕組みがよい |
|---|--|

54.3	17.9	8.6	12.3	4.3	2.6
(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)	
(A)の意見に賛成である	どちらかといえば(A)の意見に賛成である	(A)と(B)の中間である	どちらかといえば(B)の意見に賛成である	(B)の意見に賛成である	わからない

Q14. [回答票 26] 末期がんなどにかかって回復の見込みがない患者に対する終末期医療についてお伺いします。

(1) あなたご自身が終末期医療を受けるとすればどのような場所が理想だと思いますか。最も理想だと思う場所を**1つだけ**選んでください。

33.8 (ア) 自宅	30.5 (エ) ホスピスなどの緩和ケア施設
14.8 (イ) 近所の医療機関	0.4 (オ) その他 ()
11.5 (ウ) 高度医療を持つ医療機関	9.0 わからない

(2) では、あなたのご家族が終末期医療を受ける場合はいかがですか。**1つだけ**選んでください。

30.8 (ア) 自宅	26.8 (エ) ホスピスなどの緩和ケア施設
15.9 (イ) 近所の医療機関	0.7 (オ) その他 ()
15.9 (ウ) 高度医療を持つ医療機関	9.9 わからない

Q15. [回答票 27] 医療とは離れて、あなたは現在の生活に満足していますか。

26.0	58.4	11.7	3.0	1.0
(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	
満足している	まあ満足している	やや不満である	不満である	わからない

F 1. (性)

47.5	52.5
男 性	女 性

F 2. (年 齢)

13.7 29歳以下	14.4 40～49歳	19.5 60～69歳
17.4 30～39歳	18.2 50～59歳	16.9 70歳以上

F 3. [回答票 28] あなたの職業をおきかせください。お仕事をこのように分類した場合、どれに該当しますか。

- 3.3 (ア) 農林漁業 (家族従業を含む)
 - 11.6 (イ) 商工・サービス業 (家族従業を含む)
 - 13.6 (ウ) 事務職 (デスクワーク、営業部員など)
 - 14.4 (エ) 技能・労務職 (工員、作業員、運転手など)
 - 5.8 (オ) 販売・サービス職 (店員、セールス、接客員など)
 - 3.0 (カ) 専門技術職 (勤務医師・弁護士・教師、技師、研究員など)
 - 1.8 (キ) 経営・管理職
 - 0.7 (ク) 自由業 (自営の医師・弁護士・宗教家・芸術家、塾経営者)
 - 23.8 (ケ) 無職の主婦
 - 2.9 (コ) 学生
 - 19.2 (サ) その他無職
- } 勤め人

F 4. (教育) 学校はどこまで行きましたか。

17.7	50.2	31.7	0.4
(新) 中 学	(新) 高 校	(新) 短大・大学	(新) 大学院
(旧) 小・高小	(旧) 中 学	(旧) 高 専 大	

第 2 回 日本の医療に関する意識調査（患者調査）

平成 18 年 3 月

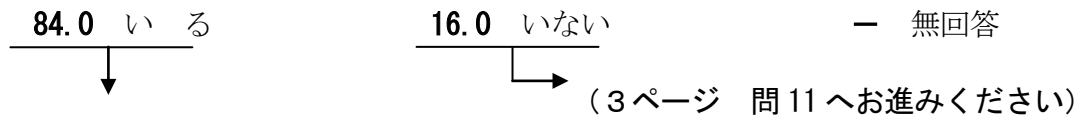
（調査企画）日本医師会総合研究機構

（調査実施）社団法人 中央調査社

- (1) 回答は、問 1 から順に、あてはまる番号に○印をつけてください。
「その他」にあてはまる場合は、() 内にその内容を具体的に記入してください。
- (2) 番号に○をつけていただくときに、(○は3つまで) とか (○はいくつでも) など○の数を指定させていただいておりますので、その範囲でお答えください。
- (3) 一部の方だけにお答えいただく質問もありますが、矢印 (→) の指示に従って、お進みください。特に指示のない質問については、全員がお答えください。

■ まず、はじめに、「かかりつけ医」について、おうかがいします。

問 1. あなたには、「かかりつけ医」がいますか。歯科医は除いてください。



- ※ あなたの「かかりつけ医」についてお聞きします。
※ 「かかりつけ医」が 2 人以上いる場合は最もよく診てもらう「かかりつけ医」についてお答えください。

問 2. 「かかりつけ医」のいる医療機関は次の中のどれですか。

(n=822)

- 58.2 医院・診療所・クリニック（入院施設がないか、または 20 床未満の病床をもつ医療機関）
37.5 中小規模の病院
9.2 大学病院や国公立病院
1.2 上記以外の大病院
1.0 その他（具体的に)
0.5 無回答

問 3. 「かかりつけ医」は次のどの科の医師ですか。

(n=822)

- | | | |
|------------|-----------|----------------|
| 75.1 内科 | 14.4 整形外科 | 0.5 精神科 |
| 9.1 外科 | 7.2 耳鼻咽喉科 | 2.7 神経科 |
| 5.7 小児科 | 7.2 眼科 | 3.9 その他（具体的に) |
| 1.9 産科・婦人科 | 6.2 皮膚科 | — 無回答 |

問4. この1年間で、「かかりつけ医」に行ったり、相談したりした回数・頻度はどのぐらいありましたか。(直接、医院に行かず、電話で相談した回数も含めます。)

(n=822)	2.9	1回	6.6	1週間に1回程度		
	16.3	2～4回	7.9	1週間に2、3回		
	9.9	2ヶ月に1回程度	1.5	1週間に4、5回		
	31.6	1ヵ月に1回程度	1.2	ほぼ毎日		
	18.0	2週間に1回程度	2.7	なかった	1.5	無回答

問5. その「かかりつけ医」は自宅の近くですか、それとも職場・学校の近くですか。

(n=822)	76.8	6.1	14.5	2.7
	自宅	職場・学校	その他(具体的に)	無回答

問6. 「かかりつけ医」までの通院方法はこの中のどれですか。

(n=822)	19.5	徒歩のみ	47.8	自家用車	12.0	バス・電車など
	18.0	自転車	2.7	タクシー	1.8	その他(具体的に)
					0.6	無回答

問7. 「かかりつけ医」まで行くまで、およそどれくらいかかりますか。

(n=822)	24.2	10分未満	13.0	20～29分	4.9	60分以上	
	44.4	10～19分	12.7	30～59分	0.9	無回答	平均 17.1(分)

問8. あなたの「かかりつけ医」から受ける医療に満足していますか。

(n=822)	92.0	51.3	(5点)満足している	40.6	(4点)まあ満足している	6.4	(3点)どちらともいえない	
	0.7	0.6	(2点)やや不満である	0.1	(1点)不満である	0.9	無回答	平均(スコア) 4.44

問9. この1年間に「かかりつけ医」からどのような医療サービスを受けましたか。次の中からいくつでもあげてください。(○はいくつでも)

80.5	かかった病気やけがの治療・診断	6.0	夜間・休日の診療	
20.0	家族の治療・診断	1.9	夜間・休日の電話相談	
19.7	健康全般に関する相談	0.7	在宅医療(往診や訪問診療)	
30.2	健診・検診	2.1	介護保険の主治医意見書の記入	
18.0	生活習慣病予防のための助言	1.7	こころの病気などのカウンセリング	
10.3	他の医療機関への紹介	0.5	その他(具体的に)	
		1.6	無回答	平均回答数 1.9

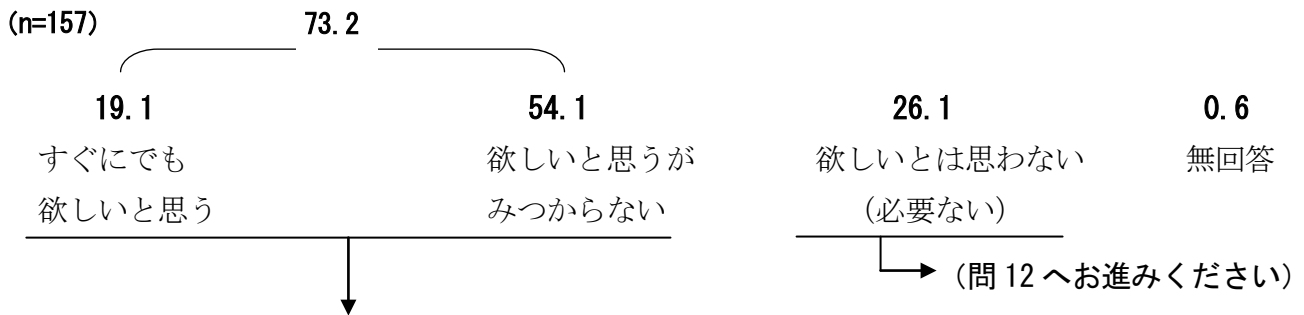
問 10. あなたがその医師を「かかりつけ医」に選んだ理由を次の中からいくつでもあげてください。
(n=822) (○はいくつでも)

- | | | | |
|------|-----------------------|------|------------------------|
| 23.8 | どんな病気でも診てくれる | 36.7 | あなたの病歴や健康状態などをよく知っている |
| 58.2 | 通院が便利 | 15.0 | あなたの家族の病歴や健康状態もよく知っている |
| 39.3 | よく説明してくれる | 10.6 | 診療機器がそろっている |
| 20.6 | 医師の技術が優れている | 7.8 | 同じ施設いろいろな診療科がある |
| 17.6 | 必要時に専門医に紹介してくれる | 5.8 | その他(具体的に) |
| 37.0 | 医師の人柄(親切、共感してくれるなど) | 0.5 | 無回答 |
| 12.4 | 待ち時間が短い | | |
| 10.3 | 夜間休日や緊急のときなどいつでも診てくれる | | |
- 平均回答数 3.0

(次は次ページの間 12 へお進みください。)

【問 1 で「かかりつけ医はいない」と答えた方に伺います】

問 11. あなたは、健康問題について、いつでも気軽に相談できる身近な医師、「かかりつけ医」を欲しいと思いますか。



付問. あなたが欲しいと思いつながら、「かかりつけ医」がないのはどうしてですか。次の中からいくつでもあげてください。(n=115) (○はいくつでも)

- 13.9 ロコミがない
- 52.2 どこで探せばよいかわからない
- 45.2 医師や医療機関の情報が十分でない
- 48.7 優れた医師とわかる判断材料がない
- 20.0 紹介してくれる人がいない
- 14.8 その他(具体的に)
- 無回答

■ (全員の方に)本日受けられた医療についておうかがいします。

問 12. あなたは、本日受けられた医療について、ここにあげる(1)から(10)のそれぞれの事柄にどの程度満足していますか。(1)から(10)すべてについてお答えください。

平均 (スコア)	(4点) 満足して いる	(3点) やや満足し ている	(2点) あまり 満足して いない	(1点) 満足して いない	無回答
3.50	90.6	4.4	5.0		
(1) 医師の知識や技術について	52.3	38.3	4.1	0.3	5.0
3.55	91.1	4.5	4.4		
(2) 医師や看護師の態度や言葉使いについて	57.6	33.5	3.7	0.8	4.4
3.49	88.2	5.6	6.2		
(3) 患者からの質問などへの対応について	52.6	35.5	4.8	0.8	6.2
3.49	88.4	6.4	5.2		
(4) 医師の説明のわかりやすさについて	53.5	34.8	5.5	0.9	5.2
3.33	81.0	8.5	10.5		
(5) 渡された薬(量・効き目)について	38.6	42.4	7.6	0.9	10.5
2.85	63.5	31.7	4.8		
(6) 待ち時間について	26.3	37.3	22.9	8.8	4.8
3.26	82.5	9.5	8.0		
(7) 設備・機器の充実度について	34.5	48.0	8.3	1.2	8.0
3.21	79.9	13.9	6.2		
(8) 診察日・診療時間について	37.0	42.9	10.6	3.3	6.2
3.10	75.1	18.2	6.7		
(9) 治療費について	31.5	43.6	14.1	4.1	6.7
3.30	88.5	7.0	4.5		
(10) それでは、総合的にみた場合	36.4	52.1	6.1	0.9	4.5

問 13. あなたは日本の医療全般について、満足していますか。

平均(スコア)	2.71
満足している (4点)	11.2
まあ満足している (3点)	64.2
やや不満である (2点)	26.8
不満である (1点)	33.1
無回答	6.3
	2.7

問 14. 現在、治療を受けておられる疾患について、差し支えなければ、次の中からすべてあげてください。(〇はいくつでも)

- 48.1 生活習慣病(糖尿病、心臓病、脳卒中、高血圧、高脂血症、がんなど)
- 14.3 その他の慢性疾患(慢性気管支炎、関節炎、痛風など)
- 21.1 急性期疾患(皮膚炎、胃腸炎、風邪、白内障など)
- 15.9 アレルギー性疾患(花粉症、鼻炎など)
- 20.1 その他(具体的に) 6.2 無回答

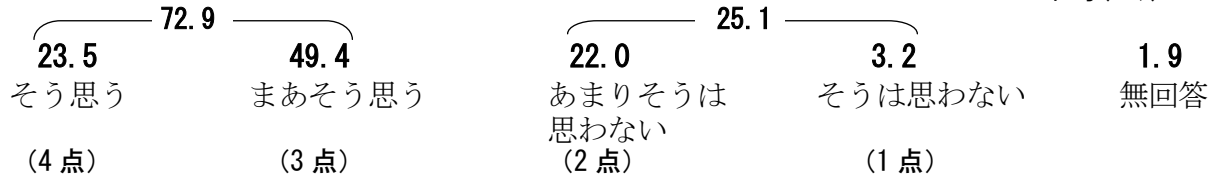
■ 病院・診療所で診療を受けられたときのことについておうかがいします。

問 15. あなたと医師は十分な対話ができていると思いますか。

平均(スコア)	3.37
十分にできていると思う (4点)	46.1
十分でないが、できていると思う (3点)	44.2
あまりできていないと思う (2点)	7.9
ほとんどできていないと思う (1点)	0.7
無回答	1.1
患者 4	8.6

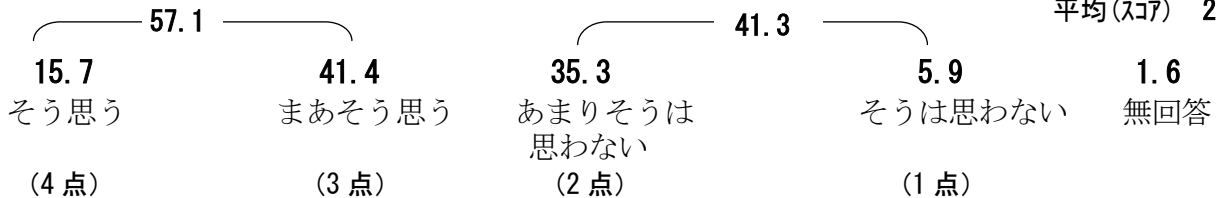
問 16. あなたは、患者一人ひとりの性格や立場、本人の希望といった個別状況に応じた医療が行われていると思いますか。

平均(スコア) 2.95

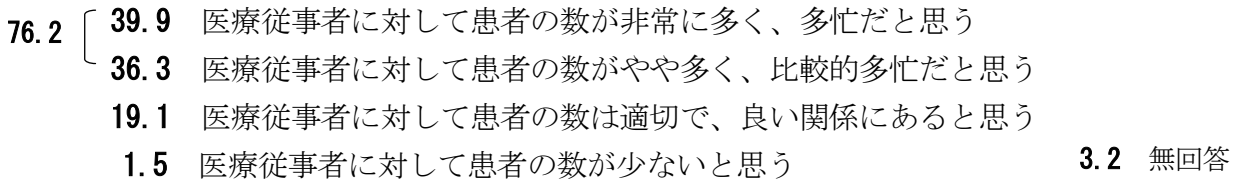


問 17. あなたは、医師は患者の症状を治すだけでなく、心のケアまで行っていると思いますか。

平均(スコア) 2.68



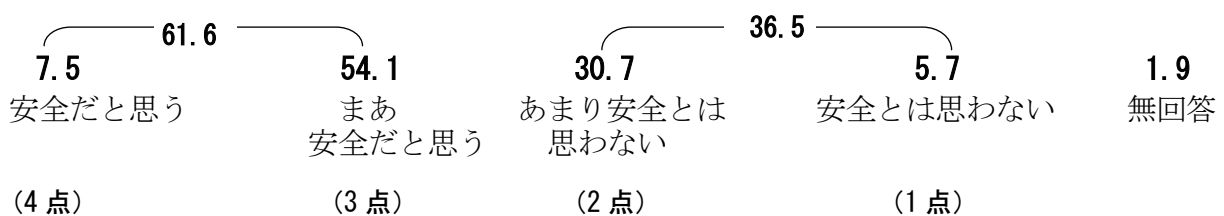
問 18. あなたは診療を受けたり、医師や看護師の診療現場を見たりして、これら医療従事者の業務の状況についてどのように感じられましたか。



■ 医療についておうかがいします。

問 19. 医療事故が、最近いろいろと取りざたされていますが、日本の医療機関の安全性をどう思いますか。

平均(スコア) 2.65



問 20. あなたは、今後の医療提供体制において重点を置くべき点はどのようなことだと思いますか。次の中から3つまであげてください。(○は3つまで)

- 60.5 夜間や休日の診療や救急医療体制の整備
- 52.5 高齢者などが長期入院するための入院施設や介護老人保険施設の整備
- 37.1 医療従事者の資質（診療能力や対話能力など）の向上
- 30.7 こころのケアや心の健康を保つための医療の整備
- 23.4 地域の診療所と病院の連携
- 15.4 訪問診療やホームヘルパー派遣など在宅医療の整備
- 5.0 遺伝子治療などの先進医療の促進
- 19.4 医療従事者の確保
- 14.4 施設的环境整備や管理体制の強化
- 2.1 その他（具体的に)
- 2.0 無回答

平均回答数 2.7

■ 統計的に分析するために、あなたご自身などのことを少しうかがわせてください。

問 24. あなたの性別は。

43.5	56.4	0.1
男 性	女 性	無回答

問 25. あなたのお年は満で何歳ですか。

6.5	29歳以下	11.1	40～49歳	23.5	60～69歳平均	58.2(歳)
11.6	30～39歳	15.9	50～59歳	30.3	70歳以上	0.9 無回答

問 26. あなたが、加入している健康保険の種類は何ですか。次の中から選んでください。

56.0	国民健康保険（自営業や農業、自由業など）	
33.7	組合もしくは政府管掌の健康保険（会社員やその扶養家族など）	
7.7	共済組合保険（公務員、教職員やその扶養家族など）	
0.3	その他（具体的に	2.3 無回答

問 27. 現在の地域に住まれて、何年になりますか。

18.9	10年未満	15.0	20～30年未満	33.1	40年以上	
14.3	10～20年未満	17.6	30～40年未満	1.1	無回答	平均 29.8(年)

問 28. あなたは、海外で医療を受けた経験がありますか。

4.5	95.1	0.4
あ る	な い	無回答

問 29. 本日通院された診療科名を差し支えなければ次の中から選んでください。

53.7	内科	13.2	整形外科	0.1	精神科
7.7	外科	11.3	耳鼻咽喉科	2.1	神経科
3.2	小児科	4.7	眼科	4.8	その他（具体的に
1.3	産科・婦人科	6.7	皮膚科	1.1	無回答

問 30. 本日通院された医療機関にどのくらいの期間、通院されておられますか。

12.0	1日（今日始めて）	4.1	3カ月以上6ヶ月未満
7.6	1週間以内	5.3	6ヶ月以上1年未満
5.1	2週間以内	14.9	1年以上3年未満
4.4	1ヶ月以内	39.6	3年以上
5.4	1カ月以上3ヶ月未満	1.6	無回答

ご通院にもかかわらず、長時間にわたってご協力ありがとうございました。

サンプル数=3,000 回収数=1,288 基数表示が無いものは n=1,288
--

第 8347 号

第 2 回 日本の医療に関する意識調査（医師調査）

■ はじめに、現在、働いておられる医療機関や勤務状況についておたずねします。
 （※2つ以上の医療機関に勤務されている場合は、主なところ1つについてお答えください。）

問 1. あなたの現在の業務は次のどれに該当しますか。（○は1つ）

- 11.0 病院の代表者（又は開設者）
- 42.1 病院の勤務医
- 37.3 診療所の代表者（又は開設者）
- 7.4 診療所の勤務医
- 2.1 その他（具体的に)
- 0.2 無回答

問 2. 病床数はいくつありますか。（○は1つ）

- | | | | |
|-------------|----------------|----------------|---------|
| 41.3 なし | 9.5 20～99 床 | 10.6 300～499 床 | |
| 2.3 1～9 床 | 11.3 100～199 床 | 9.2 500～999 床 | |
| 4.3 10～19 床 | 6.8 200～299 床 | 4.2 1,000 床以上 | 0.5 無回答 |

問 3. 医療機関の開設者を次の中から選んでください。（○は1つ）

- 3.6 国
- 10.8 公的医療機関（都道府県、市町村、日赤など）
- 1.2 社会保険関係団体
- 41.6 医療法人
- 10.4 その他の法人（公益法人、学校法人など）
- 30.7 個人
- 1.5 その他（具体的に)
- 0.2 無回答

問 4. あなたが現在、担当されている主要な診療科名を次の中から 1つ 選んでください。

- | | |
|------------|-----------------|
| 45.0 内科 | 4.6 眼科 |
| 8.3 外科 | 3.2 皮膚科 |
| 5.9 小児科 | 4.5 精神科 |
| 6.4 整形外科 | 0.2 神経科 |
| 5.7 産科・婦人科 | 1.4 泌尿器科 |
| 3.9 耳鼻咽喉科 | 10.6 その他（具体的に) |
| | 0.2 無回答 |

問5. あなたの1週間の平均診療時間はおよそどのくらいですか。(○は1つ)

4.6	10時間未満	27.7	40～50時間未満	1.8	80～90時間未満
5.5	10～20時間未満	12.7	50～60時間未満	0.4	90～100時間未満
9.1	20～30時間未満	8.5	60～70時間未満	0.7	100時間以上
21.1	30～40時間未満	4.3	70～80時間未満	3.6	無回答

問6. あなたの1週間の平均事務作業時間はおよそどのくらいですか。(○は1つ)

24.0	5時間未満	7.8	30～40時間未満	0.2	70～80時間未満
27.4	5～10時間未満	3.8	40～50時間未満	0.3	80～90時間未満
20.2	10～20時間未満	2.2	50～60時間未満	0.5	90時間以上
10.3	20～30時間未満	1.5	60～70時間未満	1.9	無回答

問7. それでは、問5、問6でうかがった以外に、あなたが拘束されている勤務時間(オンコール、自宅待機などを含む)は1週間におよそどのくらいありますか。(○は1つ)

28.0	なし	13.0	10～20時間未満	4.1	40～50時間未満
15.7	5時間未満	6.7	20～30時間未満	17.7	50時間以上
8.3	5～10時間未満	4.3	30～40時間未満	2.3	無回答

問8. あなたは1週間に平均何人ぐらいの患者さんを診療しますか。

(「いない」場合「0」人のご記入ください。)

施設内で	1.6	0人	16.3	100～149人	5.1	250～299人	平均 178.6 (人)
	14.3	1～49人	11.3	150～199人	20.7	300人以上	
	18.5	50～99人	9.5	200～249人	2.7	無回答	
在宅医療で	45.9	0人	4.0	10～19人	1.9	50人以上	平均 5.4 (人)
	16.8	1～9人	2.7	20～49人	28.6	無回答	
合計診療数	1.4	0人	11.9	100～149人	4.0	250～299人	平均 186.1 (人)
	9.3	1～49人	8.3	150～199人	15.5	300人以上	
	12.4	50～99人	6.4	200～249人	30.7	無回答	

問9. あなたは過去1年に、医師会の生涯教育を何時間受けましたか。

(受けなかった場合は「0」時間のご記入ください。)

34.0	0時間	19.3	10～20時間未満	2.4	40～50時間未満
7.8	5時間未満	11.6	20～30時間未満	7.6	50時間以上
9.0	5～10時間未満	4.9	30～40時間未満	3.3	無回答

平均**15.0**(時間)

■ 現在、医療機関の機能分化の方向性が打ち出され、「かかりつけ医」を中心とした医療連携の議論が行われています。かかりつけ医機能についてあなたのご意見をおたずねします。

問 10. あなたは次のような医療サービスを行っていますか。(○はいくつでも)

65.5	健康に関するさまざまな相談	25.4	訪問診療
63.8	健診や検診の実施	14.8	うつ病などを含む心の病気の カウンセリング
28.7	禁煙指導	22.4	ターミナルケア、緩和ケア
35.7	肥満予防の指導	20.9	病院退院後の受け皿(亜急性ケア)
48.3	その他の生活習慣病予防の指導	8.8	開放型病床の利用
36.6	夜間・休日の受け入れ	68.9	主治医意見書の記入
21.0	夜間・休日の電話相談	14.3	ケアカンファレンスへの参加
22.0	他の医師との協力による 24時間受け入れ体制	51.0	死亡診断書の記入
33.5	往診	2.5	その他(具体的に)
		3.1	無回答
		平均回答数	6.0

問 11. あなたは、かかりつけ医を中心とした地域連携を、今後、より充実させるために次の(1)～(12)について、どれを優先的に進めるべきだと思いますか。

(○はそれぞれ1つずつ)

平均 (スコア)		(5点) 非常に 重要	(4点) 重要	(3点) どちらとも いえない	(2点) あまり重要 でない	(1点) 全く重要 でない	無回答
4.37	(1) 医師や医療機関が返送や逆紹介を適切に行う →	43.4	49.5	5.4	0.7	0.2	0.9
4.03	(2) 医師や医療機関に関する情報を広く提供する →	24.1	56.3	15.2	2.2	0.6	1.6
3.58	(3) かかりつけ医の専門性を高めて一次医療を充実させる →	17.9	35.2	31.9	10.9	1.8	2.3
3.92	(4) かかりつけ医が臨床技術を向上しやすい仕組みや制度を作る →	21.7	51.6	19.7	3.9	0.8	2.3
4.08	(5) 住民や患者に一次医療やかかりつけ医の機能についての啓発や普及活動を行う →	29.7	49.3	14.9	2.8	0.6	2.7
3.93	(6) かかりつけ医の不在をカバーする24時間体制の仕組みをつくる →	28.3	41.9	21.5	4.8	1.2	2.3
3.90	(7) 診療所や病院の医師のレベルアップや共通理解のための地域での研修会	18.1	56.2	19.7	3.4	0.5	2.1
3.94	(8) 診療所と病院が患者情報を共有できる仕組みを作る →	22.1	51.3	21.2	2.8	0.3	2.3

平均 (ｽｺｱ)	(5点) 非常に 重要	(4点) 重 要	(3点) どちらとも いえない	(2点) あまり重要 でない	(1点) 全く重要 でない	無回答
3.38	41.2			11.9		
(9) 開放型病床や登録医の制度を広げる→	9.5	31.7	44.2	10.3	1.6	2.6
3.63	58.8			6.5		
(10) 在宅医療や緩和医療などの専門分野 の臨床能力を高める仕組みをつくる→	10.8	48.0	32.1	5.3	1.2	2.3
4.06	80.4			3.0		
(11) 医療機関の地域医療連携室の 充実をはかる →	25.6	54.7	13.6	2.4	0.5	3.1
4.11	80.1			1.6		
(12) 後方支援施設の医療の充実を行う (診療科の拡充、専門性の強化など) →	29.0	51.2	14.9	1.4	0.2	3.4

付問. 問 11 で伺った (1) ~ (12) 以外に必要なと思うことがありましたら、ご記入ください。

問 12. それでは、あなたの地域では、地域連携におけるかかりつけ医機能は適切に機能していると思いますか。(○は1つ)

機能している (5点)	まあ機能している (4点)	どちらとも いえない (3点)	あまり機能 していない (2点)	機能して いない (1点)	無回答
6.0	39.6	32.3	16.8	2.2	3.1
45.6					19.0
(問 13 へお進みください)					平均(ｽｺｱ) 3.31

付問. 必ずしも機能していない大きな原因は何だと思われますか。(○は3つまで)

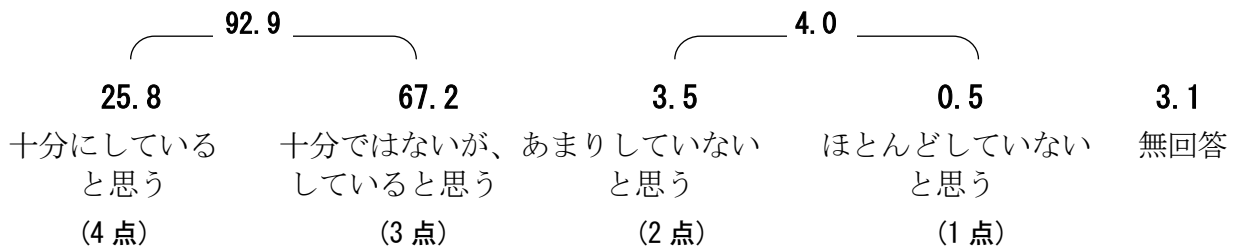
(n=661)

- 34.6 医師や医療機関に関する情報の不足
- 40.8 医師の間で連携やかかりつけ医機能に関する認識の不足
- 72.5 住民や患者の大病院志向やかかりつけ医機能への理解不足
- 19.2 臨床能力やコミュニケーション能力の不足
- 33.0 医師の間で患者情報の共有ができていない
- 7.6 その他(具体的に)
- 2.9 無回答

■ 診療の場における患者さんとの対話や、提供している医療についておたずねします。

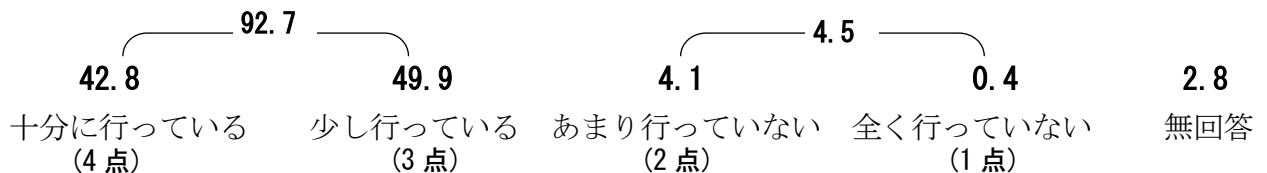
問 13. あなたは、患者との対話や説明が十分に行えていると思いますか。(○は1つ)

平均(スコア) 3.22



問 14. 患者一人ひとりの性格や状態、本人の希望を尊重する患者本位の医療についてお伺いします。あなたは、患者の個別状況を重視した医療を行っていますか。(○は1つ)

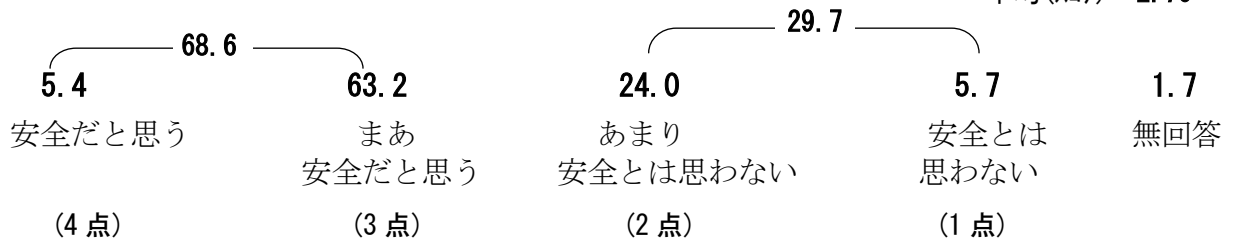
平均(スコア) 3.39



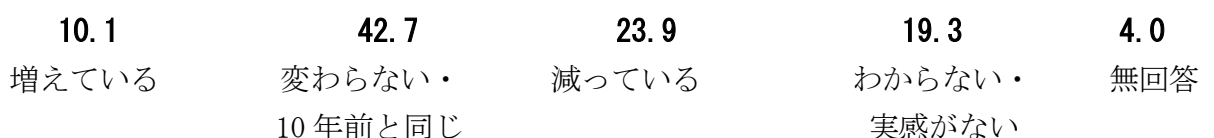
■ 医療の安全性についておたずねします。

問 15. 医療事故が、最近いろいろと取りざたされていますが、あなたは日本の医療機関の安全性をどう思いますか。(○は1つ)

平均(スコア) 2.70



問 16. あなたの医療機関では、医療事故が10年前と比べて増えていると思いますか、減っていると思いますか。(○は1つ)



■ 医療における IT 化（電子カルテやレセプト電算化などの情報システム化）についておたずねします。

問 18. あなたの施設で医療 IT の促進の妨げになっていることがあるとすれば次のどれでしょうか。（○はいくつでも）

- 57.5 ITに必要な資金が不足
 - 33.4 製品の性能や機能が不十分
 - 44.8 IT化に必要な要員が不足
 - 21.7 ITによる効果の定量化が困難
 - 13.1 リーダーシップの不在、経営トップの理解不足
 - 9.2 医療スタッフや事務スタッフなどの合意が得られない
 - 37.9 データの標準化が行われていない、システムの互換性がない
 - 23.2 データの機密保護が不十分
 - 20.3 IT化による悪影響への懸念（患者医師関係を悪化させるなど）
 - 8.2 その他（具体的に）
 - 6.6 特にない
 - 3.3 無回答
- 平均回答数 3.0

■ 医療の現状についておたずねします。

問 19. あなたの施設には次のような課題がありますか。ここにあげる(1)から(7)のそれぞれについてお答えください。（○はそれぞれ1つつ）

平均 (スコア)		(5点) 問題で ある	(4点) やや問題 である	(3点) どちらとも いえない	(2点) あまり問題 ではない	(1点) 問題では ない	無回答	
2.66	(1) 入院患者の減少 →	12.0	26.6	14.6	14.4	11.0	27.3	20.8
3.30	(2) 外来患者の減少 →	24.8	49.5	24.6	17.8	15.8	14.8	2.3
4.37	(3) 診療報酬の減額 →	59.0	83.7	24.7	7.7	4.0	2.3	2.3
3.38	(4) 医師の確保 →	33.7	52.9	19.2	10.6	8.5	21.2	6.8
3.67	(5) 看護師の確保 →	35.0	62.1	27.1	12.6	10.0	11.5	3.8
3.12	(6) 資金調達 →	17.8	39.8	22.0	26.7	12.2	16.8	4.5
2.93	(7) 借金の返済 →	16.4	32.5	16.1	27.7	13.1	21.4	5.4

問 20. 次にあげる(1)～(10)について、あなたのお気持ちをお聞かせください。

(○はそれぞれ1つずつ)

平均 (スコア)		(5点) そう 思う	(4点) やや そう 思う	(3点) どちら ともい えない	(2点) あまり そう思 わない	(1点) そう思 わない	無回答
4.00	(1) よい医療を提供しても 評価されないと思うことがある	36.3	38.5	13.6	7.3	2.6	1.7
3.48	(2) 過労のためによい医療ができて いないと思うことがある	21.9	34.4	17.9	16.3	7.3	2.2
3.78	(3) 多忙のあまりストレスが 高くなることもある	34.6	30.7	14.3	12.7	5.5	2.2
3.26	(4) 患者が多すぎて患者の診療に 十分な時間が取れない	19.4	26.8	21.7	17.2	11.6	3.2
3.63	(5) コメディカルの役割を変革して医師の作 業の一部を分担することも検討すべきだ	27.2	30.2	23.5	9.9	6.5	2.7
3.39	(6) 地域の医師のネットワークに 参加したい	13.6	32.4	34.9	11.5	4.9	2.7
4.23	(7) 新しい知識や技術を得るための 時間や機会を得たい	42.1	41.7	9.7	3.0	1.2	2.3
3.96	(8) かかりつけ医として包括的に患者を診る ために専門以外の知識も多少得たい	30.3	43.5	15.5	4.8	3.1	2.9
3.66	(9) 説明に対して患者が理解できたかどうか 不安になることがある	18.8	45.7	17.1	13.0	3.0	2.5
3.66	(10) 患者や国民が求める治療の中味に 関する情報をもっと公開すべきだ	22.0	33.3	32.0	7.3	3.0	2.5

■ 今後の医療についておたずねします。

問 21. あなたがよりよい医療を実践していくには、どのような改革や環境整備が必要だと思いませんか。次の中から選んでください。(○はいくつでも)

- 66.5 診療報酬の増額
- 61.7 医療行為以外の業務の軽減
- 43.8 医師を援助する専門技術者(コメディカルスタッフ)の増員
- 32.9 自院の医師の増員
- 24.0 組織の体制や病院の管理体制の見直し
- 36.3 教育や研修の強化
- 35.2 診療報酬支払い制度の効率化
- 26.6 コメディカルスタッフの業務分担の強化
- 62.7 国民の医療(医師・医療機関)への不信をなくし、国民と医師の信頼関係を向上させる
- 10.8 その他(具体的に)
- 0.7 特にない
- 1.0 無回答

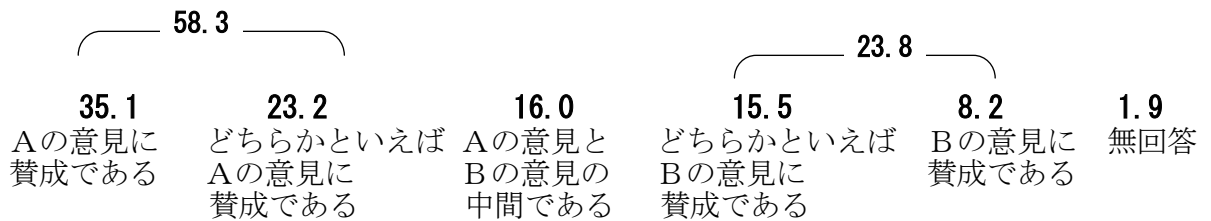
平均回答数 4.1

問 22. あなたは、今後の医療提供体制において重点を置くべき点はどのようなこと
 だと思いますか。(〇はいくつでも)

- 55.0 夜間や休日の診療や救急医療体制の整備
 - 59.9 高齢者などが長期入院するための入院施設や介護老人保健施設の整備
 - 53.0 医療従事者の資質（診療能力や対話能力など）の向上
 - 34.8 心のケアや心の健康を保つための医療の整備
 - 59.3 地域の診療所と病院の連携
 - 30.7 訪問診療やホームヘルパー派遣など在宅医療の整備
 - 10.4 遺伝子治療などの先進医療の促進
 - 46.0 医療従事者の確保
 - 23.8 施設的环境整備や管理体制の強化
 - 5.6 その他（具体的に
 - 1.6 無回答
- 平均回答数 3.8

問 23. あなたは、医療保険のあり方について、この中の（A）、（B）2つの意見の
 うち、どちらに賛成しますか。(〇は1つ)

- A. 現在のように所得の高い低いに関係なく、国民みんなが同じレベルの医療を受けられる仕組みがよい
- B. お金を払える所得の高い人は追加料金を払えば、保険で給付される以上の医療を受けられる仕組みがよい



■ 統計的に分析するために、あなたご自身のことを少しうかがわせてください。

問 24. あなたの性別は。

85.8	13.7	0.5
男性	女性	無回答

問 25. あなたのお年は満で何歳ですか。

3.2	26.9	12.3	平均 51.4(歳)
29歳以下	40～49歳	60～69歳	
20.4	22.8	14.1	
30～39歳	50～59歳	70歳以上	
		0.3	
		無回答	

問 26. あなたは現在の業務形態につかれて何年になりますか。

23.1	29.1	8.5	平均 14.6(年)
5年未満	10～20年未満	30～40年未満	
19.7	12.7	6.6	
5～10年未満	20～30年未満	40年以上	
		0.4	
		無回答	

長時間ご協力ありがとうございました。返信用の封筒に入れて、ご投函下さい。

クロス分析表(別冊)